

第1章 一般高齡者、在宅要支援認定者・

事業対象者、在宅要介護認定者調査



【調査回答者】

〔設問〕このアンケートに答えていただくのはどなたですか。

(単位%)

	あて名 のご本人	あて名 の方の 配偶者 (夫・妻)	あて名 の方の 子ども	あて名 の方の 親族	友人・ 知人	ケアマ ネジャ ー	施設の 職員	ホーム ヘルパ ー	その他	無回答
一般高齢者 (回答数:1,011)	88.7	1.7	0.7	0.0	0.0				0.0	8.9
在宅要支援認定者等 (回答数:976)	83.2	3.7	5.4	1.2	0.0	0.1	0.1	0.0	0.1	6.1
在宅要介護認定者 (回答数:819)	38.6	15.6	32.5	4.6	0.0	0.6	1.7	0.1	0.6	5.6

○「あて名のご本人」による回答がいずれも最も多く、一般高齢者が88.7%、在宅要支援認定者等が83.2%、在宅要介護認定者が38.6%となっている。

## 1 あなた(あて名のご本人)のご家族や生活状況などについて(問A)

### (1) 年齢・居住地区

〔設問〕あなたの年齢／お住まいの地区名をお答えください。

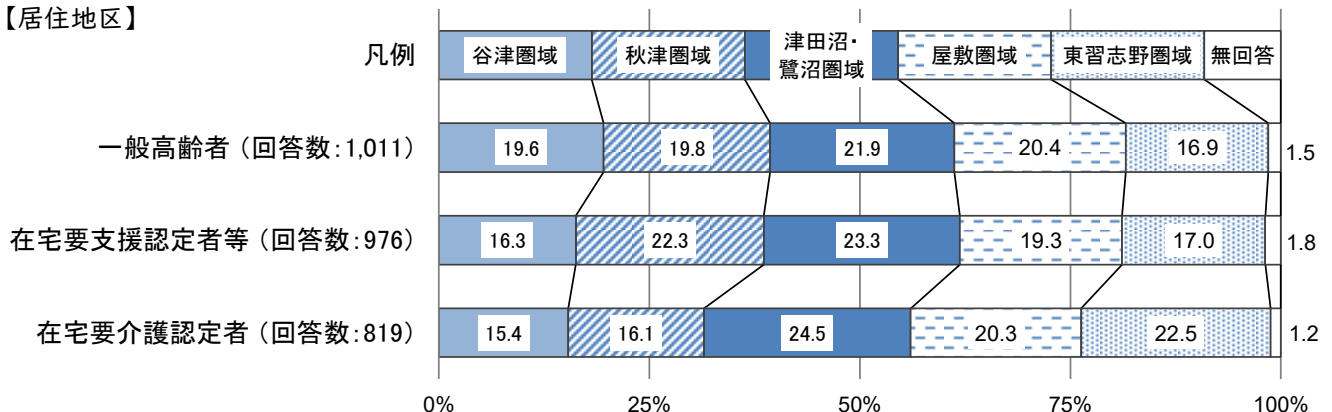
【年齢】

(単位%)

	65歳 ～69歳	70歳 ～74歳	75歳 ～79歳	80歳 ～84歳	85歳以上	無回答
一般高齢者 (回答数:1,011)	21.2	28.9	23.5	16.6	8.2	1.6
在宅要支援認定者等 (回答数:976)	1.7	5.8	13.8	29.7	46.5	2.4
在宅要介護認定者 (回答数:819)	3.5	3.5	7.1	13.1	50.4	1.2

○一般高齢者は「70～74歳」(28.9%)が最も多く、「75～79歳」(23.5%)、「65～69歳」(21.2%)が続いている。在宅要支援認定者等・在宅要介護認定者とも、「85歳以上」がそれぞれ46.5%、50.4%で最も多く、次いで「80～84歳」がそれぞれ29.7%、13.1%で多くなっている。

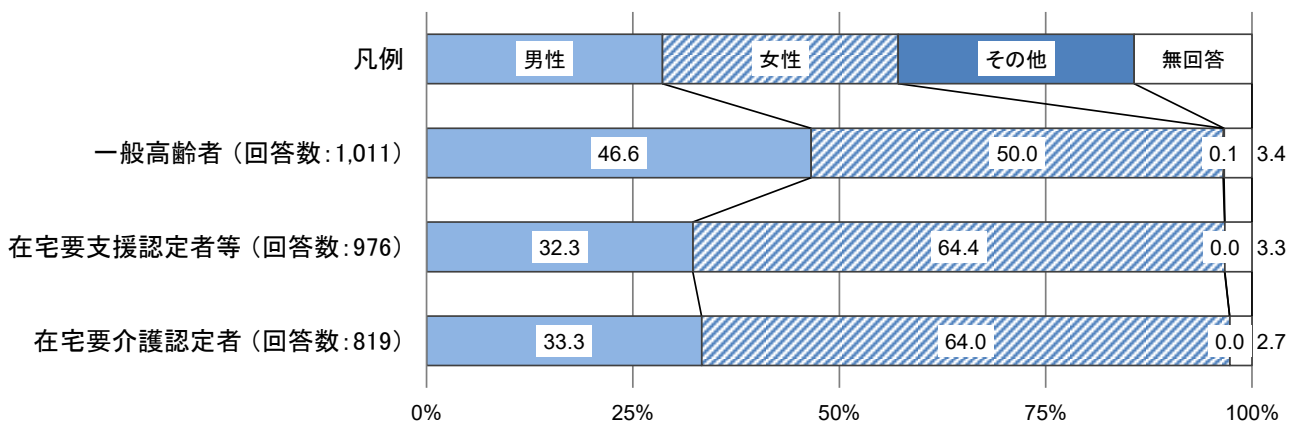
【居住地区】



○一般高齢者、在宅要支援認定者等、在宅要介護認定者のいずれにおいても「津田沼・鷺沼圏域」が最も多くなっている。

## (2) 性別

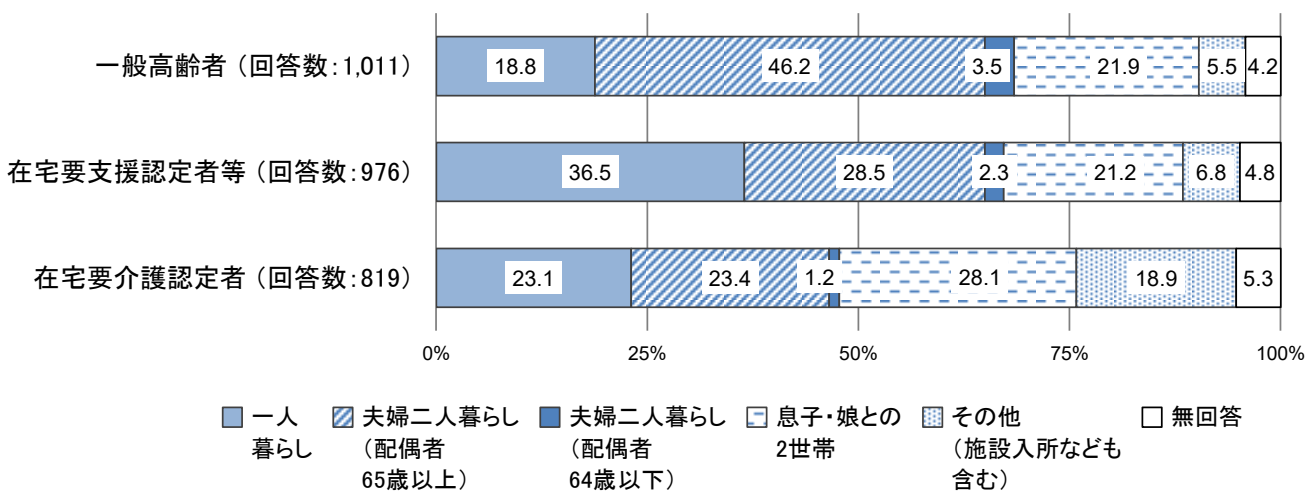
[設問] あなたの性別をお答えください。



○一般高齢者、在宅要支援認定者等、在宅要介護認定者のいずれにおいても、「女性」が「男性」より多くなっているが、在宅要支援認定者等、在宅介護認定者ではそれぞれ「女性」が64.4%、64.0%、「男性」が32.3%、33.3%と、その差が大きくなっている。

## (3) 家族構成

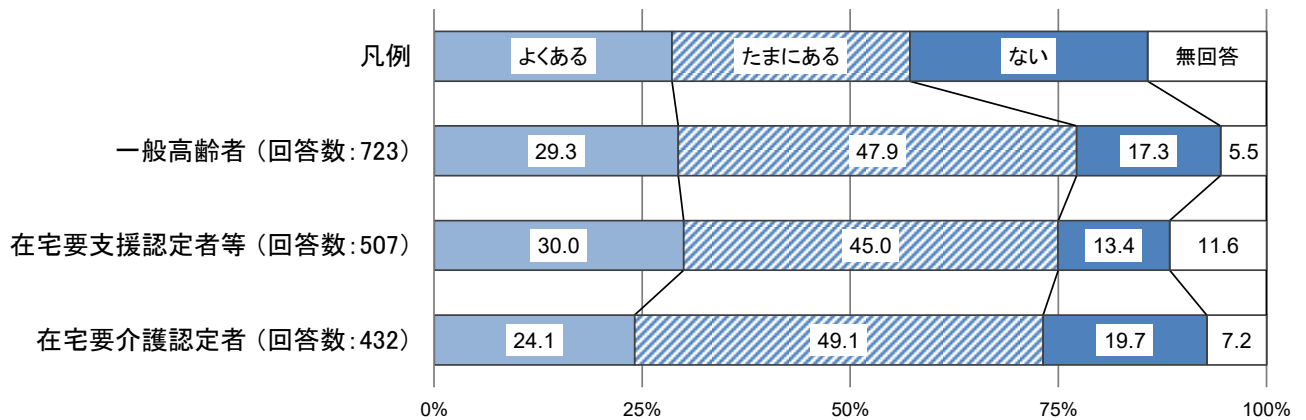
[設問] 家族構成をお教えてください。



○一般高齢者では「夫婦二人暮らし(配偶者 65歳以上)」が46.2%、在宅要支援認定者等では「一人暮らし」が36.5%、在宅要介護認定者では「息子・娘との2世帯」が28.1%でそれぞれ最も多くなっている。また、在宅要介護認定者では「一人暮らし」が23.1%で「夫婦二人暮らし(配偶者 65歳以上)」の23.4%とほぼ同じ割合となっている。

## (4) 日中一人になること

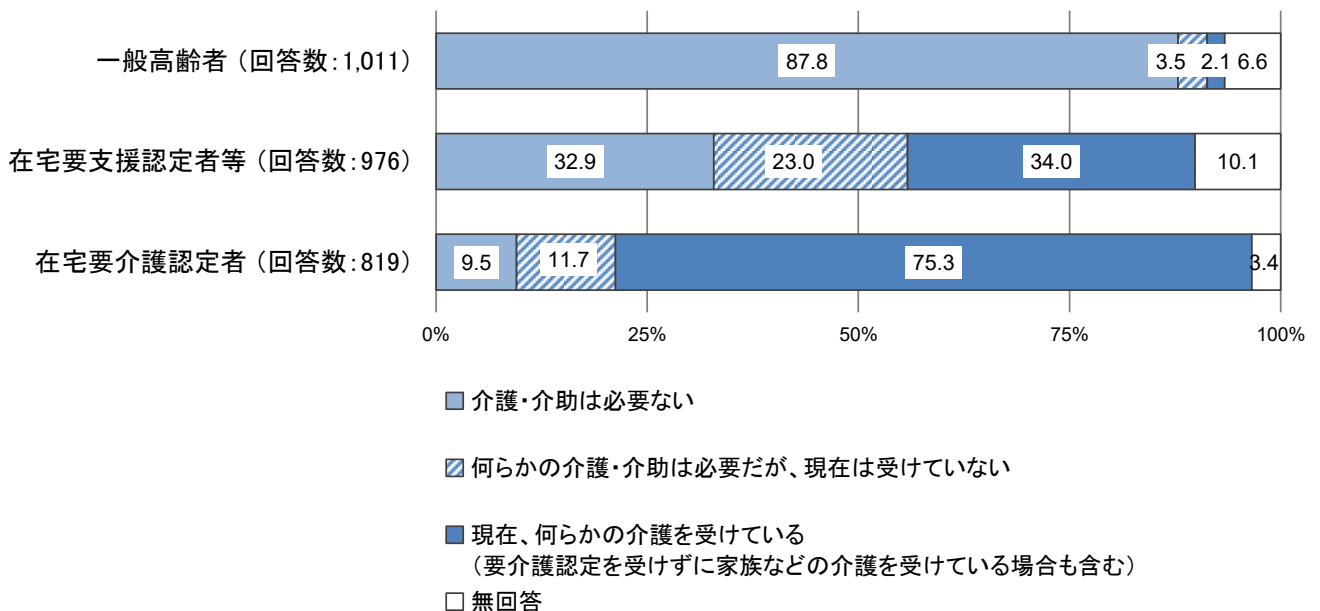
[設問] (ご家族と同居されている方のみ)  
日中、一人になることがありますか。



○「よくある」は、在宅要支援認定者等が 30.0%で最も多く、次いで一般高齢者で29.3%、在宅要介護認定者で24.1%となっている。

## (5) 介護・介助の状況

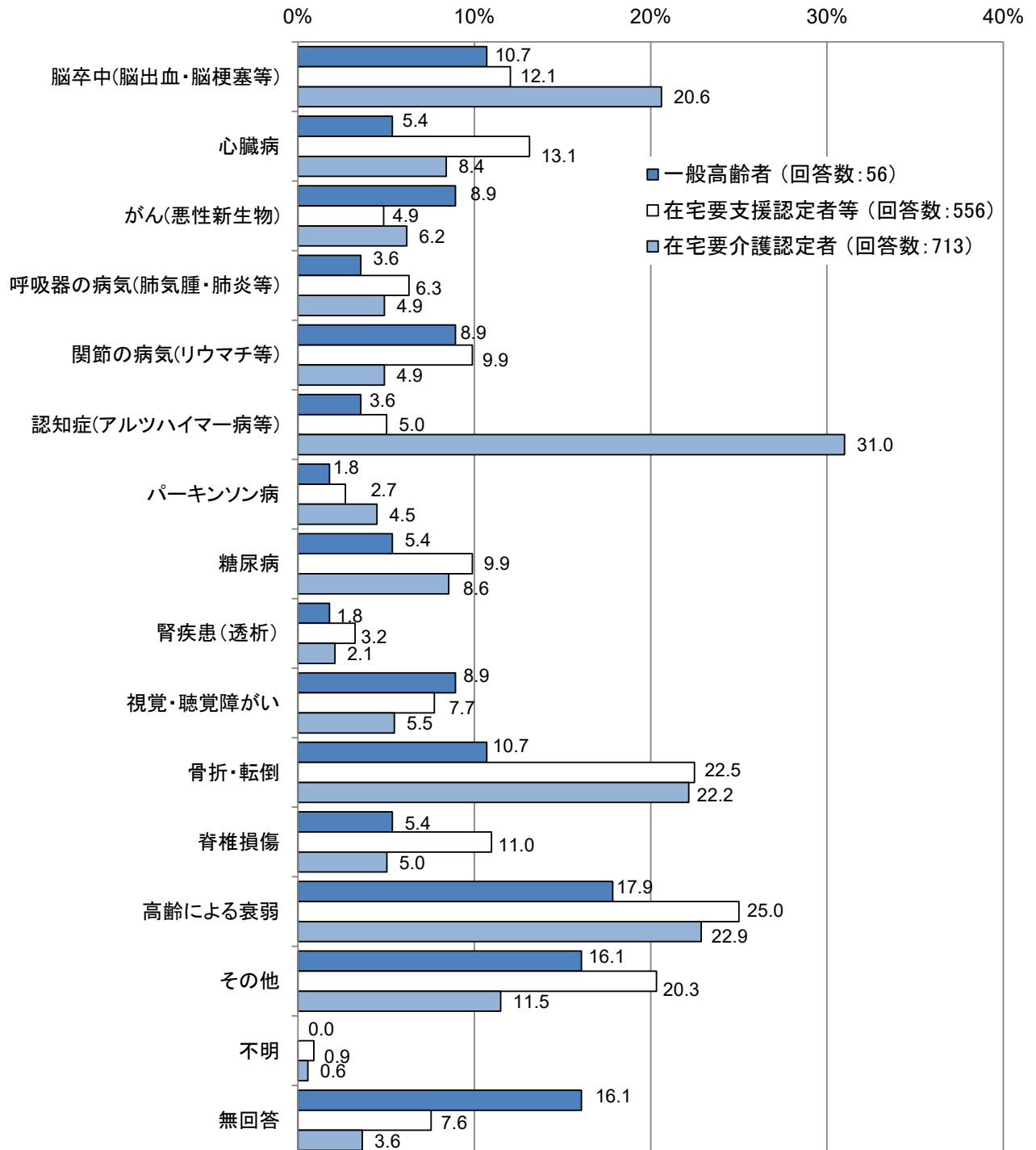
[設問] あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。



○一般高齢者では「介護・介助は必要ない」が87.8%、在宅要支援認定者等、在宅要介護認定者では「現在、何らかの介護を受けている (要介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)」がそれぞれ 34.0%、75.3%で最も多くなっている。

## (6) 介護・介助が必要になった主な原因

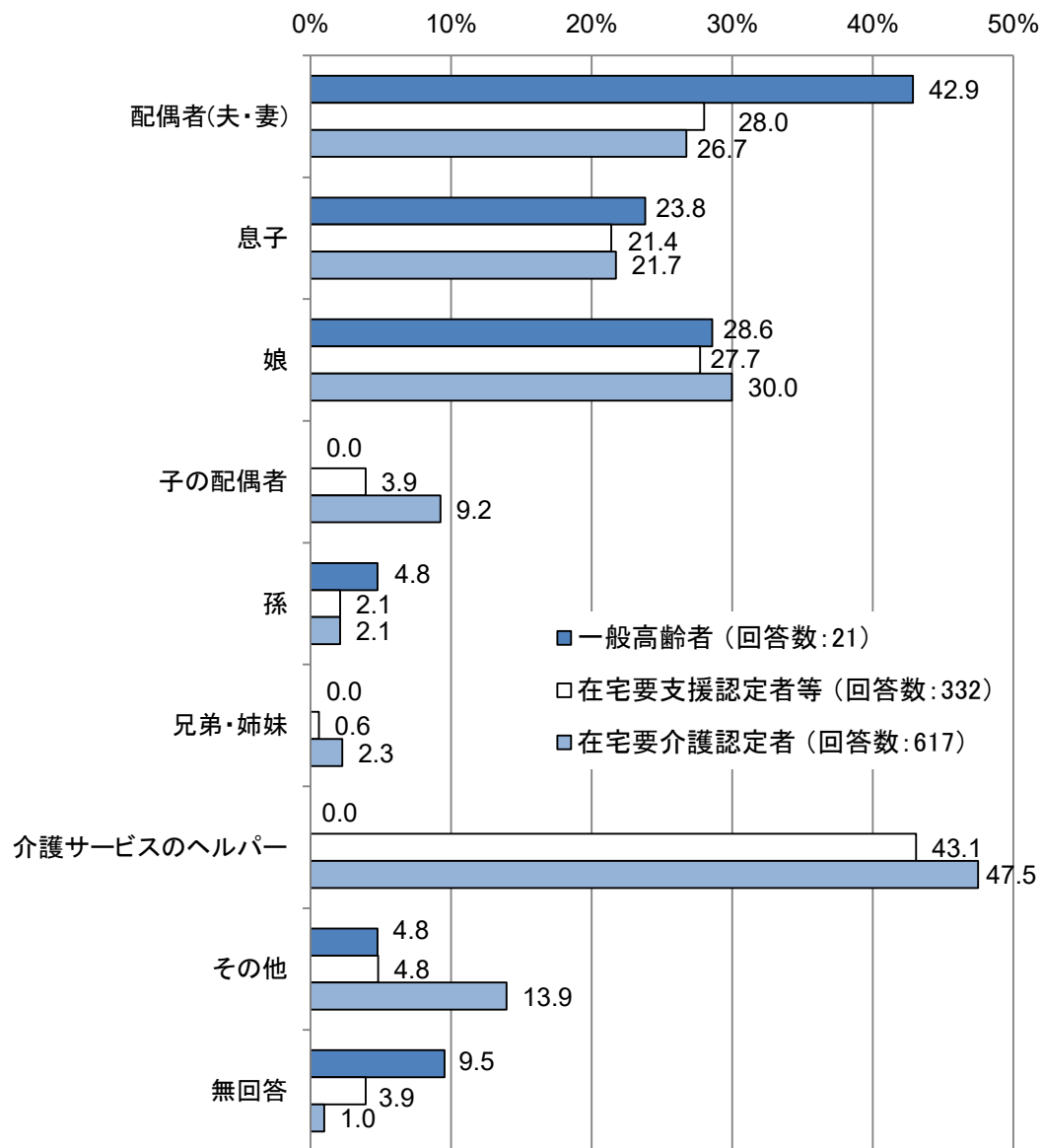
〔設問〕介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。(〇はいくつでも)



○一般高齢者では「高齢による衰弱」が17.9%で最も多く、「その他」が16.1%、「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」「骨折・転倒」が10.7%が続いている。在宅要支援認定者等では「高齢による衰弱」が25.0%、「骨折・転倒」が22.5%、在宅要介護認定者では「認知症(アルツハイマー病等)」が31.0%、「高齢による衰弱」が22.9%などとなっている。

## (7) 主な介護・介助者

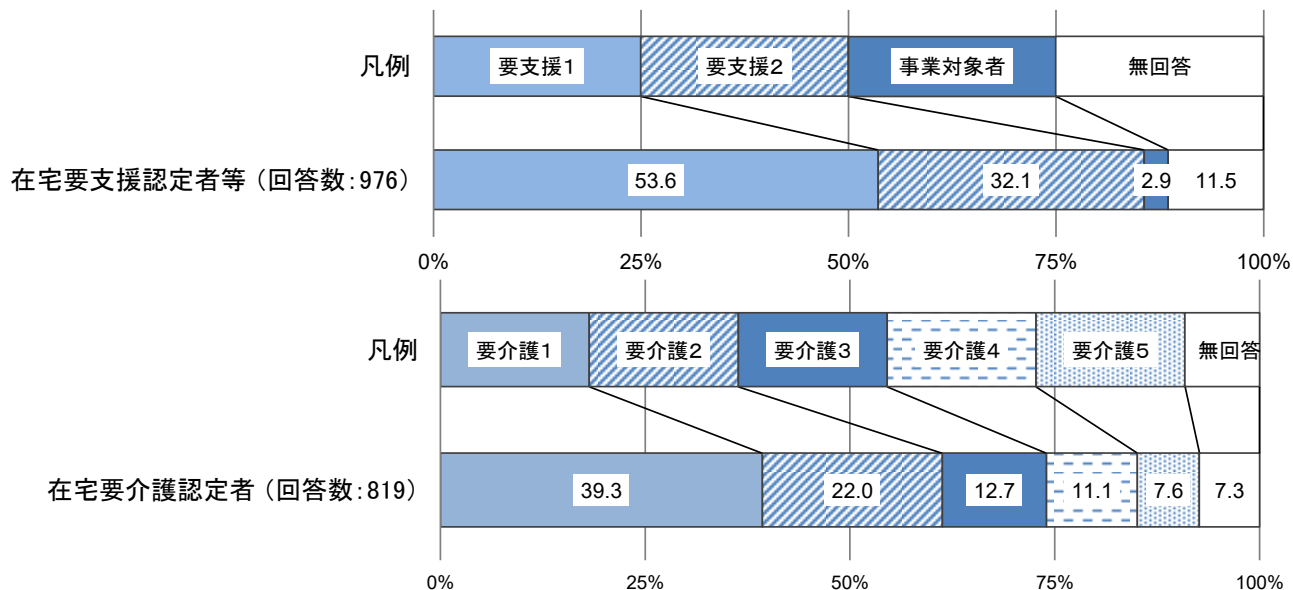
[設問] 主にどなたの介護・介助を受けていますか。(〇はいくつでも)



○一般高齢者では「配偶者(夫・妻)」が 42.9%で最も多く、次いで「娘」が 28.6%となっている。在宅要支援認定者等、在宅要介護認定者ともに「介護サービスのヘルパー」が最も多く、それぞれ 43.1%、47.5%、次いで在宅要支援認定者等では「配偶者(夫・妻)」が 28.0%、在宅要介護認定者では「娘」が 30.0%となっています。

## (8) 要支援度・要介護度

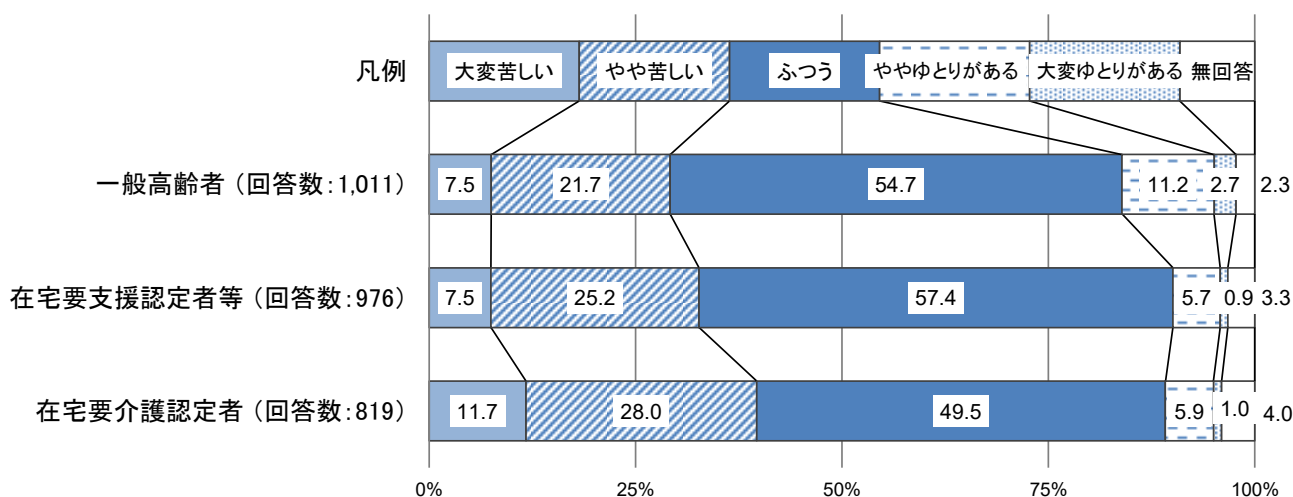
[設問] あなたの要介護区分は次のどれにあたりますか。



○在宅要支援認定者等では「要支援1」が53.6%で最も多く、次いで「要支援2」が32.1%、「事業対象者」が2.9%となっている。在宅要介護認定者では「要介護1」が39.3%で最も多く、「要介護2」が22.0%、「要介護3」が12.7%となっている。

## (9) 経済的にみた現在の暮らしの状況

[設問] 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。

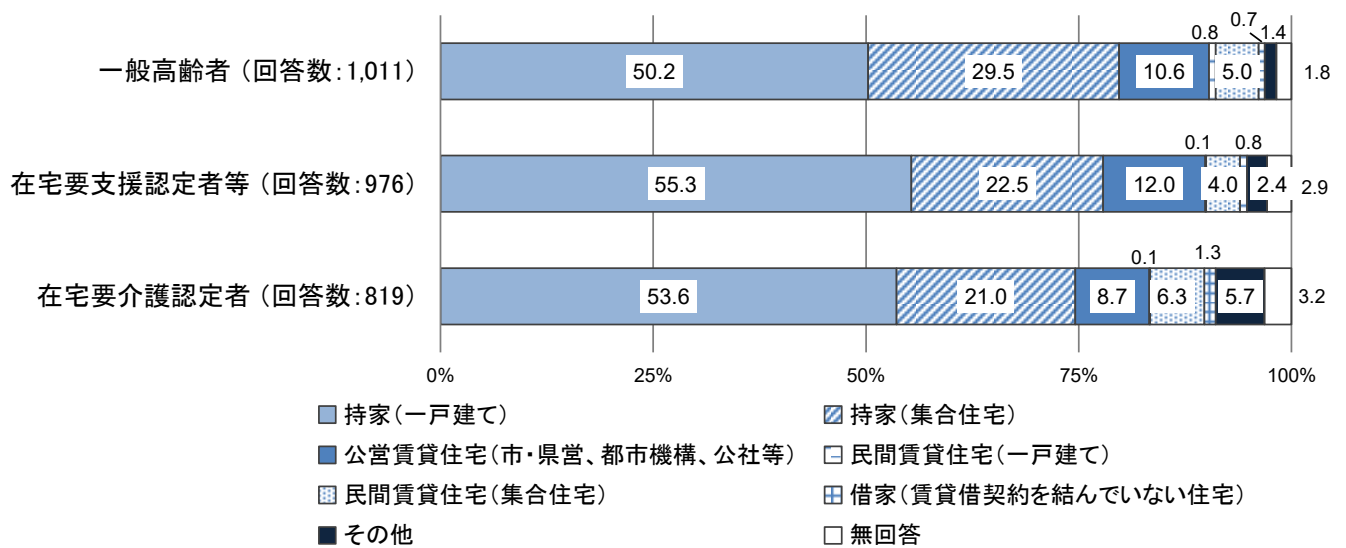


○一般高齢者、在宅要支援認定者等、在宅要介護認定者いずれも「ふつう」が最も多く、それぞれ54.7%、57.4%、49.5%、次いで「やや苦しい」が21.7%、25.2%、28.0%となっている。「大変苦しい」と「やや苦しい」を合わせた割合は、在宅要介護認定者、在宅要支援認定者等、一般高齢者の順に多くなっている。



## (10) 住居の形態

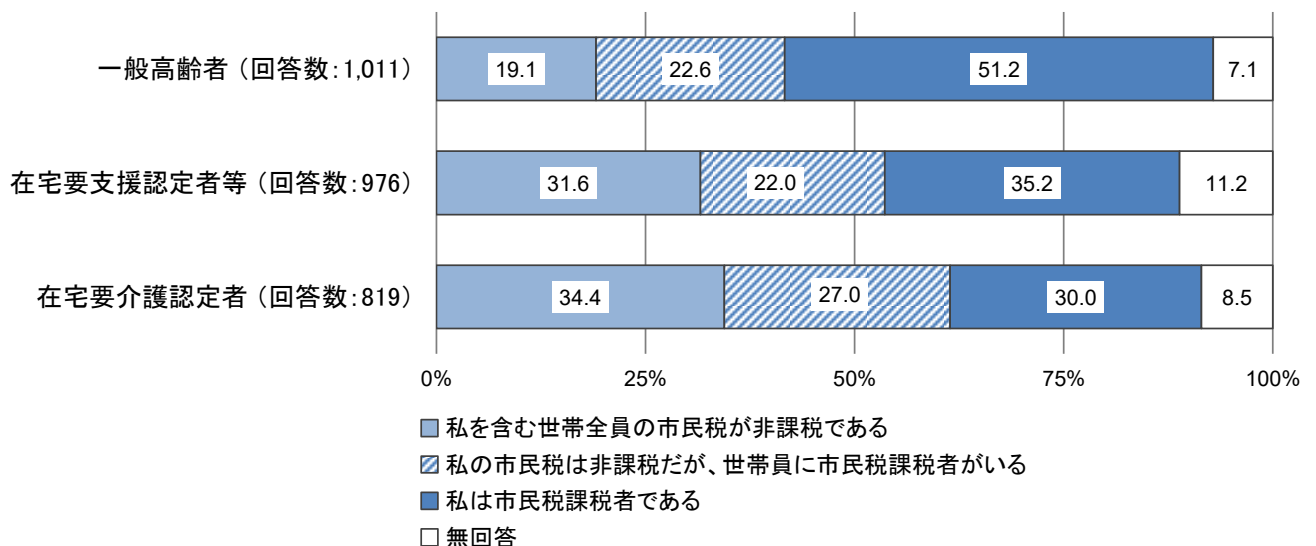
[設問] お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。



○一般高齢者、在宅要支援認定者等、在宅要介護認定者いずれも、「持家(一戸建て)」が半数以上を占めて最も多く、次いで「持家(集合住宅)」が多くなっている。

## (11) 市民税の課税状況

[設問] あなたもしくは世帯の市民税の課税状況をお答えください。

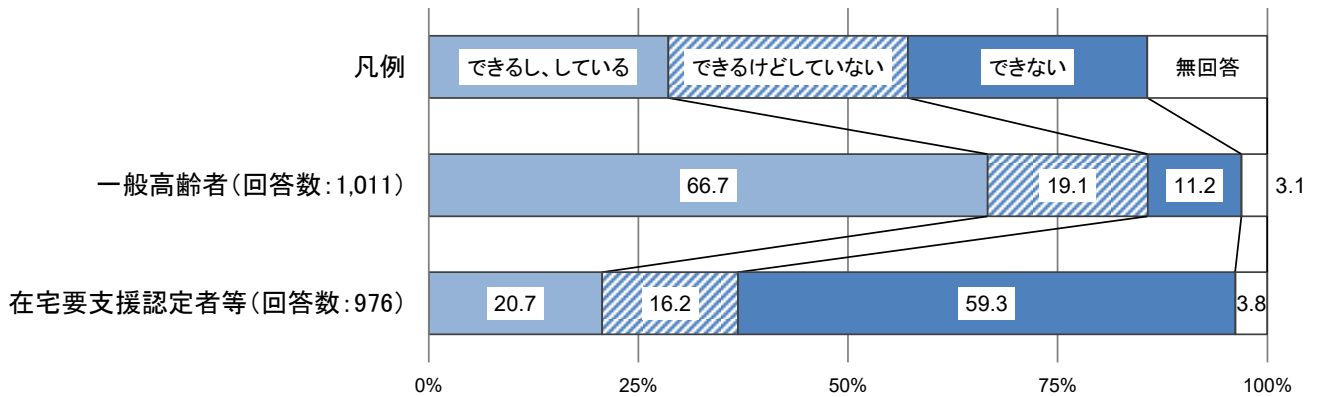


○一般高齢者、在宅要支援認定者等ともに「私は市民税課税者である」がそれぞれ最も多く、特に一般高齢者では51.2%と、在宅要支援認定者等の35.2%、在宅要介護認定者の30.0%より多くなっている。一方、在宅要介護認定者では「私を含む世帯全員の市民税が非課税である」が34.4%で最も多くなっている。

## 2 からだを動かすことについて(問B)

### (1) 階段を手すり等にたよらずに昇ること

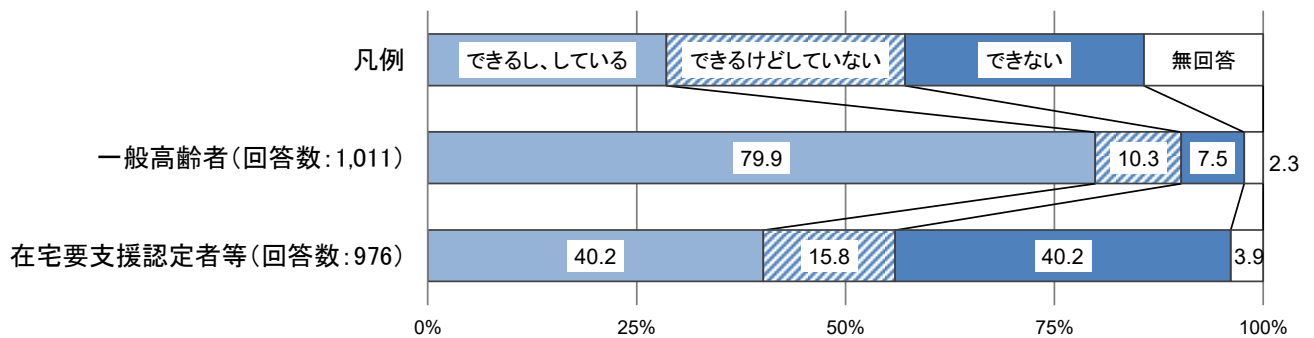
[設問] 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。



○「できるし、している」は、一般高齢者では66.7%であるが、在宅要支援認定者等では20.7%にとどまり、46ポイントの差がある。一方、「できない」は、在宅要支援認定者では59.3%となっている。

### (2) 椅子からの立ち上がり

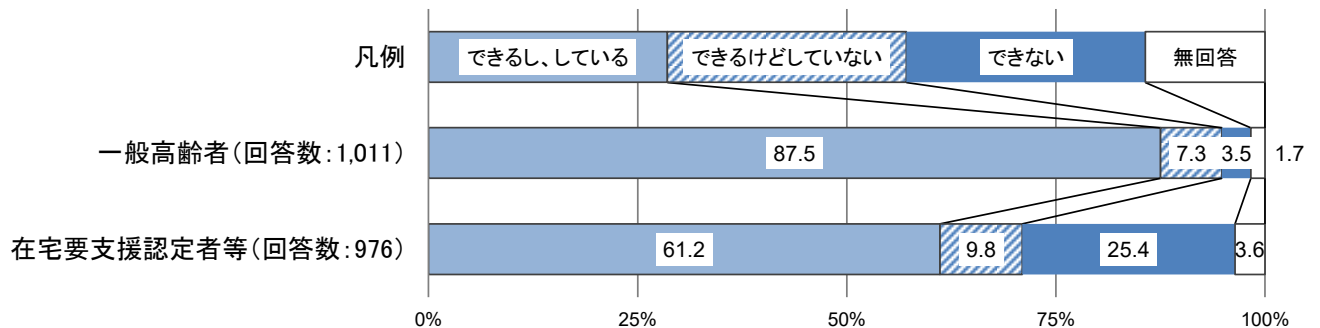
[設問] 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。



○「できるし、している」は、一般高齢者では79.9%と約8割の回答に対し、在宅要支援認定者では40.2%にとどまり、「できない」と同率になっている。

### (3) 15分くらいの連続歩行

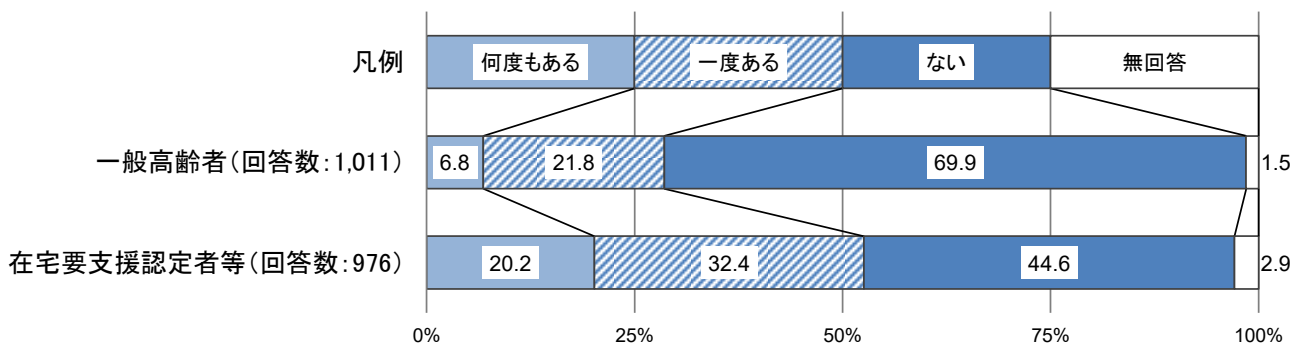
〔設問〕 15分くらい続けて歩いていますか。(買い物、散歩など、目的は問いません)



○「できるし、している」は、一般高齢者の87.5%に対し、在宅要支援認定者等では61.2%となっており、26.3ポイントの差がある。一方、「できない」は、一般高齢者の3.5%に対し、在宅要支援認定者等では25.4%となっており、21.9ポイントの差がある。

### (4) 最近1年間の転倒経験

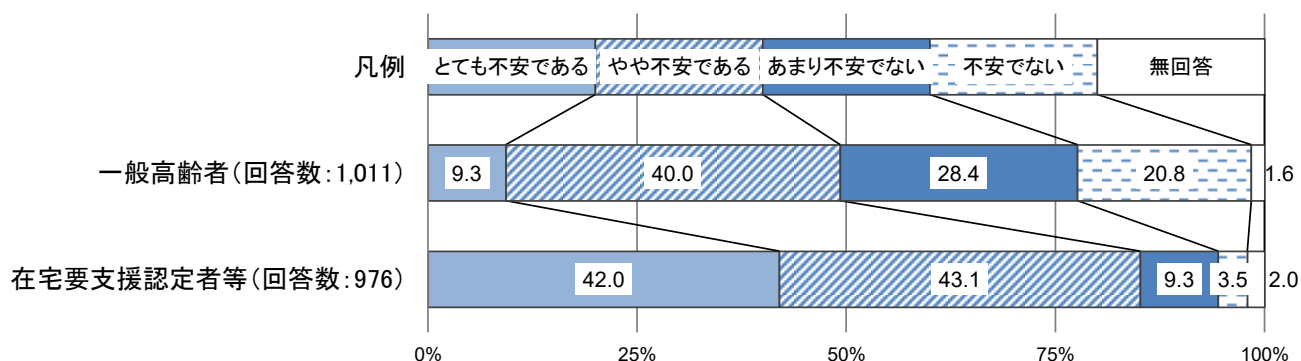
〔設問〕 過去1年間に転んだ経験がありますか。



○「何度もある」は、一般高齢者の6.8%に対し、在宅要支援認定者等では20.2%となっており、13.4ポイントの差がある。また、「何度もある」と「一度ある」を合わせると、一般高齢者が28.6%であるのに対し、在宅要支援認定者等は52.6%と、半数以上を占めている。

## (5) 転倒への不安

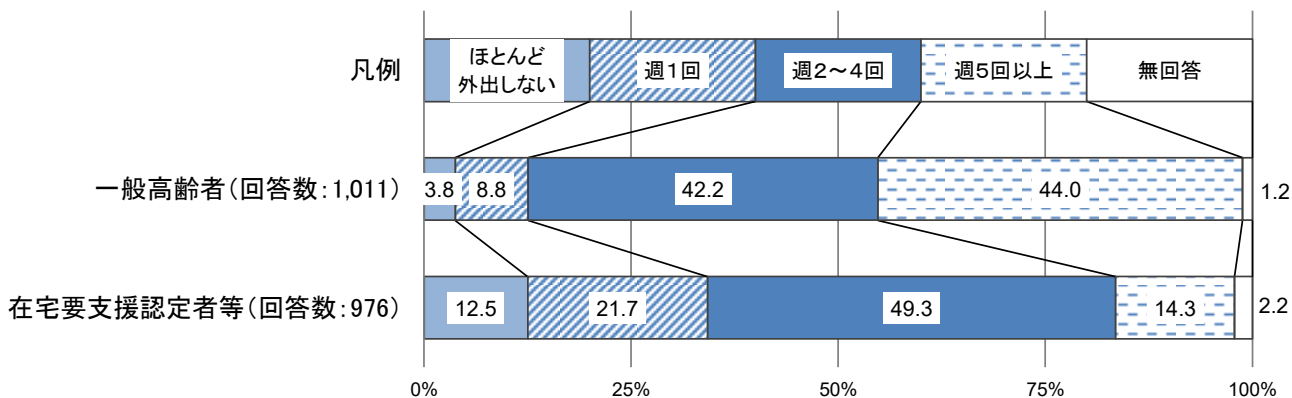
〔設問〕転倒に対する不安は大きいですか。



○「とても不安である」は、一般高齢者の9.3%に対し、在宅要支援認定者等では42.0%となっており、32.7ポイントの差がある。また、「とても不安である」と「やや不安である」を合わせると、一般高齢者が49.3%、在宅要支援認定者等が85.1%となっており、在宅要支援認定者等では不安であると回答した割合が8割以上を占めている。

## (6) 週1回以上の外出

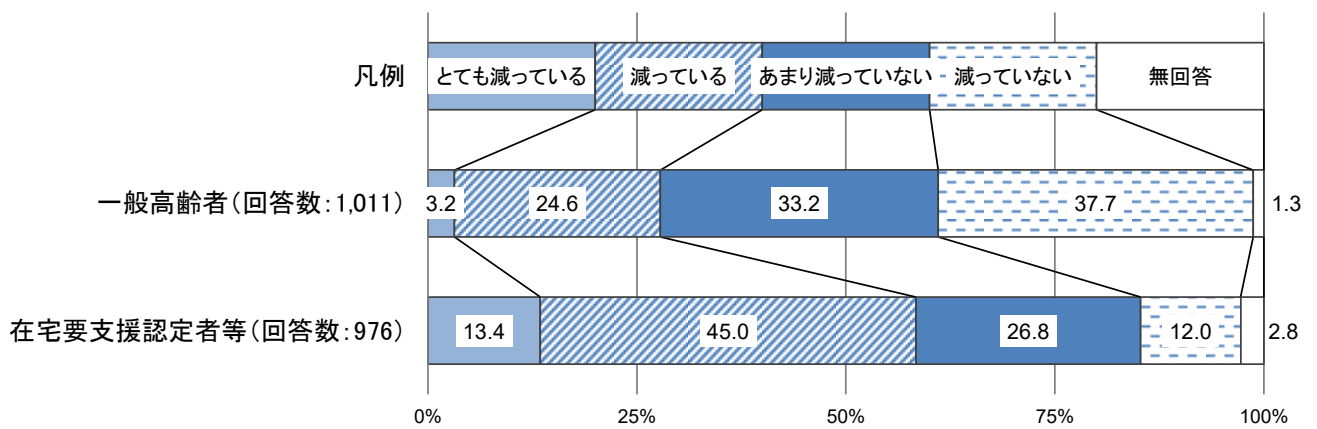
〔設問〕週に1回以上は外出していますか。(手段・目的は問いません)



○週1回以上の外出割合は、一般高齢者の95.0%に対し、在宅要支援認定者等は85.3%と9.7ポイント減少している。また、在宅要支援認定者等を一般高齢者と比較すると、「ほとんど外出しない」、「週1回」が増加している一方、「週5回以上」が29.7ポイントと大きく減少している。

## (7) 外出回数の前年比較

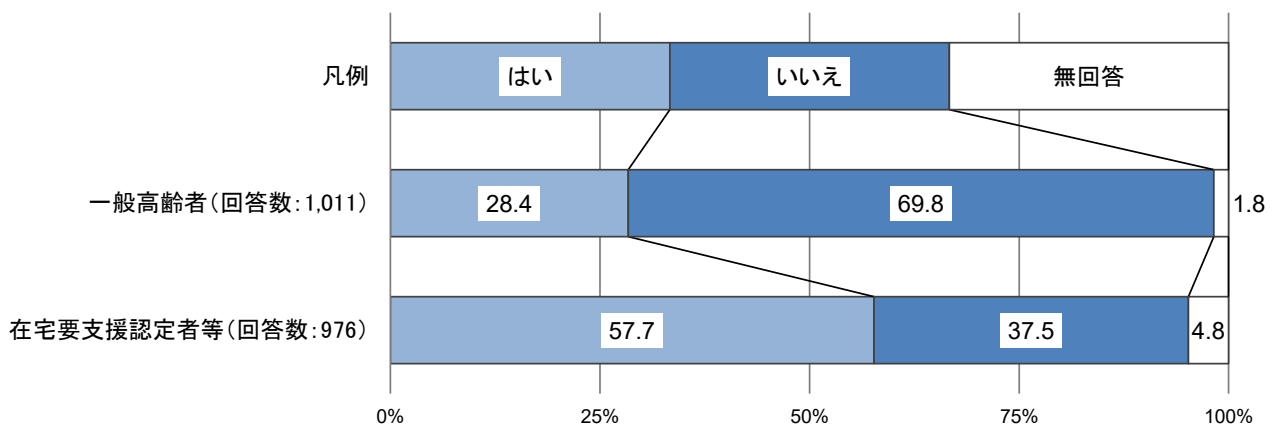
[設問] 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。



○「とても減っている」と「減っている」を合わせると、一般高齢者では27.8%であるのに対し、在宅要支援認定者等では58.4%と半数以上を占めている。

## (8) 外出を控えること

[設問] 外出を控えていますか。

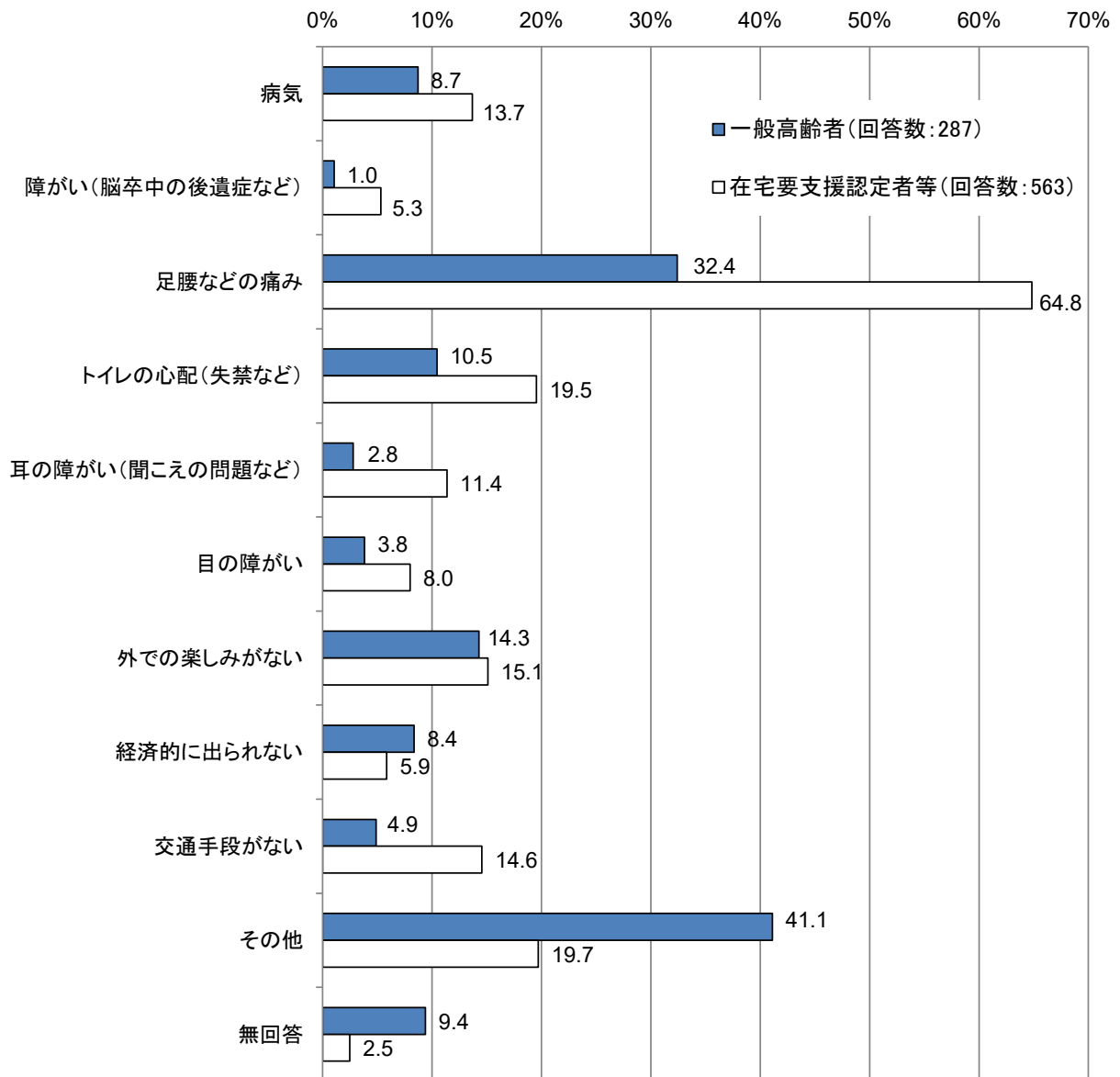


○「はい」は、一般高齢者の28.4%に対し、在宅要支援認定者等では57.7%と、29.3ポイントの差がある。

## (9) 外出を控えている理由

[設問] (外出を控えている方のみ)

外出を控えている理由は、次のどれですか。(〇はいくつでも)

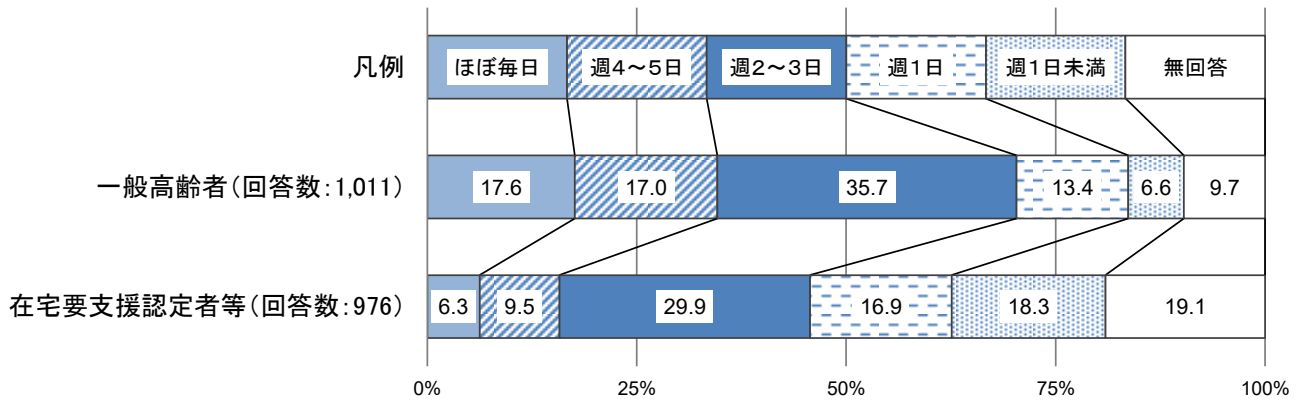


○一般高齢者では、「その他」が41.1%で最も多く、次いで「足腰などの痛み」が32.4%、「外での楽しみがない」が14.3%、「トイレの心配(失禁など)」が10.5%などの順となっている。在宅要支援認定者等では、「足腰などの痛み」が64.8%で最も多く、「その他」が19.7%、「トイレの心配(失禁など)」が19.5%、「外での楽しみがない」が15.1%などの順となっている。

## (10) 買い物、散歩での外出頻度

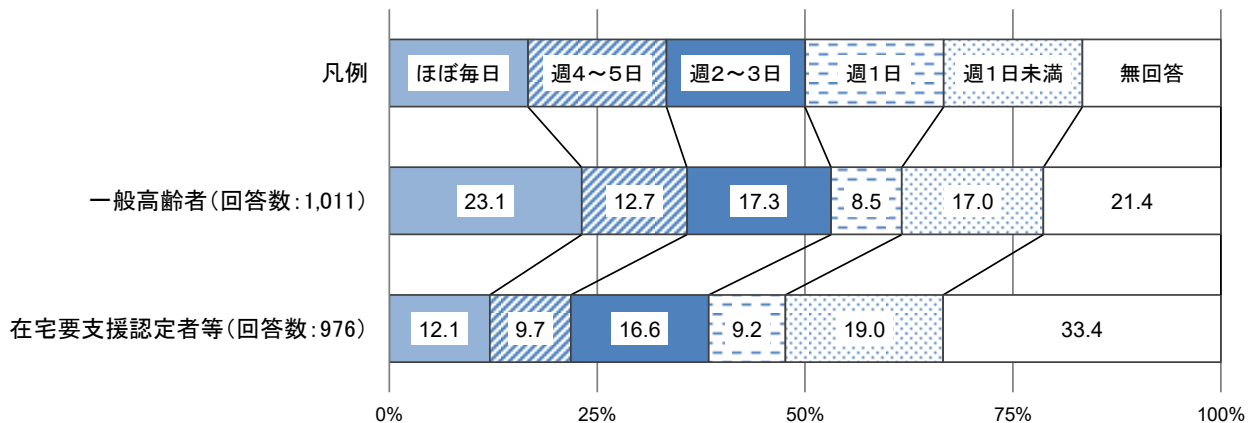
〔設問〕 買い物、散歩で外出する頻度はどのくらいですか。

【買い物】



○一般高齢者、在宅要支援認定者等とも、「週2~3日」が最も多く、それぞれ 35.7%、29.9%となっている。次いで多いのが、一般高齢者では「ほぼ毎日」が 17.6%に対し、在宅要支援認定者等では、「無回答」を除き「週1日未満」が 18.3%となっている。

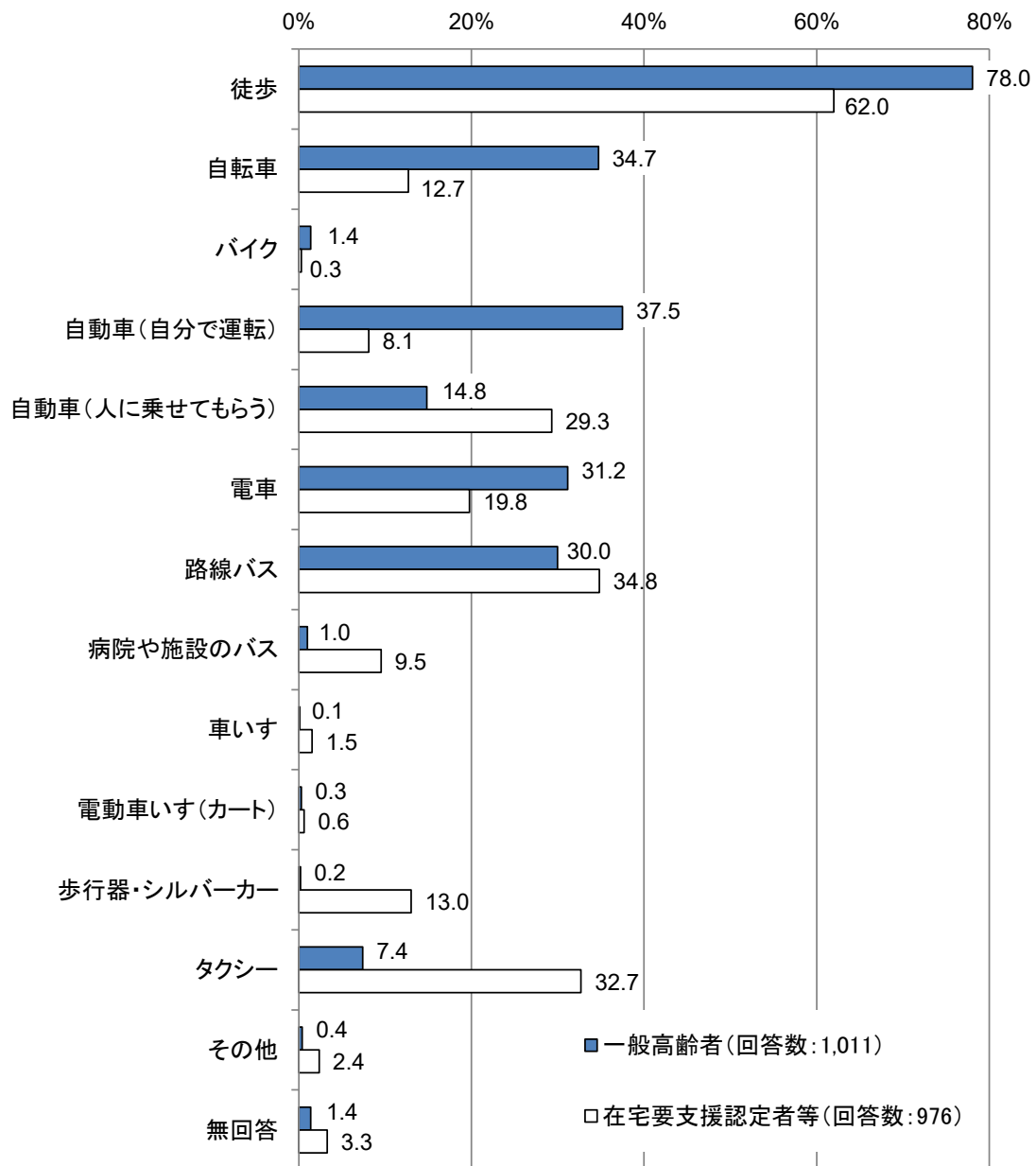
【散歩】



○一般高齢者では「ほぼ毎日」が 23.1%、在宅要支援認定者等では、無回答を除き「週1日未満」が 19.0%でそれぞれ最も多くなっている。

## (11) 外出時の移動手段

[設問] 外出する際の移動手段は何ですか。(〇はいくつでも)



○一般高齢者、在宅要支援認定者等ともに「徒歩」が最も多く、それぞれ78.0%、62.0%となっている。次いで、一般高齢者では「自動車(自分で運転)」が37.5%、「自転車」が34.7%などとなっており、在宅要支援認定者等では「路線バス」が34.8%、「タクシー」が32.7%などとなっている。特に、「自転車」、「自動車(自分で運転)」、「タクシー」などで差が大きくなっている。



### 3 食べることについて(問C)

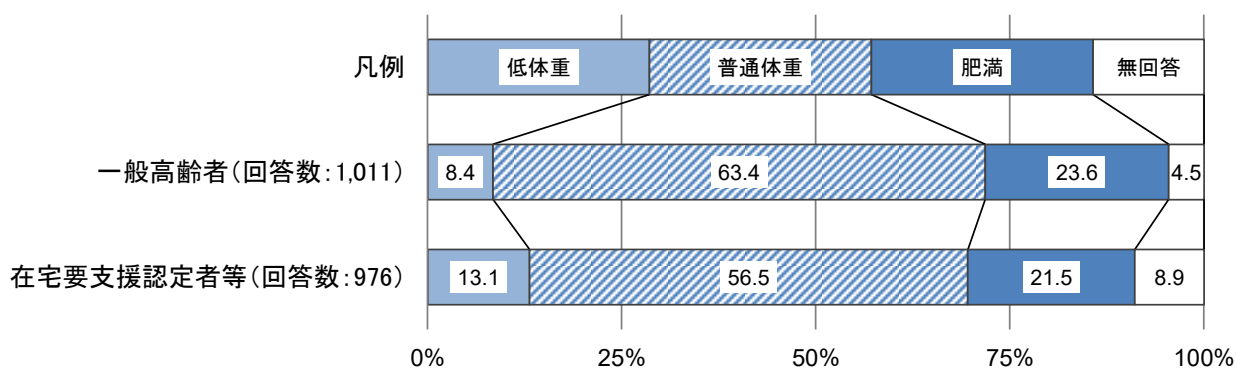
#### (1) 身長・体重

[設問] 身長( )cm 体重( )kg

BMI…体重と身長から算出される肥満度を表す体格指数です。

$$\text{BMI} = \text{体重(kg)} \div (\text{身長(m)} \times \text{身長(m)})$$

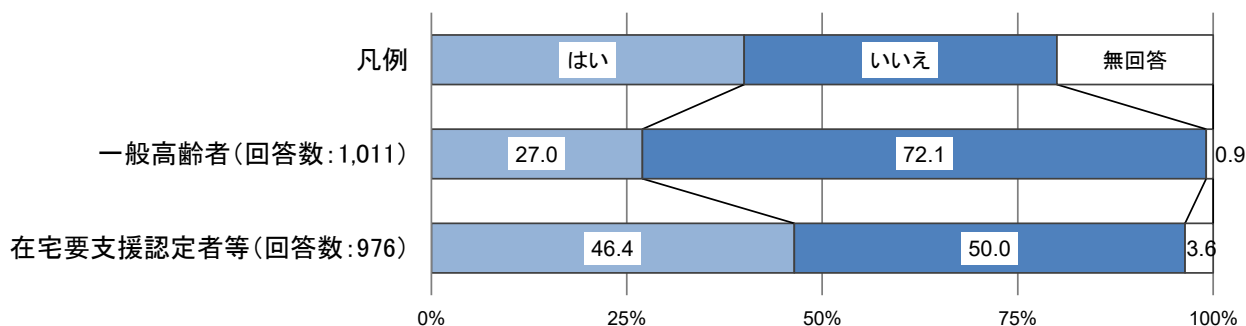
低体重: 18.5 未満 普通体重: 18.5 以上 25.0 未満 肥満: 25.0 以上



○一般高齢者、在宅要支援認定者等ともに「普通体重」が最も多く、それぞれ63.4%、56.5%となっている。「低体重」は在宅要支援認定者等が13.1%で、一般高齢者の8.4%を4.7ポイント上回っている。

#### (2) 固いものが食べにくくなったか

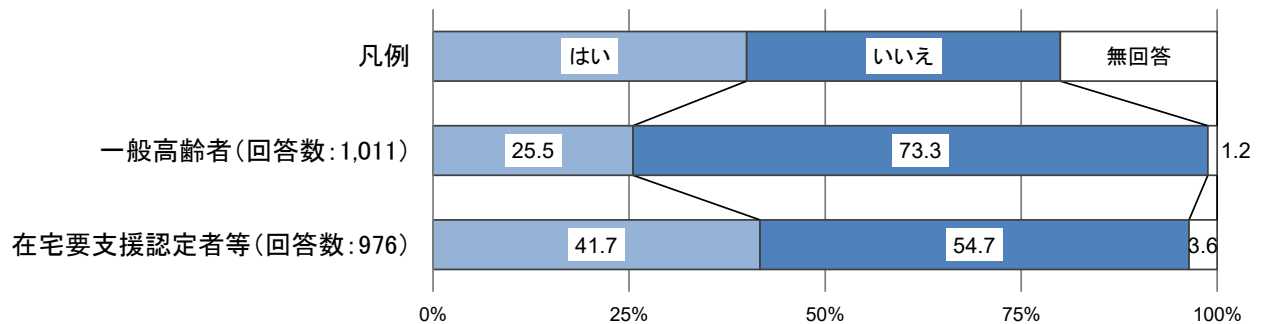
[設問] 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。



○「はい」が一般高齢者の27.0%に対し、在宅要支援認定者等では46.4%となっており、在宅要支援認定者等が一般高齢者を19.4ポイント上回っている。

### (3) お茶や汁物等でむせること

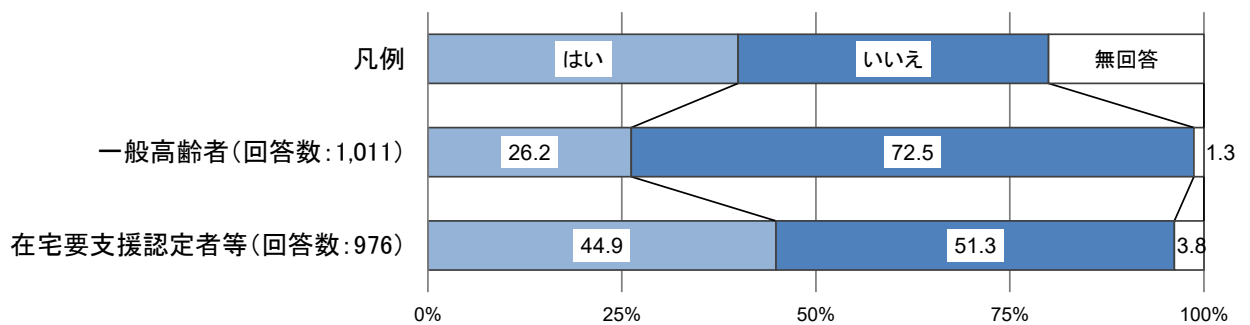
[設問] お茶や汁物等でむせることがありますか。



○「はい」が一般高齢者の 25.5%に対し、在宅要支援認定者等では 41.7%となっており、在宅要支援認定者が一般高齢者を 16.2 ポイント上回っている。

### (4) 口の渇きについて

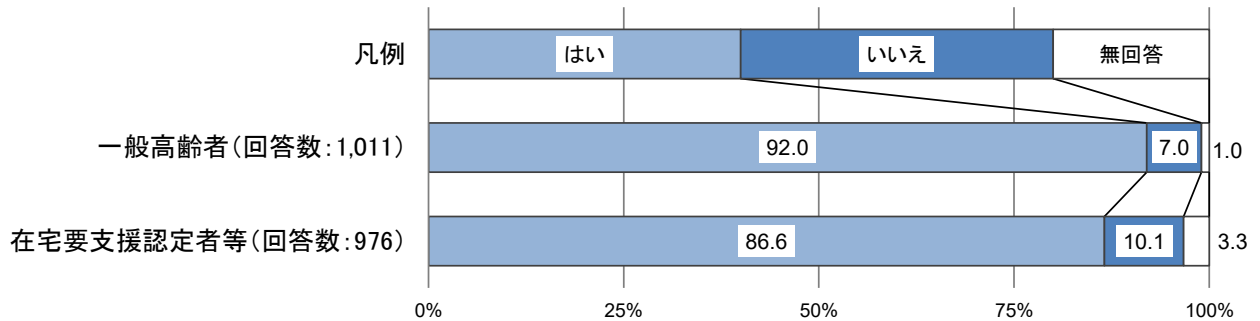
[設問] 口の渇きが気になりますか。



○「はい」が一般高齢者の 26.2%に対し、在宅要支援認定者等では 44.9%となっており、在宅要支援認定者等が一般高齢者を 18.7 ポイント上回っている。

## (5) 毎日の歯磨きについて

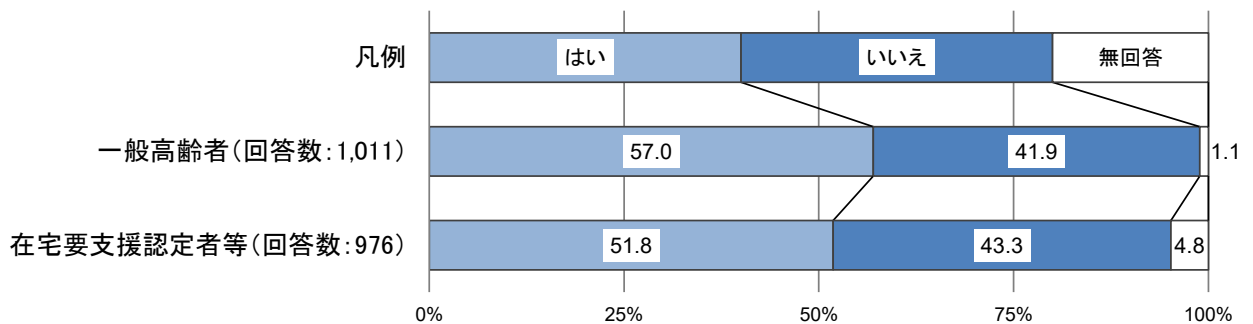
[設問] 歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日していますか。



○一般高齢者、在宅要支援認定者等ともに、「はい」が9割前後を占めているが、在宅要支援認定者等は一般高齢者を5.4ポイント下回っている。

## (6) 定期的な歯科受診の有無

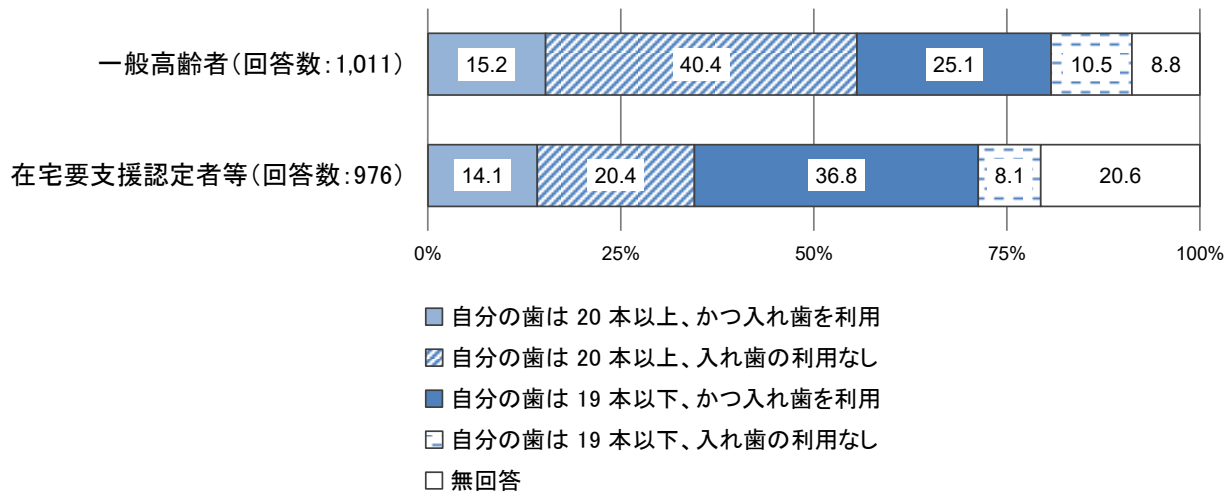
[設問] 定期的に歯科受診(\*健診を含む)をしていますか。



○「はい」が、一般高齢者では57.0%、在宅要支援認定者等では51.8%となっており、在宅要支援認定者等は一般高齢者を5.2ポイント下回っている。

## (7) 歯の数と入れ歯の利用状況

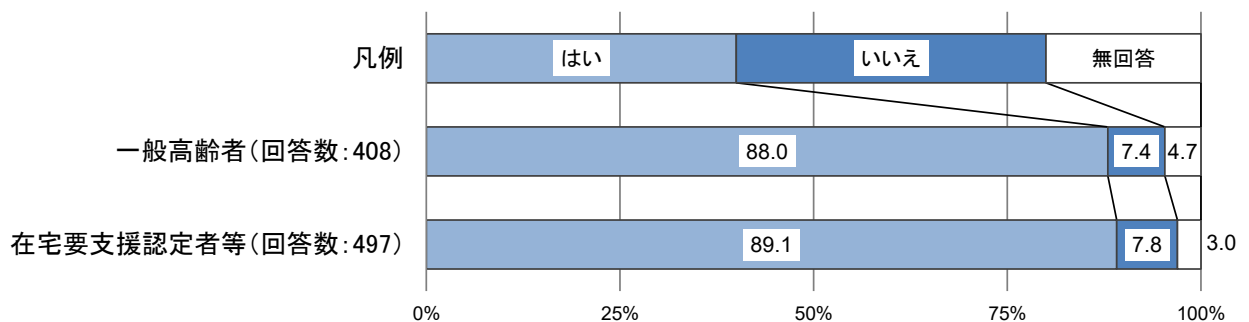
[設問] 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。  
 (\*成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です。)



○一般高齢者では「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 40.4%、在宅要支援認定者等では「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が 36.8%とそれぞれ最も多くなっている。

## (8) 入れ歯の毎日の手入れ状況

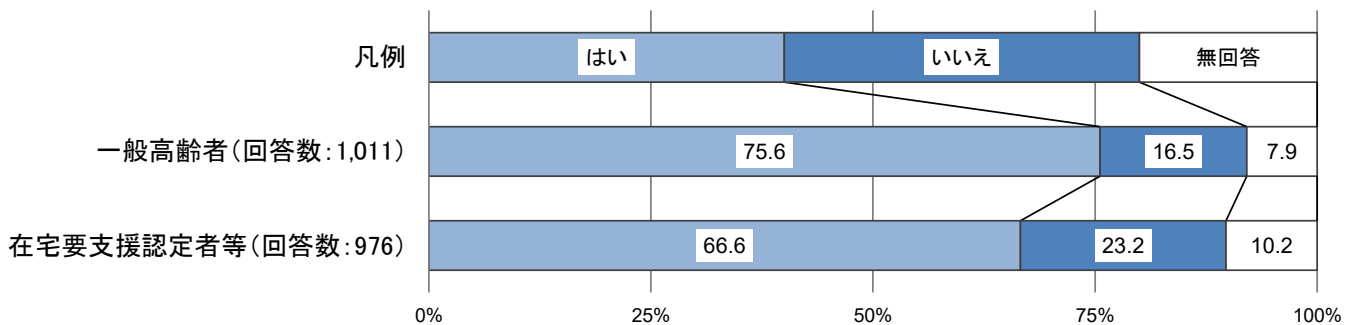
[設問] (入れ歯の利用がある方のみ)  
 毎日入れ歯の手入れをしていますか。



○一般高齢者、在宅要支援認定者等ともに、「はい」が約 9 割となっている。

### (9) 噛み合わせは良いか

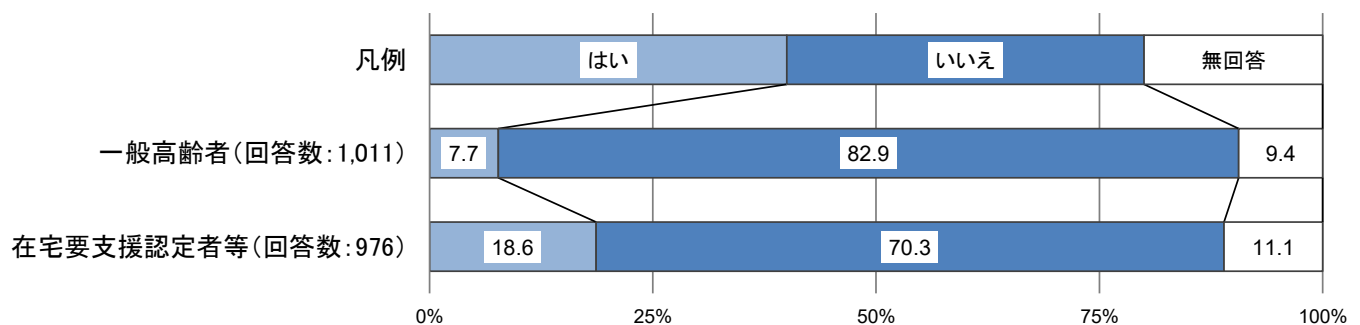
[設問] 噛み合わせは良いですか。



○一般高齢者、在宅要支援認定者等ともに「はい」が最も多く、それぞれ 75.6%、66.6%となっている。一方、「いいえ」はそれぞれ 16.5%、23.2%で、在宅要支援認定者等は一般高齢者を 6.7 ポイント上回っている。

### (10) 急激な体重減少の有無

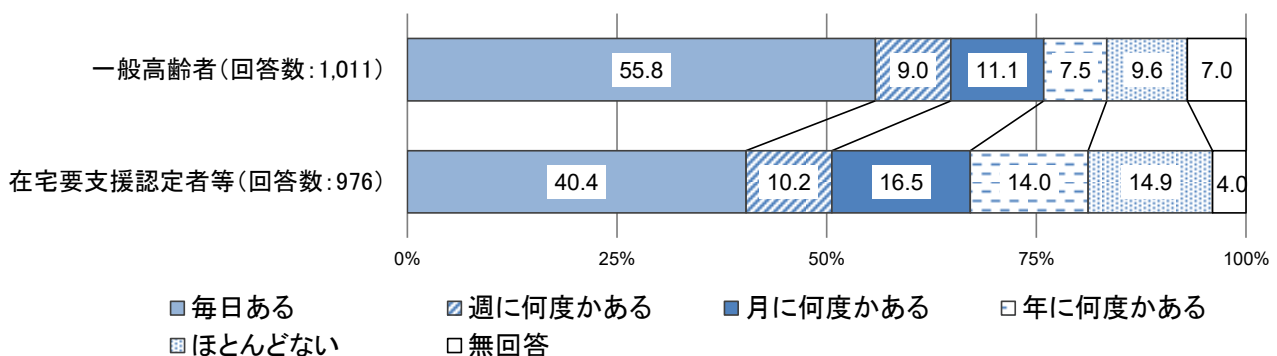
[設問] 6か月間で2~3kg以上の体重減少がありましたか。



○「はい」が一般高齢者で7.7%であるのに対し、在宅要支援認定者等は 18.6%で、一般高齢者より 10.9 ポイント多くなっている。

### (11) 誰かと食事をとむにする(共食)機会の有無

[設問] どなたかと食事をとむにする機会がありますか。

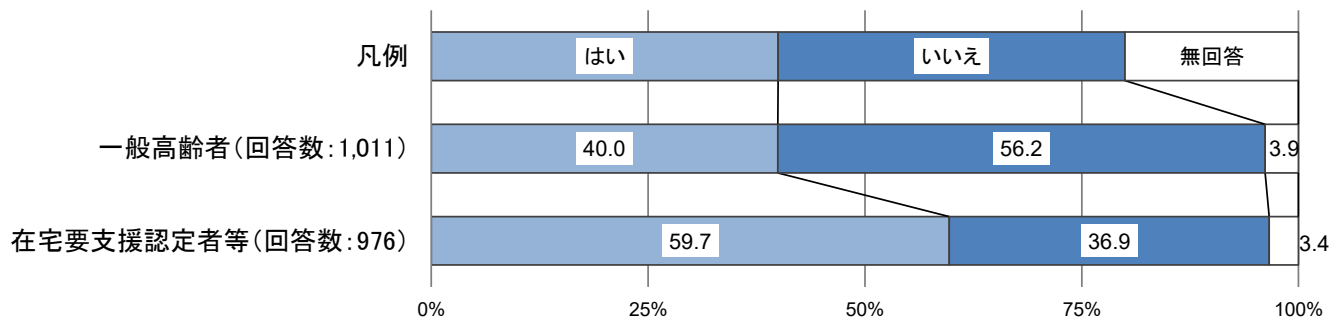


○いずれも「毎日ある」が最も多くなっているが、一般高齢者が 55.8%であるのに対し、在宅要支援認定者等は 40.4%で、一般高齢者を 15.4 ポイント下回っている。

## 4 毎日の生活について(問D)

### (1) 物忘れが多いか

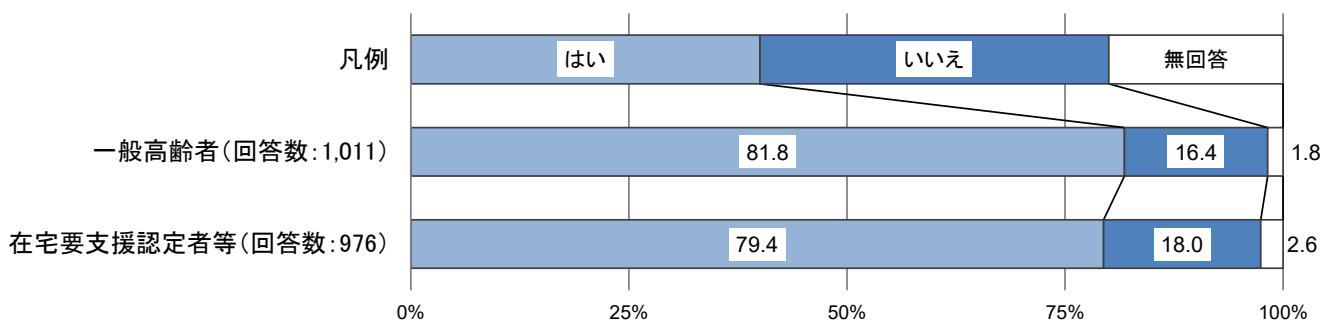
[設問] 物忘れが多いと感じますか。



○一般高齢者では「はい」が40.0%であるのに対し、在宅要支援認定者等では「はい」が59.7%と、19.7ポイント多くになっている。

### (2) 自分で番号を調べて電話をかけること

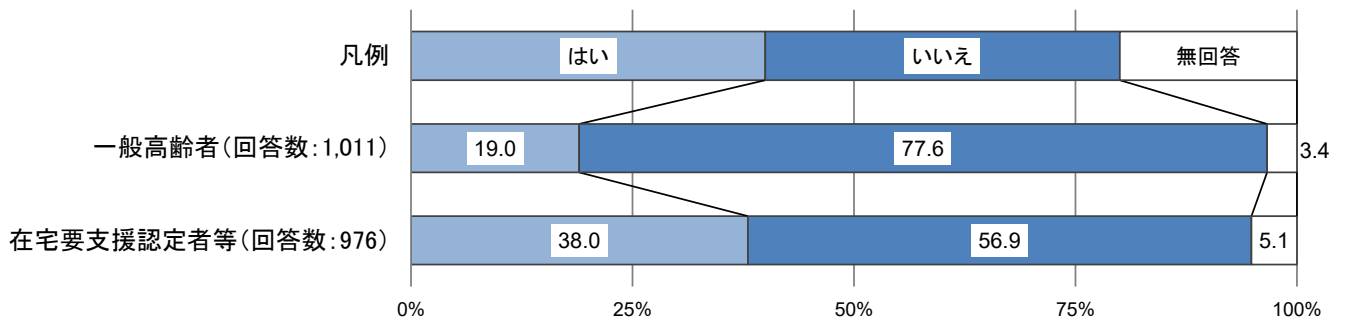
[設問] 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。



○一般高齢者、在宅要支援認定者等ともに、「はい」が8割前後で、差はほとんど見られない。

### (3) 日付がわからないことの有無

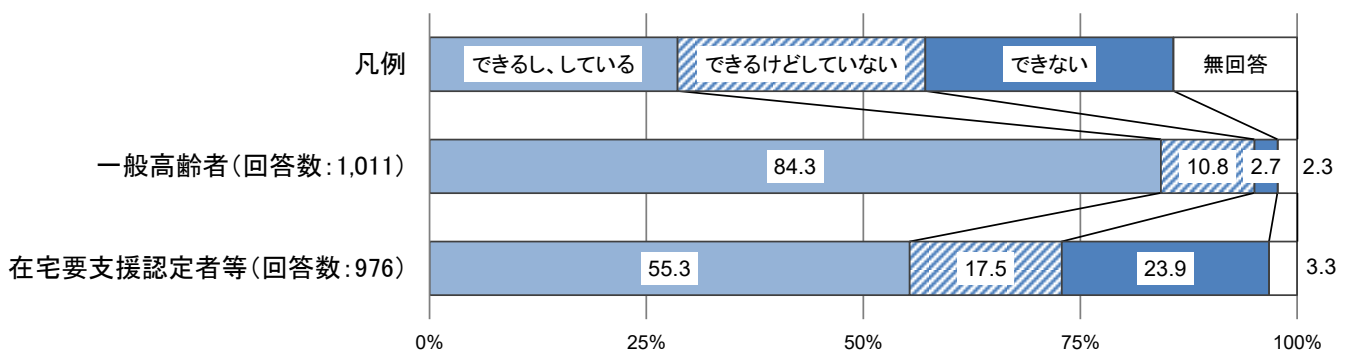
〔設問〕今日が何月何日かわからない時がありますか。



○一般高齢者で「はい」が19.0%であるのに対し、在宅要支援認定者等は38.0%で、一般高齢者を19ポイント上回っている。

### (4) 一人での外出

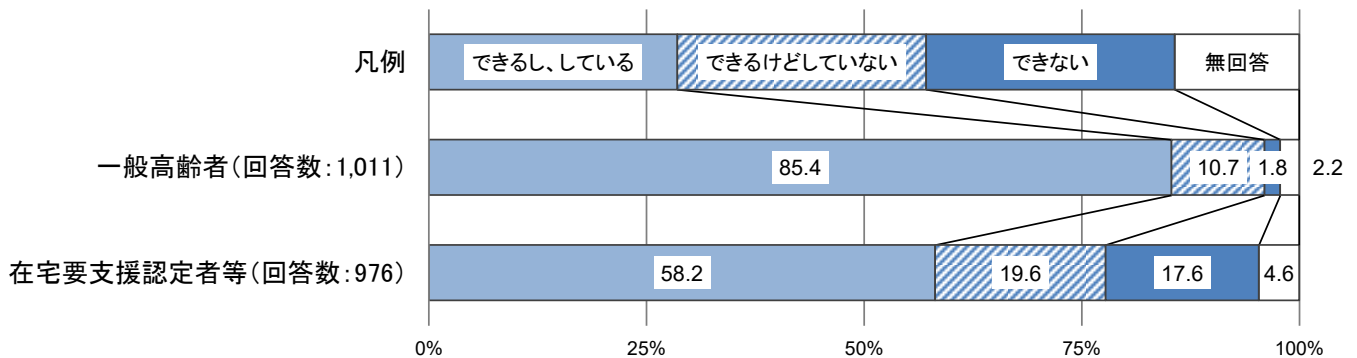
〔設問〕バスや電車を使って一人で外出していますか(自家用車でも可)



○「できるし、している」が一般高齢者で84.3%であるのに対し、在宅要支援認定者等では55.3%で一般高齢者を29ポイント下回っている。一方で、「できない」は在宅要支援認定者等が23.9%と一般高齢者の2.7%を大きく上回っている。

## (5) 食品・日用品の買い物

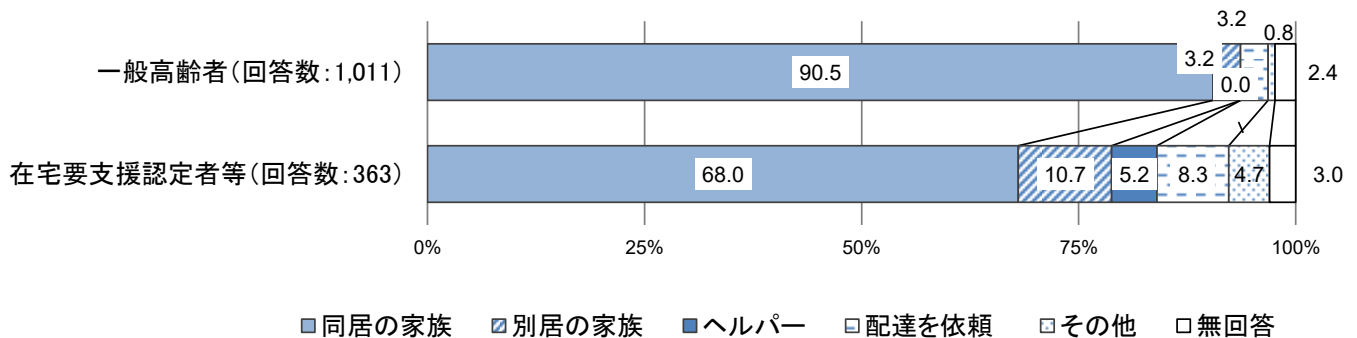
〔設問〕自分で食品・日用品の買い物をしていますか。



○「できるし、している」が一般高齢者で 85.4%であるのに対し、在宅要支援認定者等では 58.2%で、一般高齢者を 27.2 ポイント下回っている。一方で、「できない」は在宅要支援認定者等が 17.6%と一般高齢者の 1.8%を大きく上回っている。

## (6) 食品・日用品の買い物をする人

〔設問〕(食品・日用品の買い物を「できるけどしていない」、「できない」方のみ)  
食品・日用品の買い物をする人は主にどなたですか。(○は1つ)

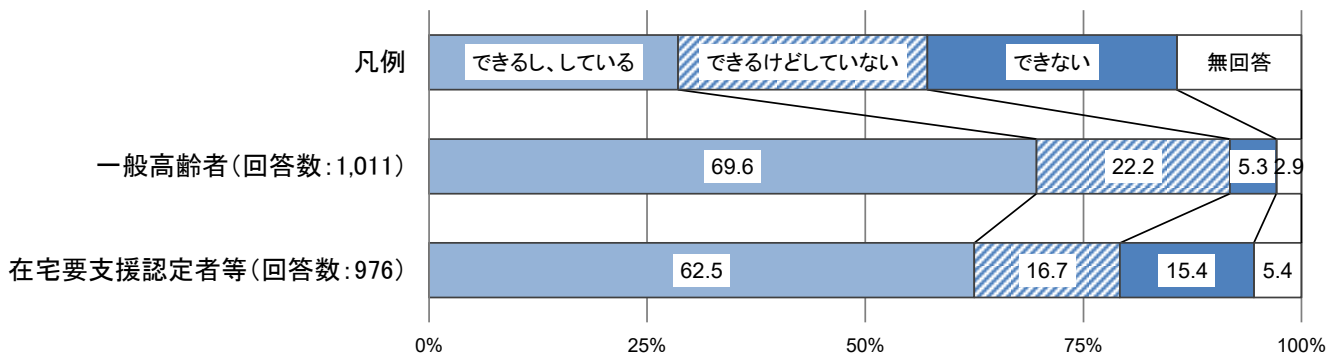


○いずれも「同居の家族」が最も多くなっているが、一般高齢者の 90.5%に対し、在宅要支援認定者等は 68.0%と、22.5 ポイントの差がある。一方、在宅要支援認定者等では、「別居の家族」、「ヘルパー」、「配達を依頼」などが増えている。



## (7) 食事の用意

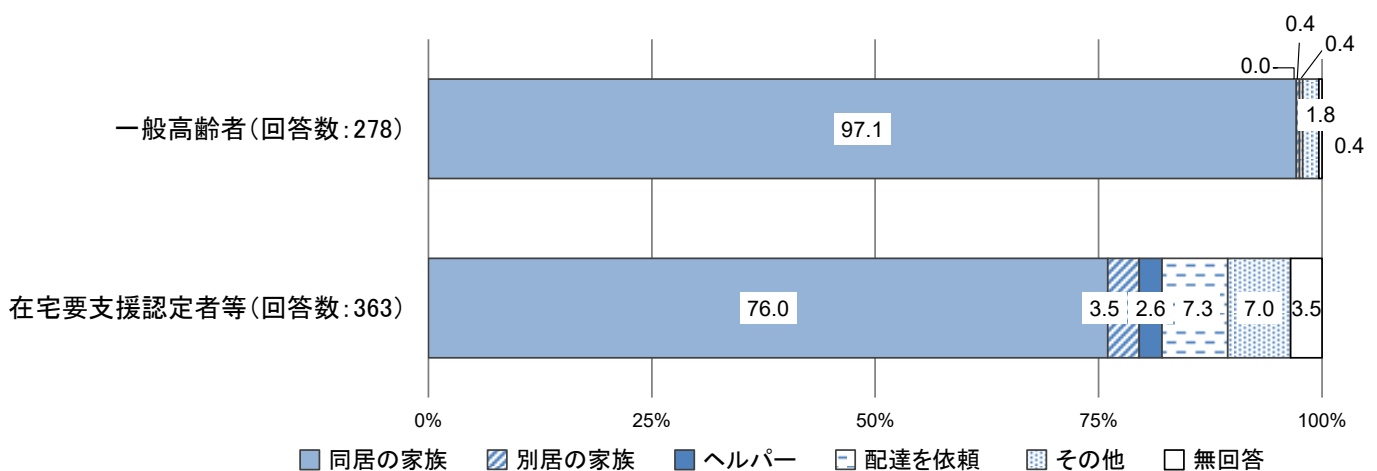
[設問] 自分で食事の用意をしていますか。



○「できるし、している」がいずれも半数以上で多く、在宅要支援認定者等では「できない」が15.4%と一般高齢者の5.3%を10.1ポイント上回っている。

## (8) 食事の用意をする人

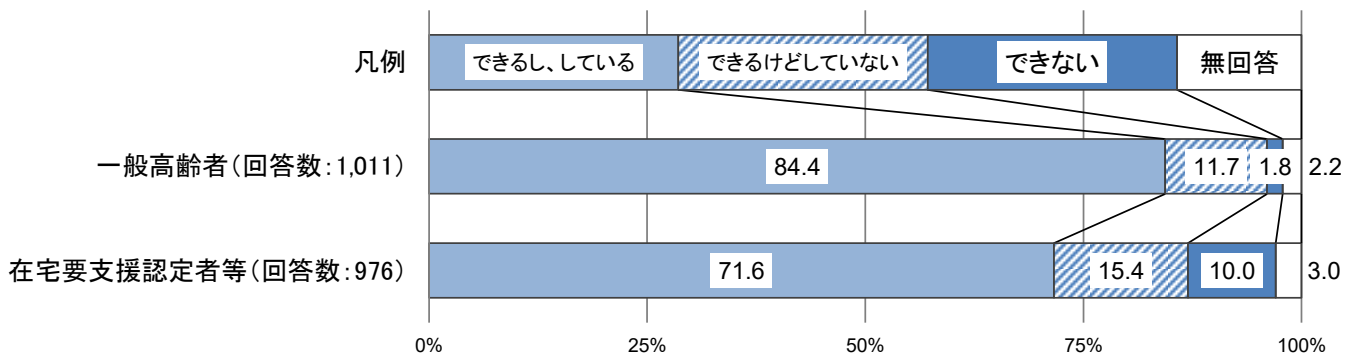
[設問] (食事の用意を「できるけどしていない」、「できない」方のみ)  
食事の用意をする人は主にどなたですか。(○は1つ)



○いずれも「同居の家族」が最も多く、一般高齢者では97.1%、在宅要支援認定者等では76.0%となっている。また、在宅要支援認定者等では「配達を依頼」が7.3%と多くなっている。

## (9) 請求書の支払いの状況

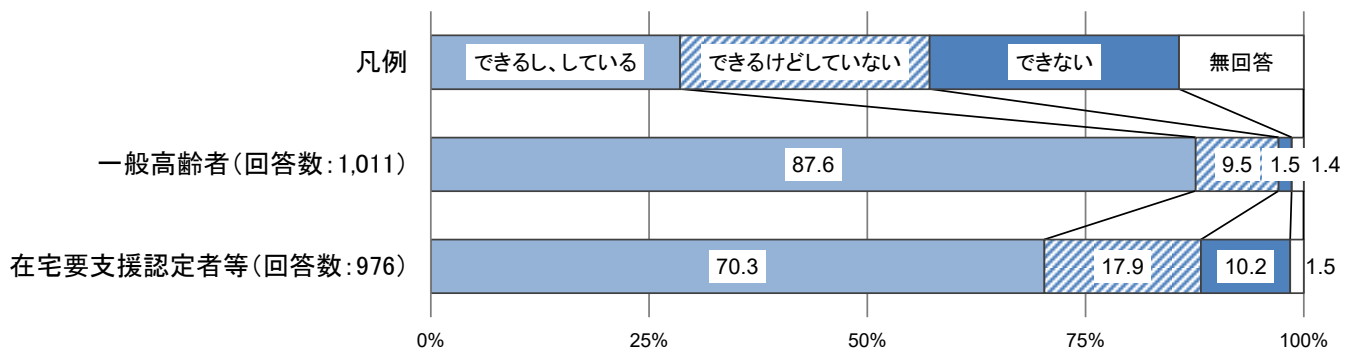
〔設問〕自分で請求書の支払いをしていますか。



○いずれも「できるし、している」が過半を占め、一般高齢者では 84.4%、在宅要支援認定者等で 71.6%となっている。一方、在宅要支援認定者等では「できない」が 10.0%と一般高齢者を大きく上回っている。

## (10) 預貯金の出し入れの状況

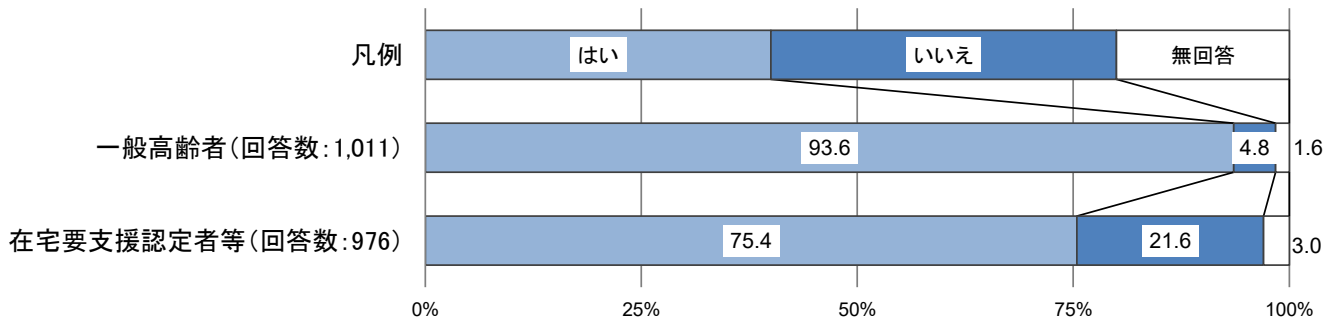
〔設問〕自分で預貯金の出し入れをしていますか。



○いずれも「できるし、している」が過半を占め、一般高齢者で 87.6%、在宅要支援認定者等で 70.3%となっている。一方、「できない」は在宅要支援認定者等で 10.2%と一般高齢者を大きく上回っている。

## (11) 年金などの書類を書くことの可否

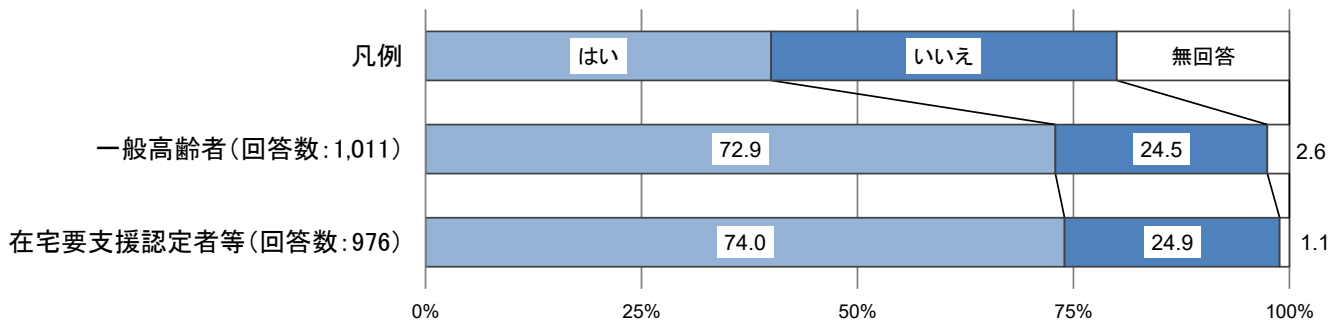
[設問] 年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか。



○「はい」が一般高齢者では93.6%、在宅要支援認定者等では75.4%と、いずれも大半を占めているが、「いいえ」は在宅要支援認定者等で21.6%と一般高齢者の4.8%を16.8ポイント上回っている。

## (12) 新聞を読むこと

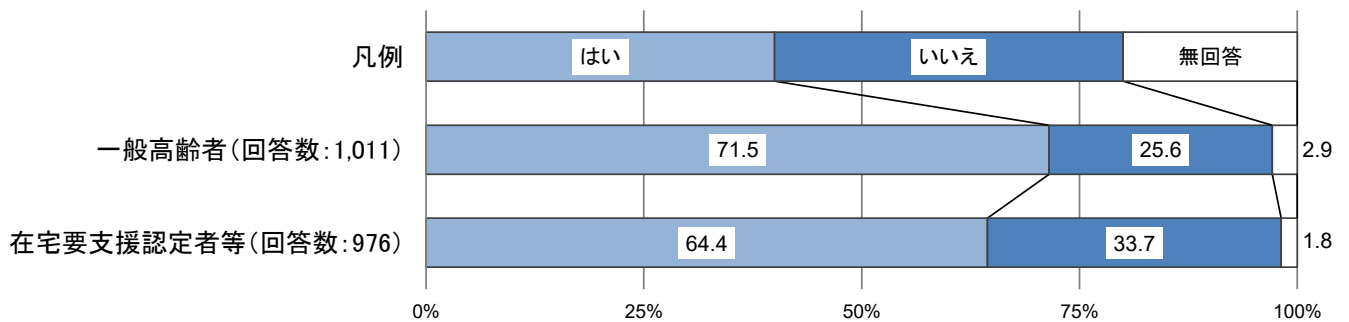
[設問] 新聞を読んでいますか。



○「はい」が一般高齢者では72.9%、在宅要支援認定者等では74.0%と過半を占めており、回答にそれほど差異はない。「いいえ」の割合についても、それほど差異はみられない。

### (13) 本や雑誌を読むこと

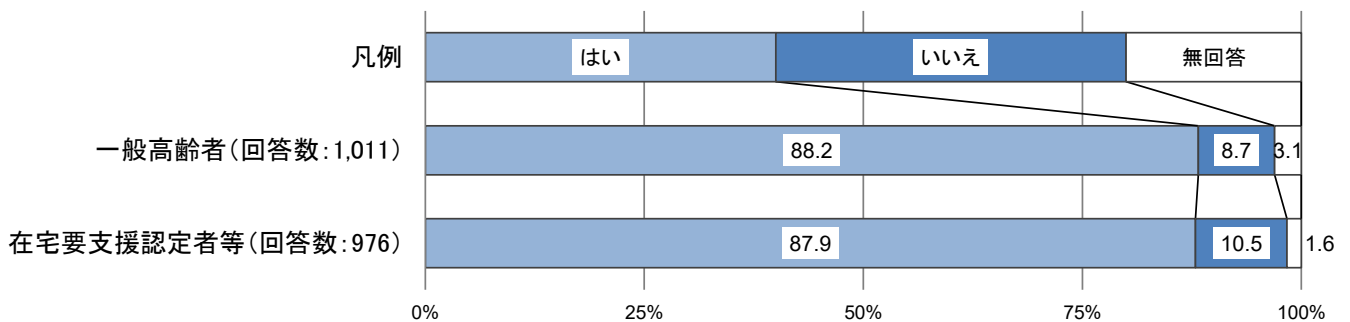
[設問] 本や雑誌を読んでいますか。



○「はい」が一般高齢者では71.5%、在宅要支援認定者等では64.4%で、7.1ポイントの差がみられる。

### (14) 健康についての記事や番組への関心の有無

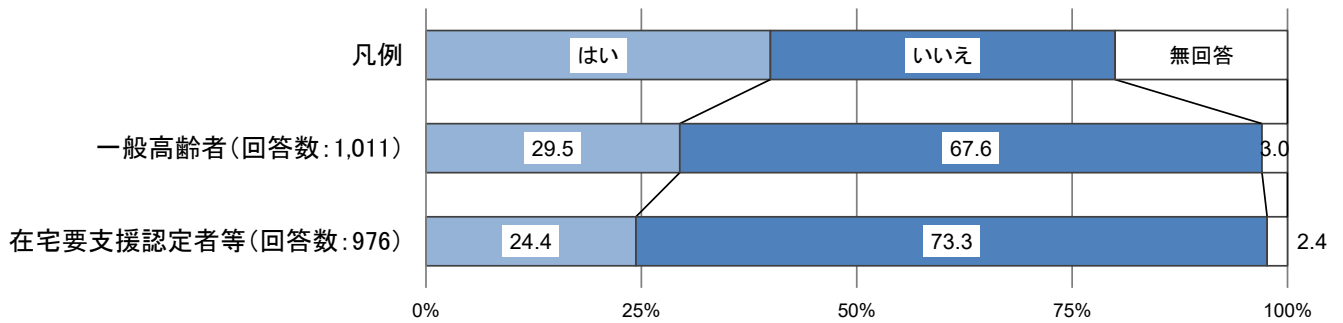
[設問] 健康についての記事や番組に関心がありますか。



○「はい」が一般高齢者で88.2%、在宅要支援認定者等で87.9%と、いずれも大半を占め、差はみられない。

## (15) 友人宅への訪問の有無

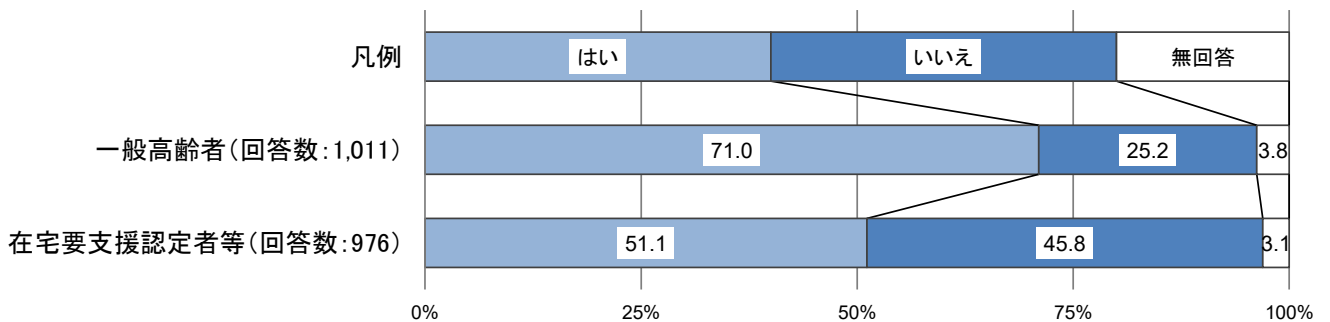
〔設問〕 友人の家を訪ねていますか。



○いずれも「いいえ」が半数以上を占め、一般高齢者の67.6%に対し、在宅要支援認定者等では73.3%と、5.7ポイントの差がみられる。

## (16) 家族や友人の相談にのることの有無

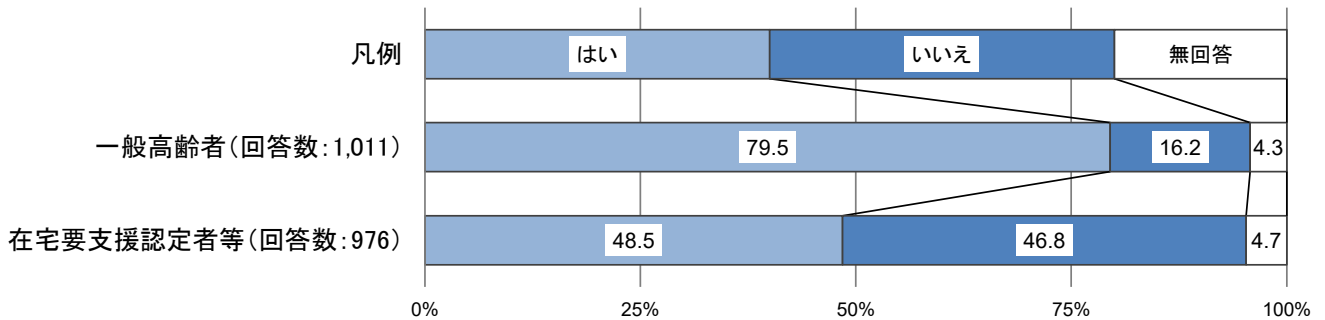
〔設問〕 家族や友人の相談にのっていますか。



○「はい」が一般高齢者の71.0%に対し、在宅要支援認定者等は51.1%と、19.9ポイントの差がみられる。

## (17) 病人の見舞いの可否

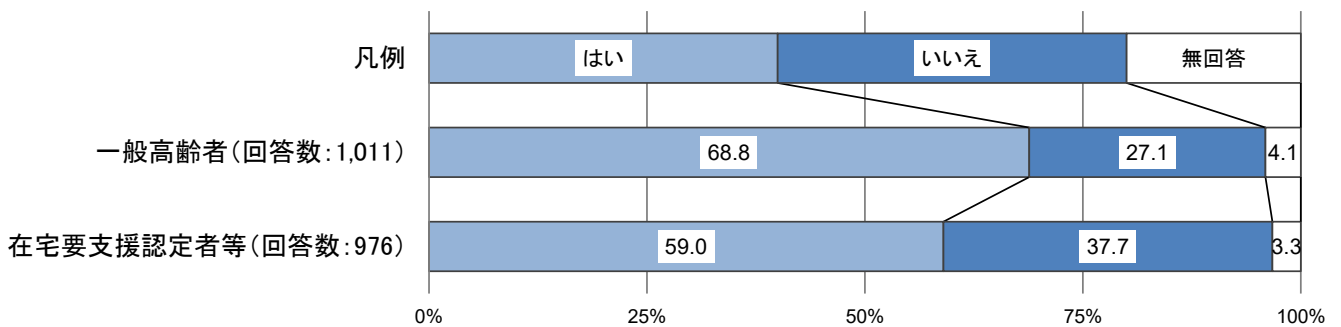
〔設問〕 病人を見舞うことができますか。



○「はい」が一般高齢者の79.5%に対し、在宅要支援認定者等は48.5%で、31ポイントの差がみられる。

## (18) 若い人に話しかけることの有無

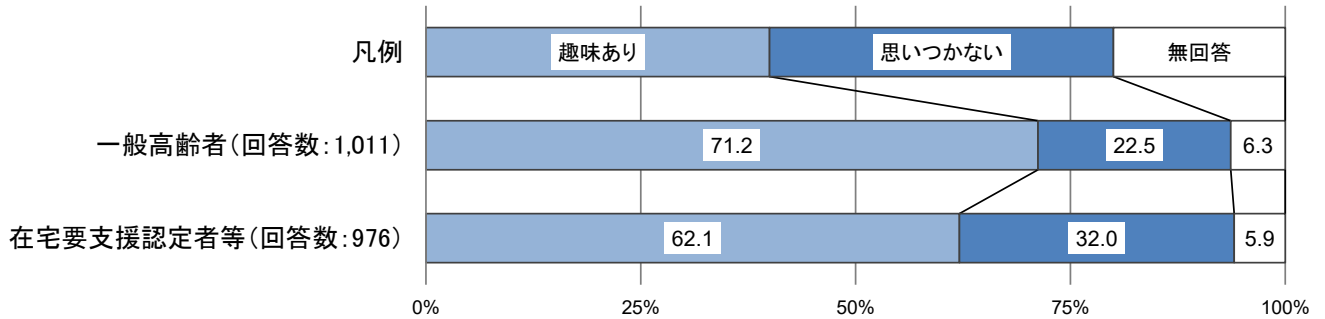
〔設問〕 若い人に自分から話しかけることがありますか。



○いずれも「はい」が半数以上を占め、一般高齢者では68.8%、在宅要支援認定者等では59.0%となっている。一方、「いいえ」は在宅要支援認定者等が37.7%と、一般高齢者を上回っている。

## (19) 趣味の有無

〔設問〕 趣味はありますか。



○「趣味あり」が一般高齢者では71.2%、在宅要支援認定者等では62.1%で、一般高齢者が在宅要支援認定者等を9.1ポイント上回っている。

### 【趣味の記述内容(主なもの)】

<一般高齢者>

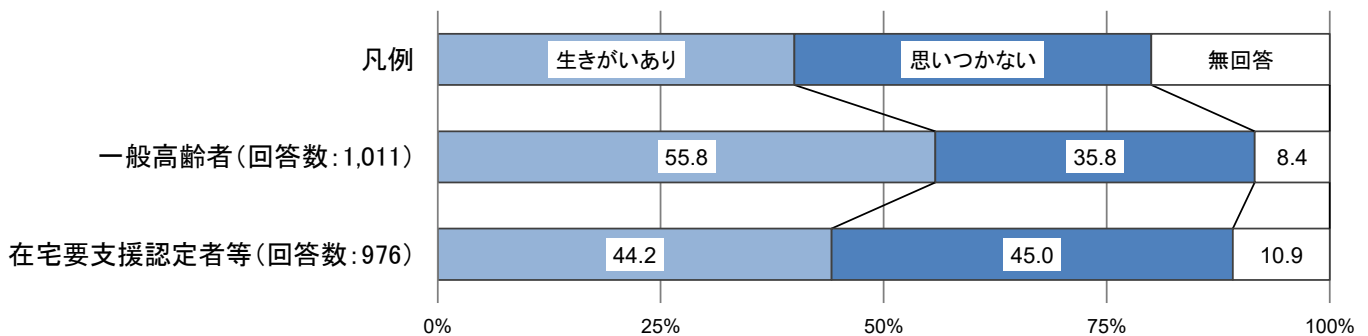
手芸／囲碁・将棋・麻雀／園芸／運動・スポーツ／歌(合唱・カラオケ含む)／音楽鑑賞／映画鑑賞／絵画／ダンス・踊り／釣り／読書／ドライブ／旅行／スマホ・パソコン／書道／楽器演奏等

<在宅要支援認定者等>

園芸／手芸／読書／テレビ／音楽鑑賞・映画鑑賞／運動・スポーツ／歌(合唱・カラオケ含む)／囲碁・将棋・麻雀／スマホ・パソコン／ゲーム・パズル／旅行／俳句・短歌等

## (20) 生きがいの有無

【設問】生きがいはありますか。



○「生きがいあり」が一般高齢者では55.8%、在宅要支援認定者等では44.2%で、一般高齢者が在宅要支援認定者等を上回っている。また、在宅要支援認定者等では「思いつかない」が45.0%で、「生きがいあり」と同等程度となっている。

### 【生きがいの記述内容(主なもの)】

#### <一般高齢者>

子や孫の成長・世話 / 健康でいること / 旅行 / 食事・外食 / ペット / 家族 / 友人 / 仕事 / 趣味 / 会話・人との関わり / 運動・スポーツ / 学習・文化活動・ボランティア等

#### <在宅要支援認定者等>

子や孫の成長 / 健康でいること / 趣味 / 家族 / 旅行 / ペット / 友人 / 会話・人との関わり / 食事 / 日々の生活 / 仕事 / 運動・スポーツ等



## 5 地域での活動について(問E)

### (1) 会・グループ等への参加頻度

[設問] 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか(個人の活動も含みます)。  
(1)～(10)について、あてはまる欄に○をつけてください。

【一般高齢者】(回答数:1,011)

	上段:回答数 下段:割合(%)	週4回 以上	週2～ 3回	週1回	月1～ 3回	年に数回	参加して いない	無回答
(1)ボランティア	10	18	18	36	39	662	228	
	1.0	1.8	1.8	3.6	3.9	65.5	22.6	
(2)スポーツ関係	47	62	60	50	30	553	209	
	4.6	6.1	5.9	4.9	3.0	54.7	20.7	
(3)趣味関係	36	52	45	99	67	520	192	
	3.6	5.1	4.5	9.8	6.6	51.4	19.0	
(4)学習・教養サークル	3	10	15	32	32	673	246	
	0.3	1.0	1.5	3.2	3.2	66.6	24.3	
(5)てんとうむし体操(転倒予防体操)	3	6	13	12	7	726	244	
	0.3	0.6	1.3	1.2	0.7	71.8	24.1	
(6)地域サロン(地域テラス)	3	0	1	5	15	726	261	
	0.3	0.0	0.1	0.5	1.5	71.8	25.8	
(7)高齢者のつどい	3	3	4	7	26	723	245	
	0.3	0.3	0.4	0.7	2.6	71.5	24.2	
(8)老人クラブ	3	3	1	5	16	733	250	
	0.3	0.3	0.1	0.5	1.6	72.5	24.7	
(9)町内会・自治会	6	5	5	30	131	600	234	
	0.6	0.5	0.5	3.0	13.0	59.3	23.1	
(10)収入のある仕事	117	74	20	12	9	558	221	
	11.6	7.3	2.0	1.2	0.9	55.2	21.9	

○いずれも「参加していない」割合が最も多い。回数を限定せずに全体として参加が多いのは、「(3)趣味関係」が合わせて29.6%、次いで「(2)スポーツ関係」が24.5%、「(10)収入のある仕事」が23.0%、「(9)町内会・自治会」が17.6%、「(1)ボランティア」が12.1%、「(4)学習・教養サークル」が9.2%などとなっている。「(3)趣味関係」についてみると、「月1～3回」が9.8%で最も多く、次いで「年に数回」が6.6%、「週2～3回」が5.1%などとなっている。

【在宅要支援認定者等】(回答数:976)

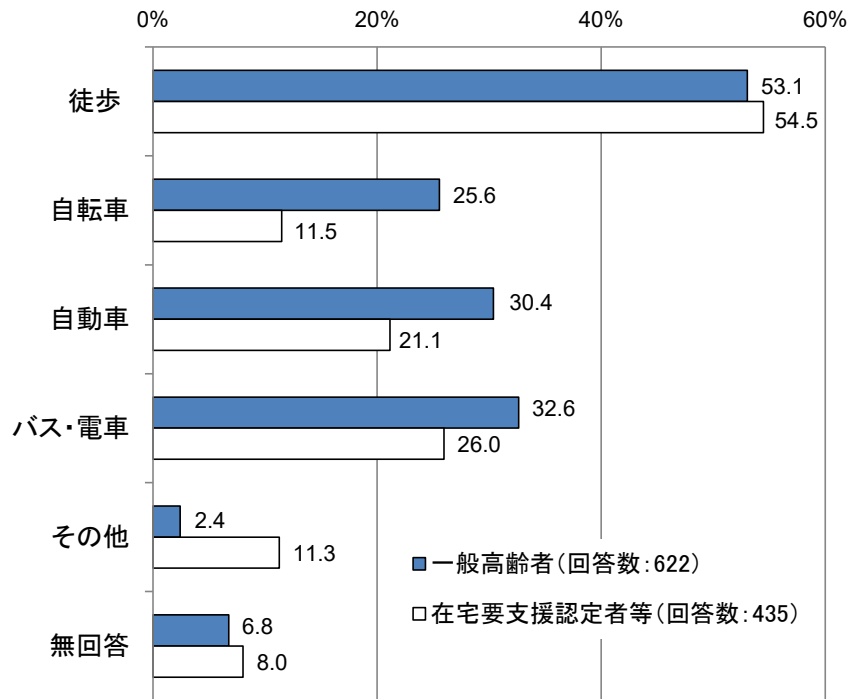
上段:回答数 下段:割合(%)	週4回 以上	週2～ 3回	週1回	月1～ 3回	年に数回	参加して いない	無回答
(1)ボランティア	3 0.3	2 0.2	10 1.0	9 0.9	29 3.0	613 62.8	310 31.8
(2)スポーツ関係	14 1.4	39 4.0	34 3.5	17 1.7	7 0.7	584 59.8	281 28.8
(3)趣味関係	15 1.5	50 5.1	27 2.8	59 6.0	26 2.7	541 55.4	258 26.4
(4)学習・教養サークル	3 0.3	4 0.4	20 2.0	36 3.7	15 1.5	596 61.1	302 30.9
(5)てんとうむし体操(転倒予防体操)	13 1.3	22 2.3	29 3.0	22 2.3	5 0.5	605 62.0	280 28.7
(6)地域サロン(地域テラス)	2 0.2	5 0.5	5 0.5	9 0.9	21 2.2	620 63.5	314 32.2
(7)高齢者のつどい	9 0.9	21 2.2	20 2.0	25 2.6	27 2.8	593 60.8	281 28.8
(8)老人クラブ	7 0.7	6 0.6	2 0.2	10 1.0	22 2.3	623 63.8	306 31.4
(9)町内会・自治会	3 0.3	2 0.2	2 0.2	15 1.5	57 5.8	601 61.6	296 30.3
(10)収入のある仕事	11 1.1	6 0.6	0 0.0	5 0.5	7 0.7	634 65.0	313 32.1

○いずれも「参加していない」が最も多い。回数を限定せずに全体として参加が多いのは、「(3)趣味関係」が合わせて18.1%、次いで「(2)スポーツ関係」が11.3%、「(7)高齢者のつどい」が10.5%、「(5)てんとうむし体操(転倒予防体操)」が9.4%、「(9)町内会・自治会」が8.0%などとなっている。「(3)趣味関係」についてみると、「月1～3回」が6.0%で最も多く、次いで「週2～3回」が5.1%、「週に1回」が2.8%、「年に数回」が2.7%などとなっている。

## (2) 活動場所までの交通手段

[設問] (地域での活動に参加している方のみ)

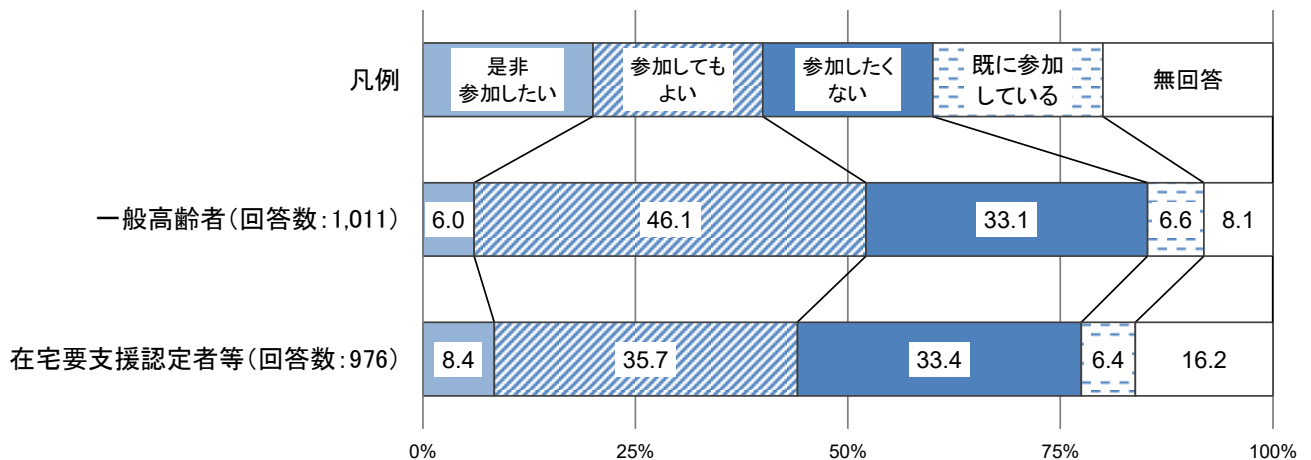
活動場所までの交通手段をお教えてください。(〇はいくつでも)



〇いずれも「徒歩」がほぼ半数を占め、次いで「バス・電車」が多くなっている。「自転車」が一般高齢者で 25.6% であるのに対し、在宅要支援認定者等では 11.5% と一般高齢者を大きく下回っている。

## (3) 健康づくり活動、グループ活動に参加者として参加する意思

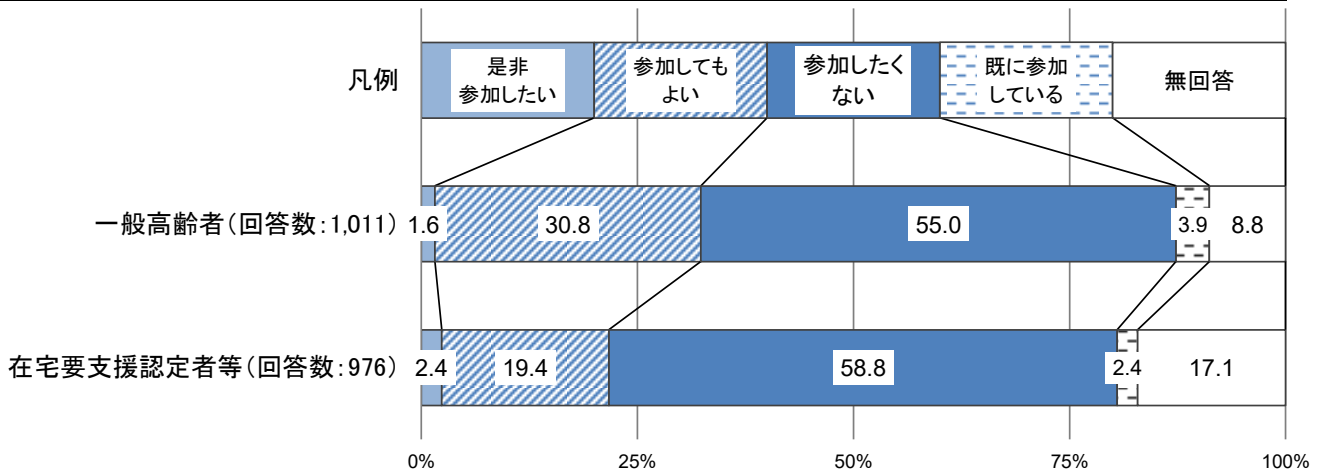
[設問] 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。



〇「是非参加したい」「参加してもよい」を合わせると、一般高齢者では 52.1%、在宅要支援認定者等では 44.1% が参加の意向を示している。これに対し、「参加したくない」は、一般高齢者の 33.1% に対し、在宅要支援認定者等では 33.4% となっている。

#### (4) 健康づくり活動、グループ活動に企画・運営者として参加する意思

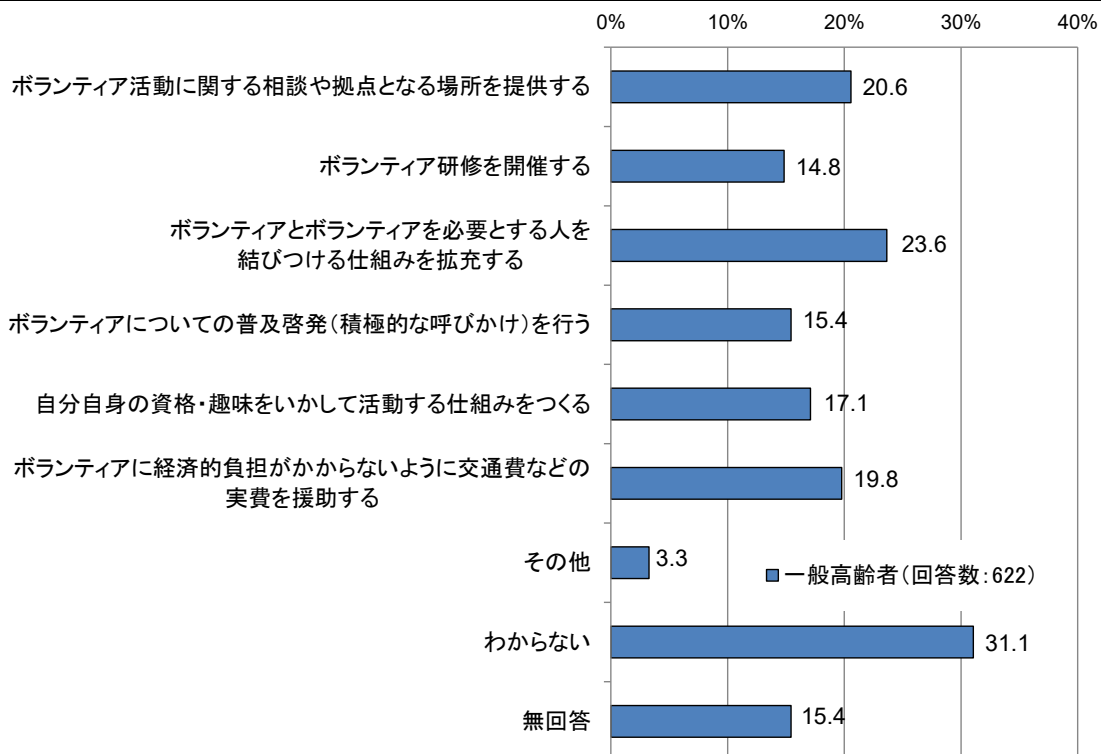
[設問] 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。



○一般高齢者、在宅要支援認定者等とも「参加したくない」が最も多く、それぞれ55.0%、58.8%、次いで「参加してもよい」がそれぞれ30.8%、19.4%、「既に参加している」がそれぞれ3.9%、2.4%などとなっている。

#### (5) ボランティア活動の輪を広げていくために必要なこと

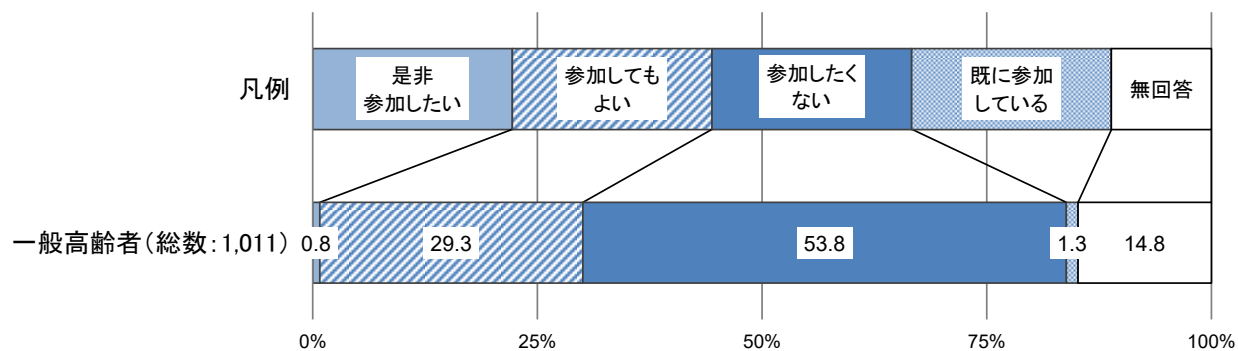
[設問] 今後、ボランティア活動の輪を広げていくために、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)



○「わからない」が31.1%で最も多く、次いで「ボランティアとボランティアを必要とする人を結びつける仕組みを拡充する」が23.6%、「ボランティア活動に関する相談や拠点となる場所を提供する」が20.6%などとなっている。

## (6) 地域のボランティア活動に支援者として参加する意思

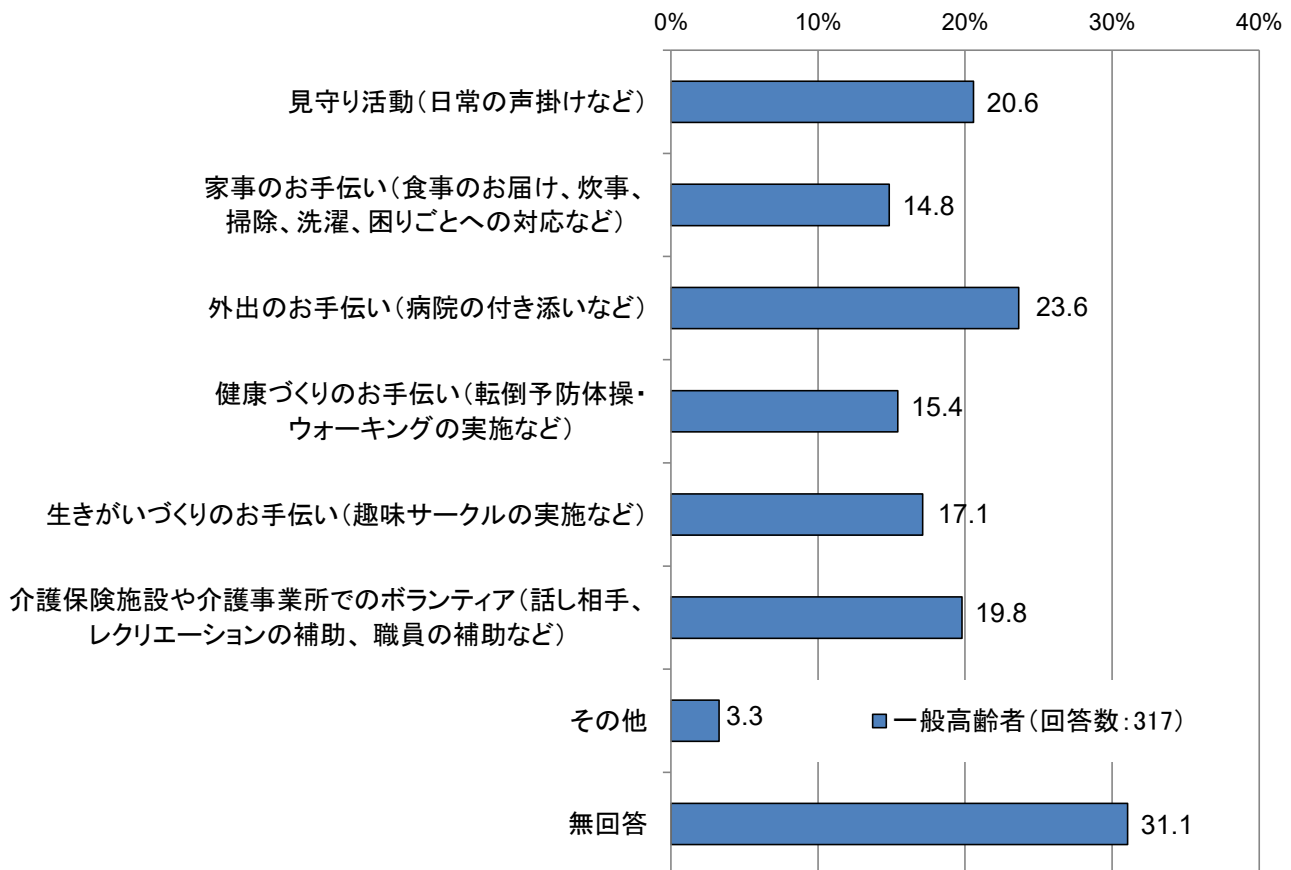
[設問] 支援を必要とする高齢者を支える地域のボランティア活動があれば、あなたはその活動に支援者として参加してみたいと思いますか。



○「参加したくない」が53.8%で最も多く、次いで「参加してもよい」が29.3%、「既に参加している」が1.3%などとなっている。

## (7) 支援者として参加したい地域のボランティア活動

[設問] (ボランティア活動に「是非参加したい」、「参加してもよい」、「既に参加している」方のみ)  
 支援を必要とする高齢者を支える地域のボランティア活動では、支援者としてどの活動に参加したいですか。また、どの活動に参加していますか。(〇はいくつでも)



○無回答を除き、「外出のお手伝い(病院の付き添いなど)」が 23.6%で最も多く、次いで「見守り活動(日常の声掛けなど)」が 20.6%、「介護保険施設や介護事業所でのボランティア(話し相手、レクリエーションの補助、職員の補助など)」が 19.8%、「生きがいづくりのお手伝い(趣味サークルの実施など)」が 17.1%などとなっている。

## 6 「たすけあい」について(問F)

### (1) 「たすけあい」の状況

【設問】あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします。以下に挙げる人についてあてはまる欄に○印をつけてください。(それぞれ○はいくつでも) 「その他」の場合は欄に具体的にご記入ください。

#### 【一般高齢者】

上段: 回答数 下段: 割合 (%)	全体	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	戚・親・孫 兄弟姉妹・親	近隣(同じ地域の人)	友人	その他	はいない そのような人	無回答
(1) 心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人	1,011 100.0	522 51.6	155 15.3	306 30.3	218 21.6	92 9.1	356 35.2	22 2.2	60 5.9	60 5.9
(2) 反対に、心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人	1,011 100.0	452 44.7	114 11.3	244 24.1	206 20.4	94 9.3	352 34.8	18 1.8	93 9.2	102 10.1
(3) 病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人	1,011 100.0	582 57.6	196 19.4	243 24.0	71 7.0	21 2.1	34 3.4	13 1.3	101 10.0	70 6.9
(4) 反対に、看病や世話をしてくれる人	1,011 100.0	551 54.5	147 14.5	188 18.6	122 12.1	41 4.1	61 6.0	16 1.6	170 16.8	105 10.4

○いずれの項も「配偶者」が最も多くなっている。次いで「(1) 心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人」「(2) 反対に、心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人」では、「友人」が、「(3) 病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人」「(4) 反対に、看病や世話をしてくれる人」では「別居の子ども」が多くなっている。

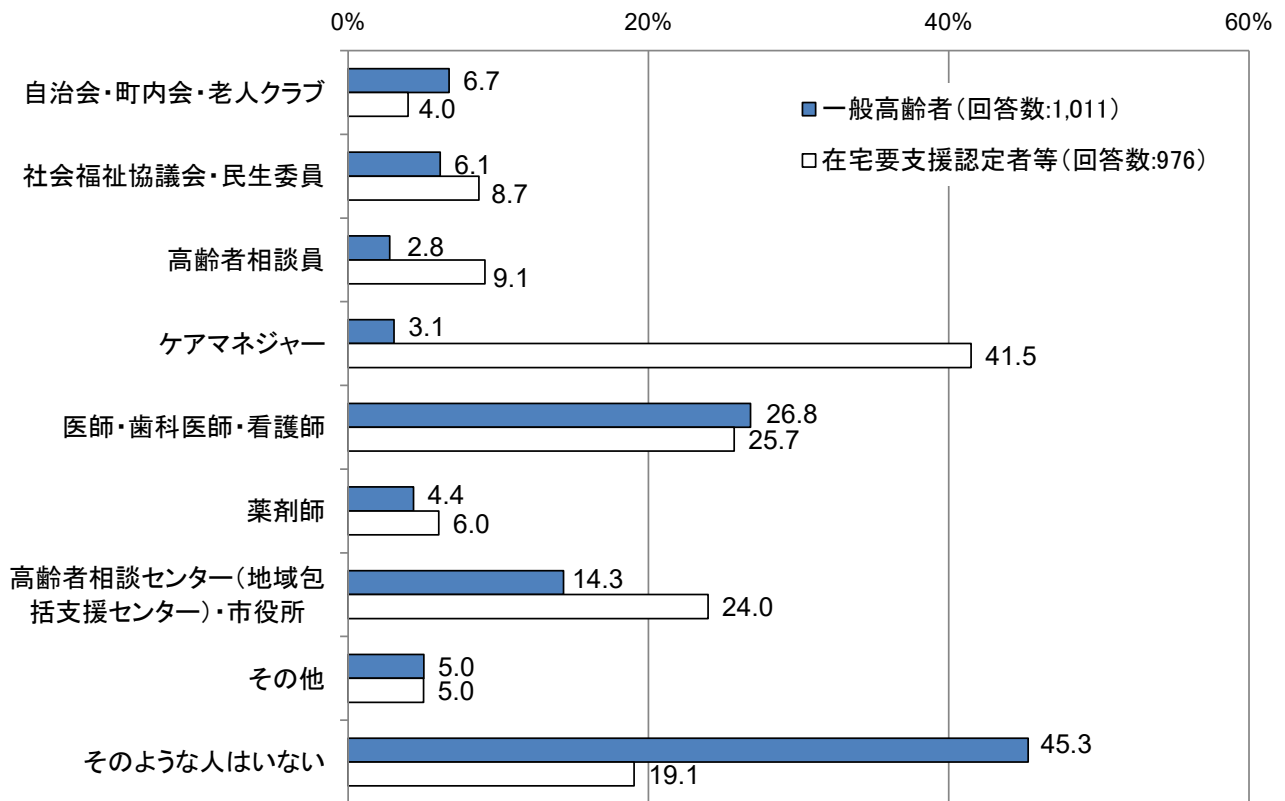
#### 【在宅要支援認定者等】

上段: 回答数 下段: 割合 (%)	全体	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	戚・親・孫 兄弟姉妹・親	近隣(同じ地域の人)	友人	その他	はいない そのような人	無回答
(1) 心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人	976 100.0	277 28.4	167 17.1	325 33.3	165 16.9	99 10.1	280 28.7	26 2.7	64 6.6	92 9.4
(2) 反対に、心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人	976 100.0	209 21.4	107 11.0	190 19.5	141 14.4	111 11.4	270 27.7	16 1.6	139 14.2	170 17.4
(3) 病気で数日間寝込んだとき看病や病気の世話をしてくれる人	976 100.0	291 29.8	201 20.6	305 31.3	50 5.1	19 1.9	36 3.7	31 3.2	119 12.2	113 11.6
(4) 反対に看病や世話をしてくれる人	976 100.0	268 27.5	97 9.9	75 7.7	44 4.5	25 2.6	29 3.0	41 4.2	312 32.0	208 21.3

○「(1) 心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人」「(3) 病気で数日間寝込んだとき看病や病気の世話をしてくれる人」では「別居の子ども」、「(2) 反対に、心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人」では「友人」、「(4) 反対に看病や世話をしてくれる人」では「そのような人はいない」が最も多くなっている。次いで「(2) 反対に、心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人」「(3) 病気で数日間寝込んだとき看病や病気の世話をしてくれる人」「(4) 反対に看病や世話をしてくれる人」では「配偶者」、「(1) 心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人」では「友人」が多くなっている。

## (2) 相談相手について

[設問] 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。(○はいくつでも)



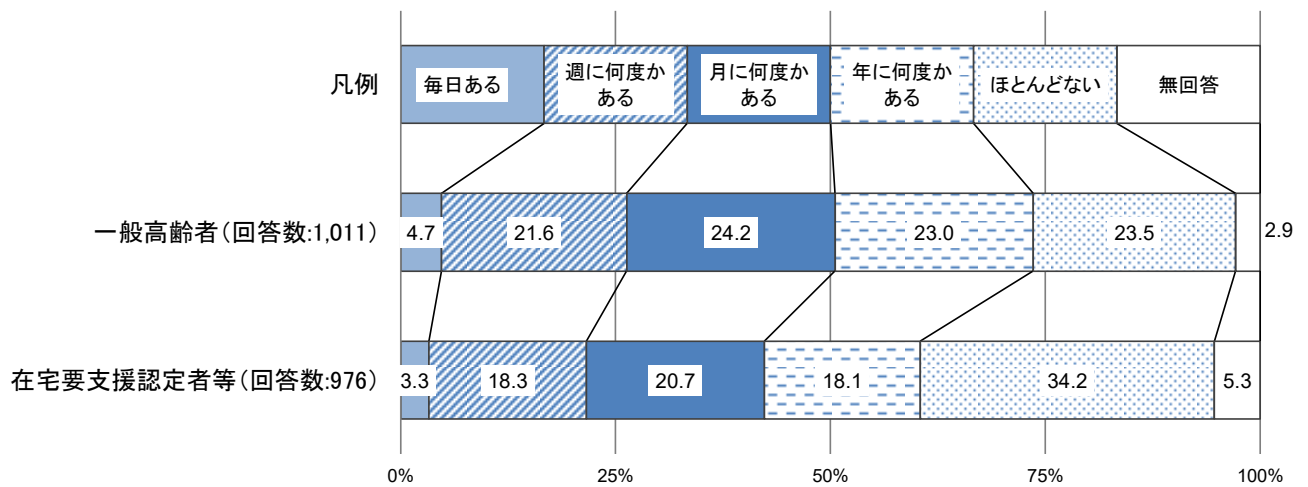
○一般高齢者では「そのような人はいない」が 45.3%、次いで、「医師・歯科医師・看護師」が 26.8%、「高齢者相談センター(地域包括支援センター)・市役所」が 14.3%などとなっている。在宅要支援認定者等では「ケアマネジャー」が 41.5%で最も多く、次いで、「医師・歯科医師・看護師」が 25.7%、「高齢者相談センター(地域包括支援センター)・市役所」が 24.0%などとなっている。



### (3) 友人関係について

#### 【1 会う頻度】

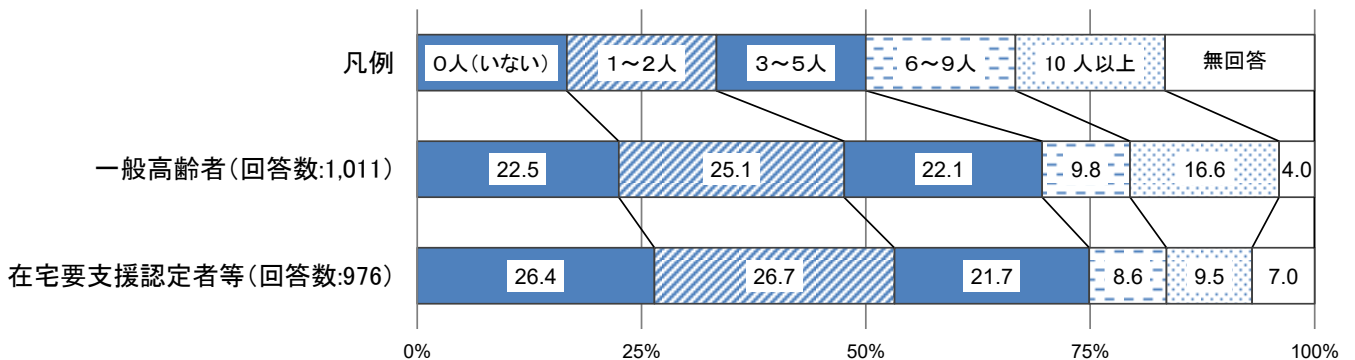
[設問] 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。



○一般高齢者では「月に何度かある」が24.2%で最も多く、次いで「ほとんどない」が23.5%、「年に何度かある」が23.0%などとなっている。在宅要支援認定者等では「ほとんどない」が34.2%で最も多く、次いで「月に何度かある」が20.7%、「週に何度かある」が18.3%、「年に何度かある」が18.1%などとなっている。

#### 【2 この1か月間に会った人数】

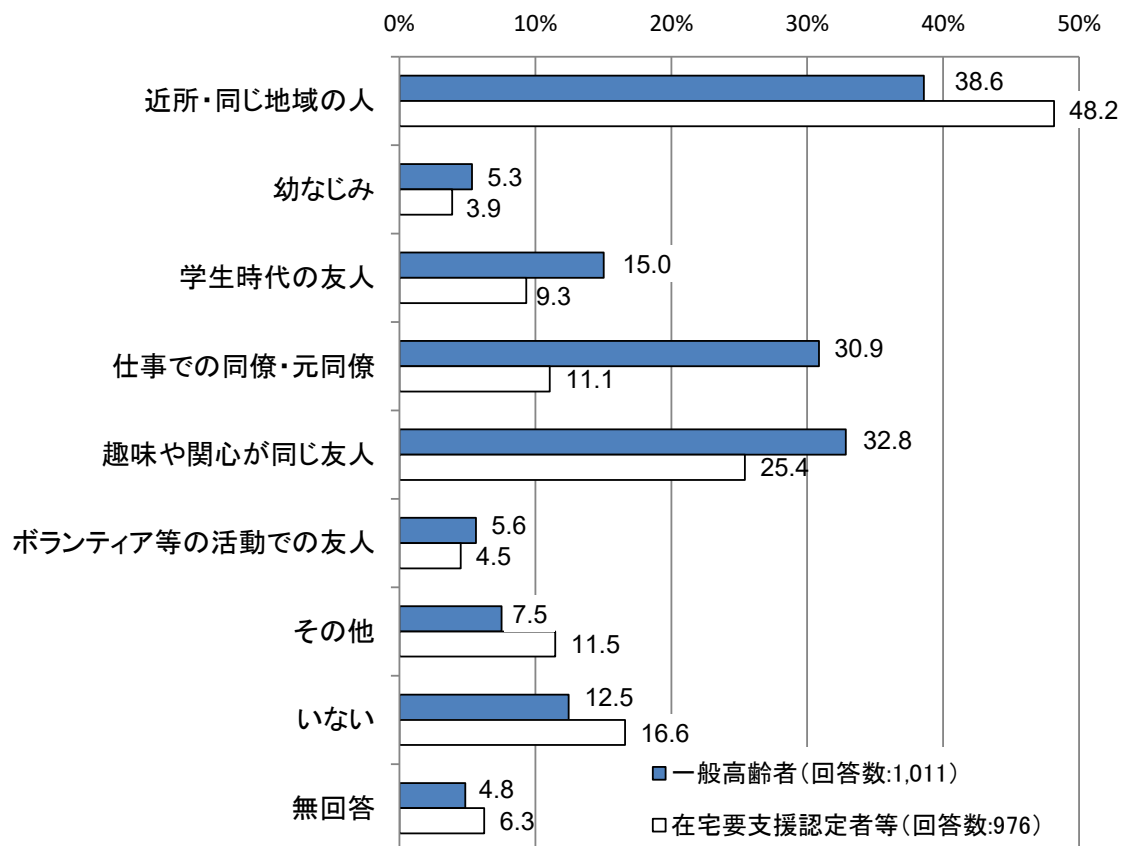
[設問] この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。



○一般高齢者、在宅要支援認定者等ともに「1~2人」がそれぞれ25.1%、26.7%で最も多く、次いで「0人(いない)」が22.5%、26.4%、「3~5人」が22.1%、21.7%などとなっている。一般高齢者では「10人以上」が16.6%と在宅要支援認定者等の9.5%を7.1ポイント上回っている。

### 【3 よく会う友人・知人】

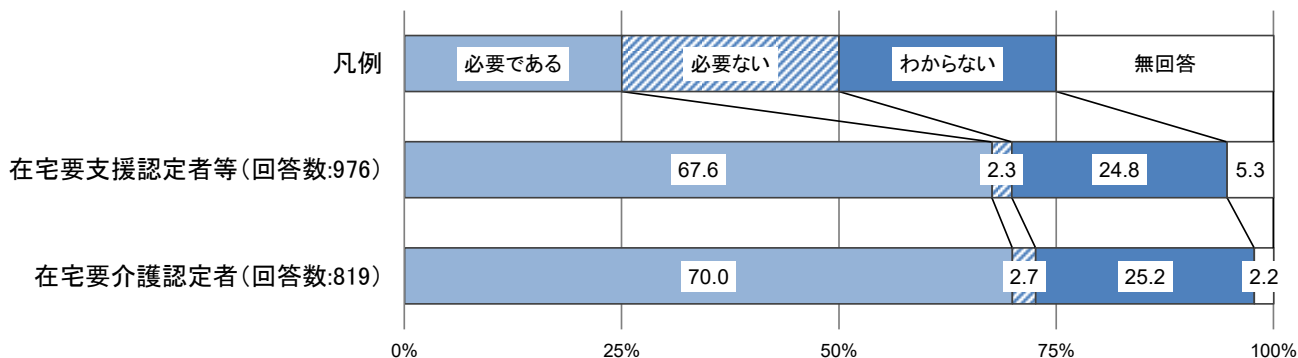
[設問]よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(〇はいくつでも)



○一般高齢者、在宅要支援認定者等ともには「近所・同じ地域の人」がそれぞれ 38.6%、48.2%で最も多く、次いで「趣味や関心が同じ友人」が 32.8%、25.4%などとなっている。一般高齢者では「仕事での同僚・元同僚」が 30.9%と在宅要支援認定者等の 11.1%を 19.8 ポイント上回っている。

#### (4) 隣近所や地域で高齢者を支えることの必要性〔地域交流・ボランティアについて(在宅要支援認定者等では問 H、在宅要介護認定者調査では問 B)〕

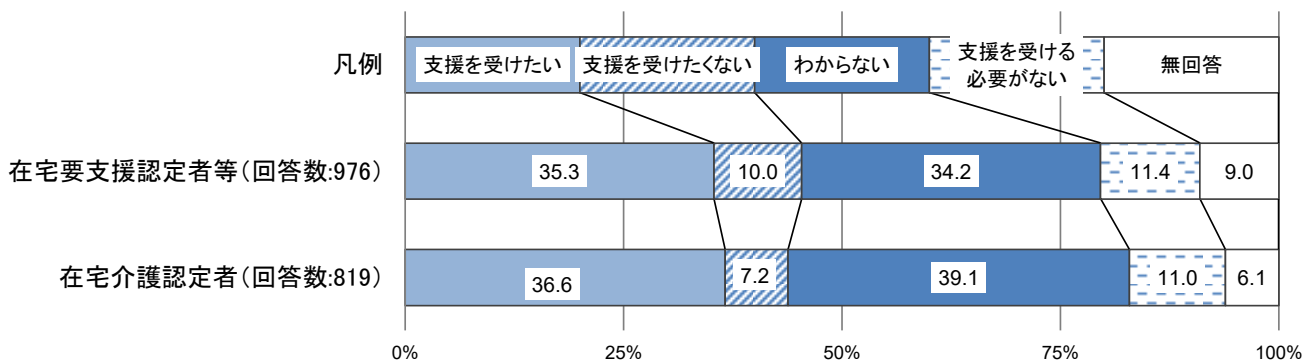
〔設問〕独居世帯や高齢者世帯が近年増えていますが、隣近所や地域で高齢者を支えることが必要だと思いますか。



○「必要である」が在宅要支援認定者等で 67.6%、在宅要介護認定者で 70.0%となっている。

#### (5) 地域のボランティア活動による支援を受ける意思〔地域交流・ボランティアについて(在宅要支援認定者等では問 H、在宅要介護認定者調査では問 B)〕

〔設問〕高齢者を支える地域のボランティア活動があれば、支援を受けてみたいと思いますか。

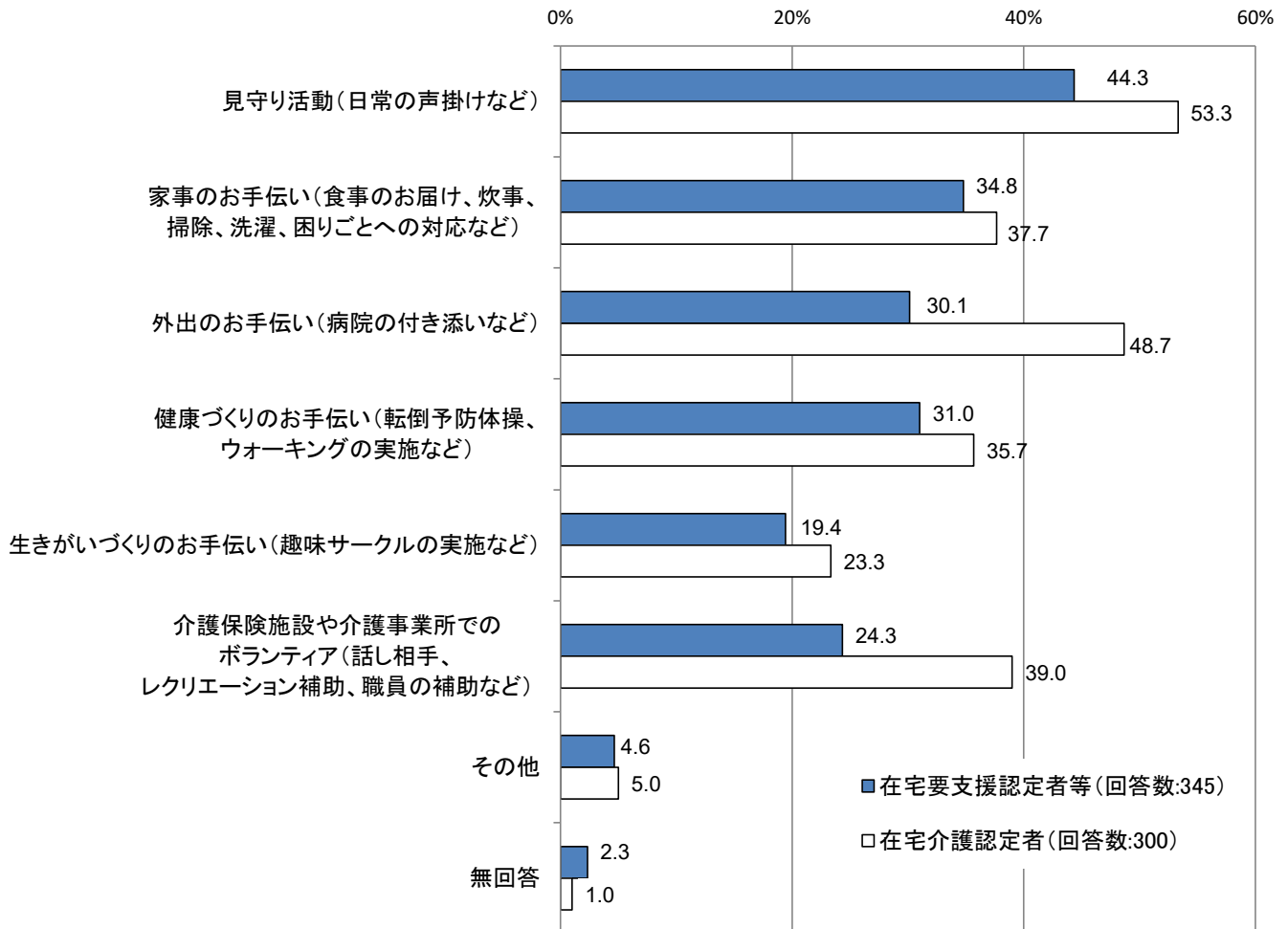


○在宅要支援認定者等では「支援を受けたい」が 35.3%、在宅要介護認定者では「わからない」が 39.1%でそれぞれ最も多くなっている。次いで在宅要支援認定者等では「わからない」が 34.2%、在宅要介護認定者では「支援を受けたい」が 36.6%となっている。

## (6) 利用したい支援〔地域交流・ボランティアについて〕

(在宅要支援認定者等調査では問H、在宅要介護認定者調査では問B)

〔設問〕 高齢者を支える地域のボランティア活動で、どの支援を利用したいですか。(〇はいくつでも)

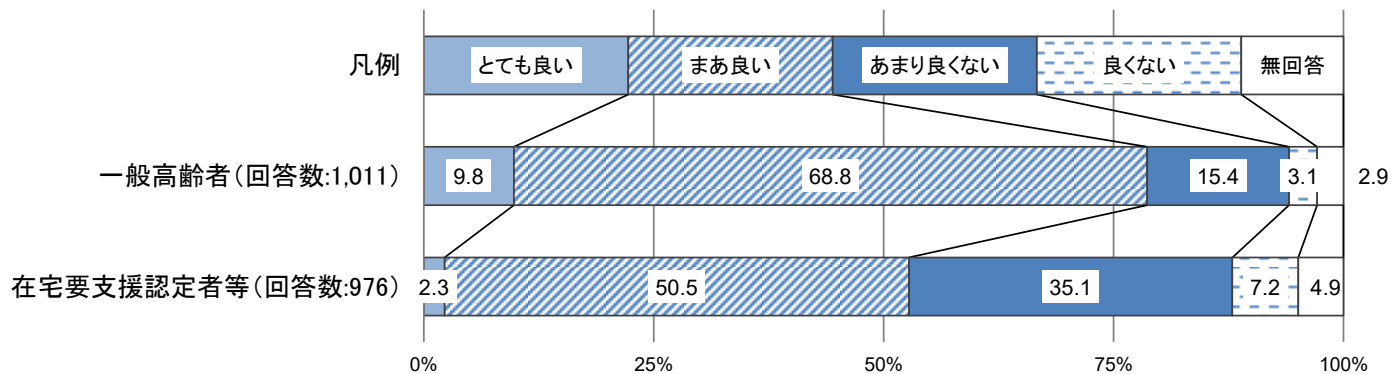


○在宅要支援認定者等では「見守り活動(日常の声掛けなど)」が44.3%で最も多く、次いで「家事のお手伝い(食事のお届け、炊事、掃除、洗濯、困りごとへの対応など)」が34.8%、「健康づくりのお手伝い(転倒予防体操、ウォーキングの実施など)」が31.0%などとなっている。在宅要介護認定者では「見守り活動(日常の声掛けなど)」が53.3%で最も多く、次いで「外出のお手伝い(病院の付き添いなど)」が48.7%、「介護保険施設や介護事業所でのボランティア(話し相手、レクリエーション補助、職員の補助など)」が39.0%などとなっている。

## 7 健康について(問G)

### (1) 健康状態

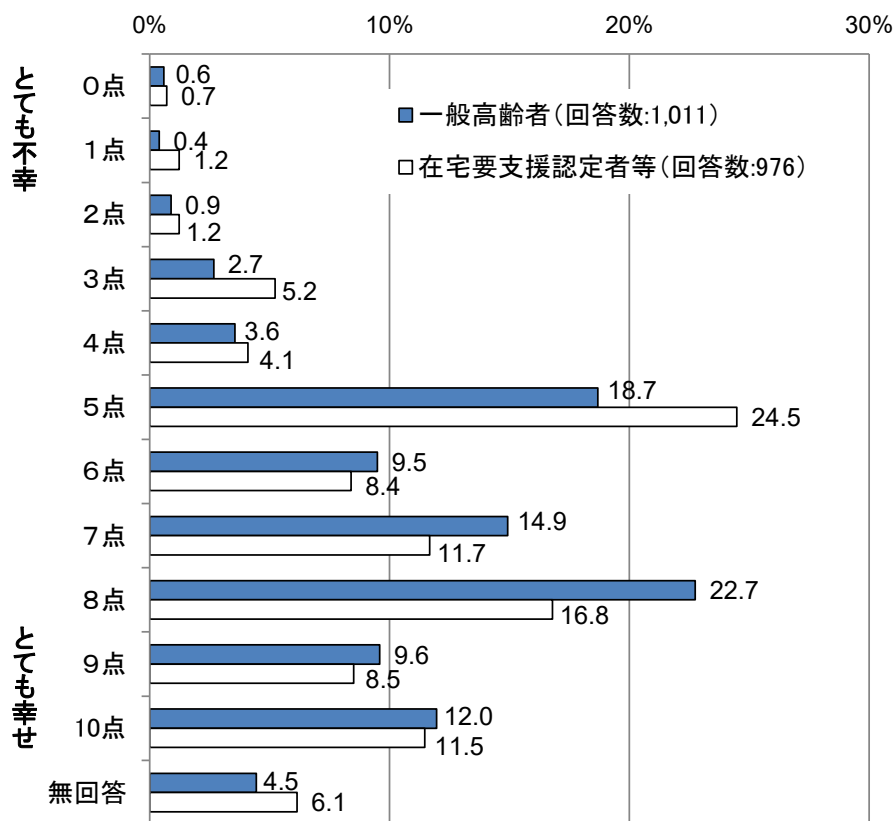
[設問] 現在のあなたの健康状態はいかがですか。



○「とても良い」「まあ良い」を合わせると、一般高齢者では78.6%、在宅要支援認定者等では52.8%と25.8ポイントの差がある。

### (2) 現在の幸福度

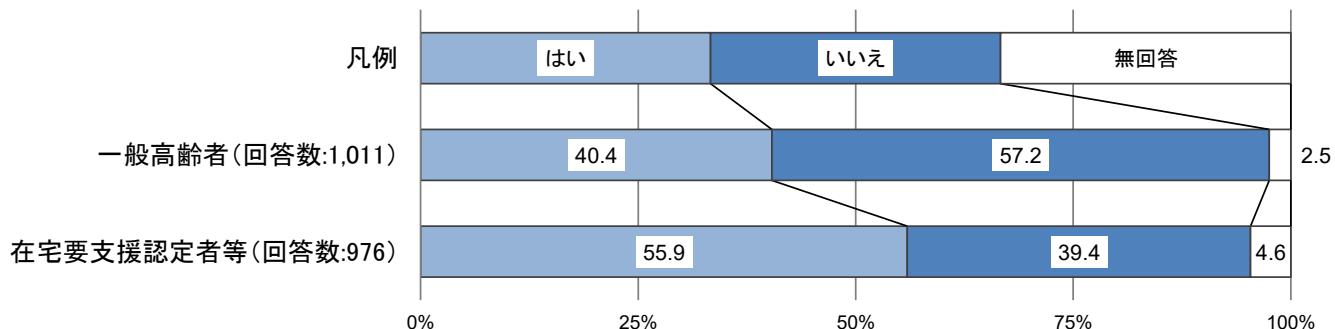
[設問] あなたは、現在どの程度幸せですか。「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、あてはまる点数を「○」で囲んでください。



○一般高齢者では「8点」が22.7%、在宅要支援認定者等では「5点」が24.5%でそれぞれ最も多くなっている。加重平均値は、一般高齢者が6.99点、在宅要支援認定者等は6.56点となっている。  
※加重平均: 値を単純に平均するのではなく、値の重みを加味して平均すること。

### (3) 最近のうつ傾向の有無

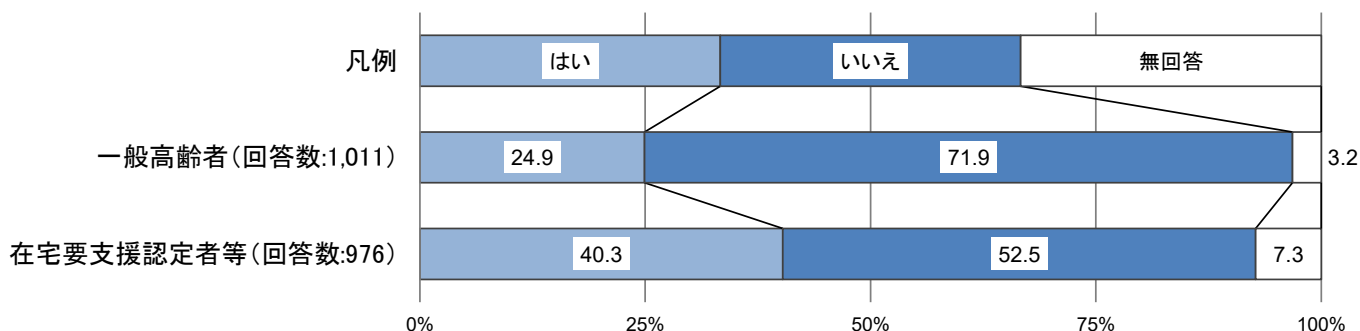
[設問] この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。



○「はい」が、一般高齢者では40.4%であるのに対して、在宅要支援認定者等では55.9%と、15.5ポイントの差がみられる。

### (4) 最近の心の疲れの有無

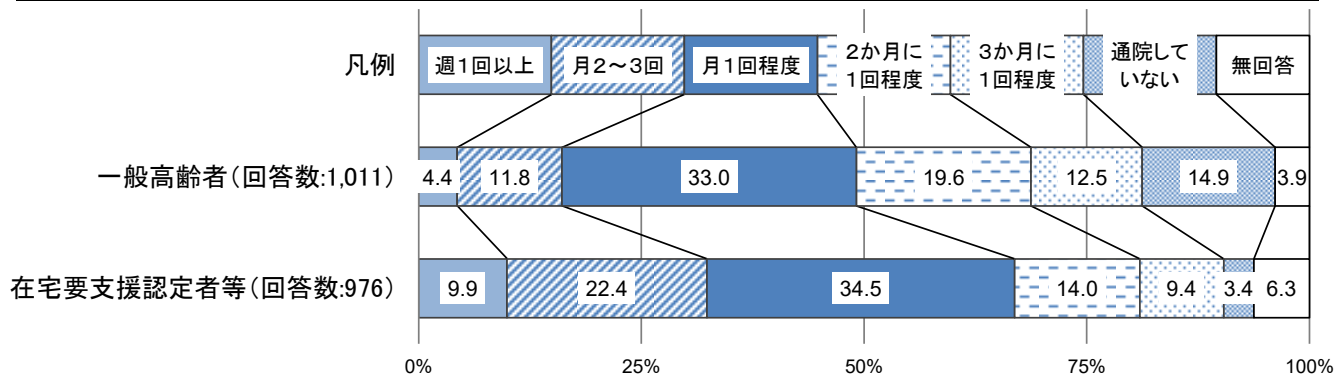
[設問] この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。



○「はい」が、一般高齢者では24.9%であるのに対して、在宅要支援認定者等では40.3%と、15.4ポイントの差がみられる。

### (5) 通院の状況・頻度

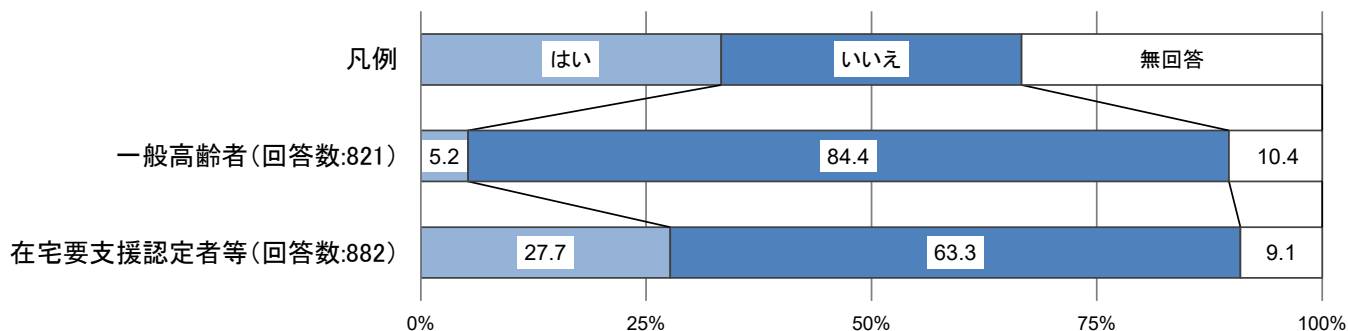
[設問] 現在、病院・医院（診療所、クリニック）に通院していますか。また、その頻度はどれくらいですか。



○一般高齢者、在宅要支援認定者等とも「月に1回程度」が最も多く、それぞれ 33.0%、34.5%、次いで一般高齢者では「2か月に1回程度」が 19.6%、「通院していない」が 14.9%、在宅要支援認定者等では「月2~3回」が 22.4%、「2か月に1回程度」が 14.0%などとなっている。

## (6) 通院時の介助の必要性

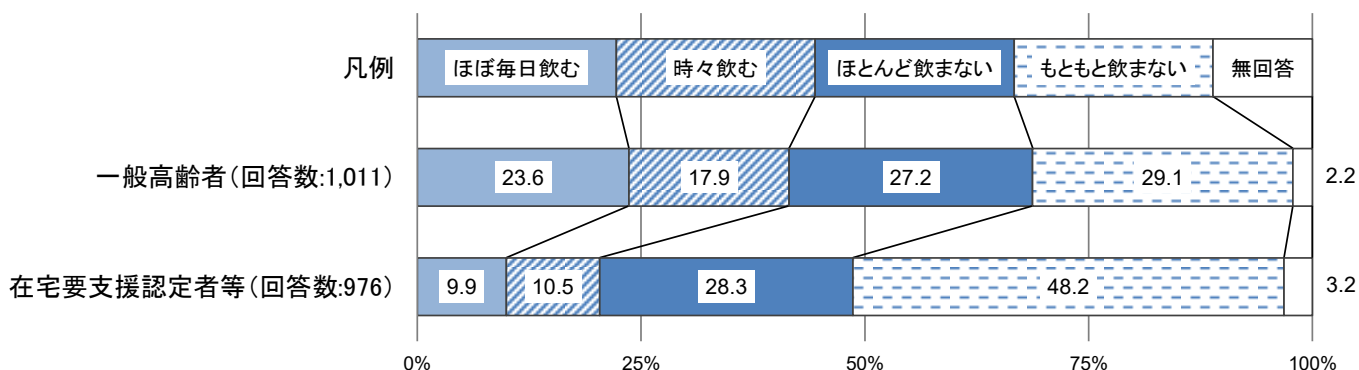
[設問] (現在、通院している方のみ) 通院に介助が必要ですか。



○「はい」が一般高齢者では5.2%であるのに対して、在宅要支援認定者等では27.7%と、22.5ポイントの差がみられる。

## (7) 飲酒

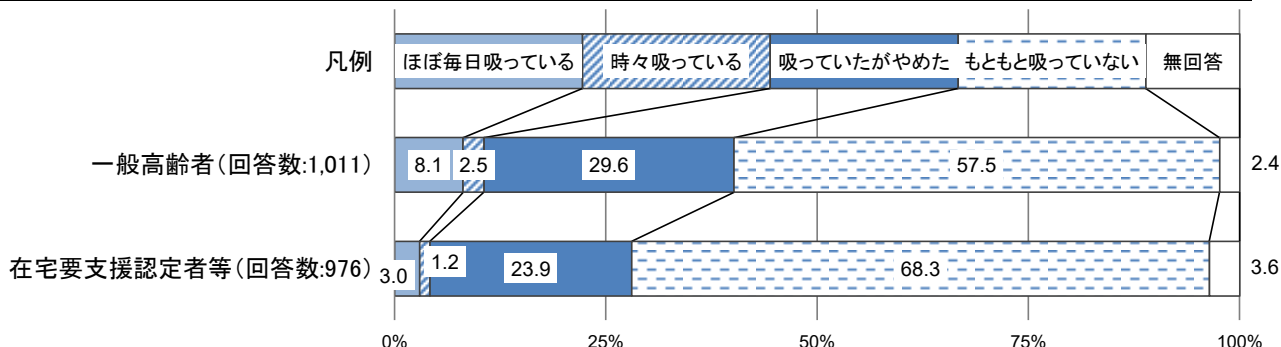
[設問] お酒は飲みますか。



○一般高齢者では「もともと飲まない」が29.1%で最も多く、次いで「ほとんど飲まない」が27.2%、「ほぼ毎日飲む」が23.6%、在宅要支援認定者等では「もともと飲まない」が48.2%で最も多く、次いで「ほとんど飲まない」が28.3%、「時々飲む」が10.5%などとなっている。

## (8) 喫煙

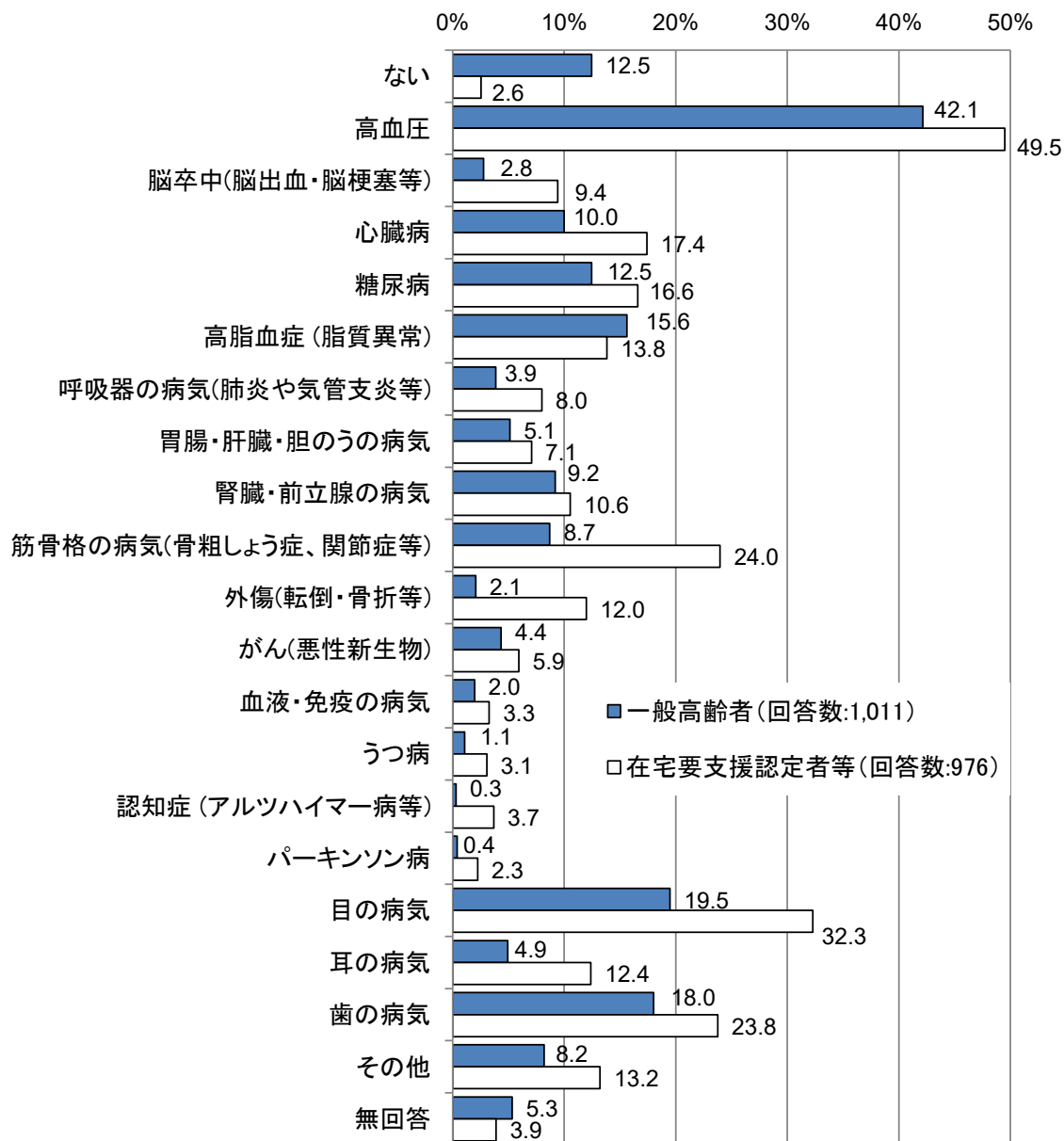
[設問] タバコは吸っていますか。



○一般高齢者、在宅要支援認定者等とも、「もともと吸っていない」が最も多く、それぞれ57.5%、68.3%、次いで「吸っていたがやめた」がそれぞれ29.6%、23.9%などとなっている。

## (9) 治療中や後遺症のある病気

[設問] 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(〇はいくつでも)



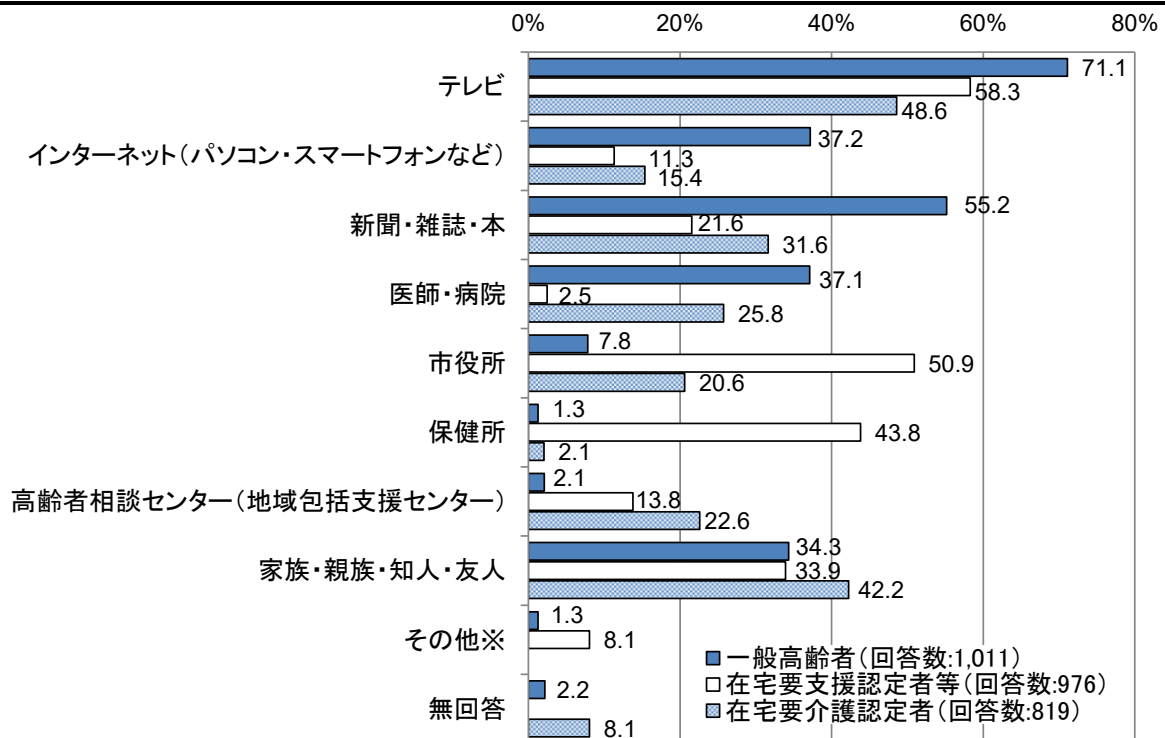
○一般高齢者、在宅要支援認定者等とも、「高血圧」が最も多く、それぞれ 42.1%、49.5%、次いでともに「目の病気」がそれぞれ 19.5%、32.3%、第3位は、一般高齢者では「歯の病気」が 18.0%、在宅要支援認定者等では「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」が 24.0%などとなっている。とくに「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」、「外傷(転倒・骨折等)」、「耳の病気」では、一般高齢者と在宅要支援認定者等の差が大きくなっている。



## (10) 在宅医療・介護についての知識・情報の入手元

(在宅要支援認定者等調査では問 L、在宅要介護認定者調査では問 F)

[設問] 日頃、在宅での医療や介護についての知識や情報を、何から得ていますか。(〇はいくつでも)



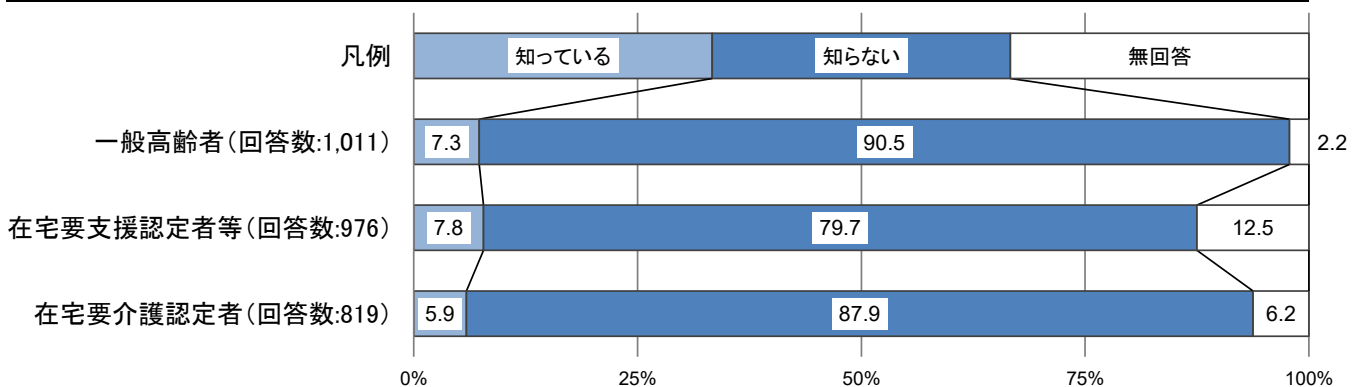
※在宅要支援認定者等、在宅要介護認定者については、選択肢に「その他」はなし

○一般高齢者、在宅要支援認定者等、在宅要介護認定者で共通して「テレビ」が最も多く、それぞれ 71.1%、58.3%、48.6%となっている。次いで多いのは、一般高齢者では「新聞・雑誌・本」が 55.2%、在宅要支援認定者等では「市役所」が 50.9%、在宅要介護認定者では「家族・親族・知人・友人」が 42.2%となっている。

## (11) 人生会議または ACP という言葉の認知度

(在宅要支援認定者等調査では問 L、在宅要介護認定者調査では問 F)

[設問] 人生会議またはアドバンス・ケア・プランニング(ACP)※という言葉を知っていますか。



○一般高齢者、在宅要支援認定者等、在宅要介護認定者いずれも「知らない」が多く、それぞれ 90.5%、79.7%、87.9%となっている。

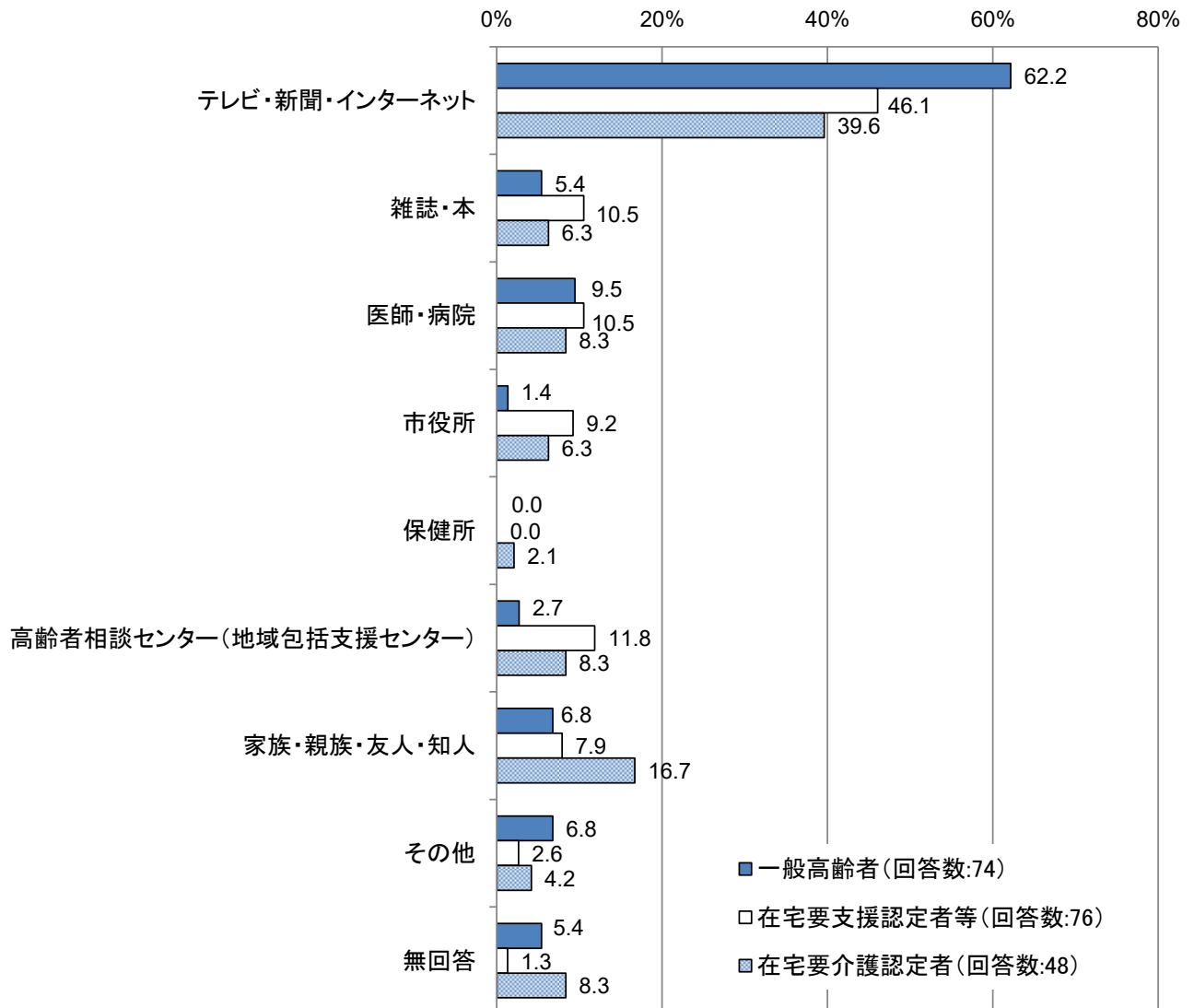
※もしものときのために、あなたが望む医療やケアについて前もって考え、家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有する取組のこと

## (12) 人生会議または ACP という言葉をどこで知ったか

(在宅要支援認定者等調査では問 1、在宅要介護認定者調査では問 F)

[設問] (ACPを「知っている」方のみ)

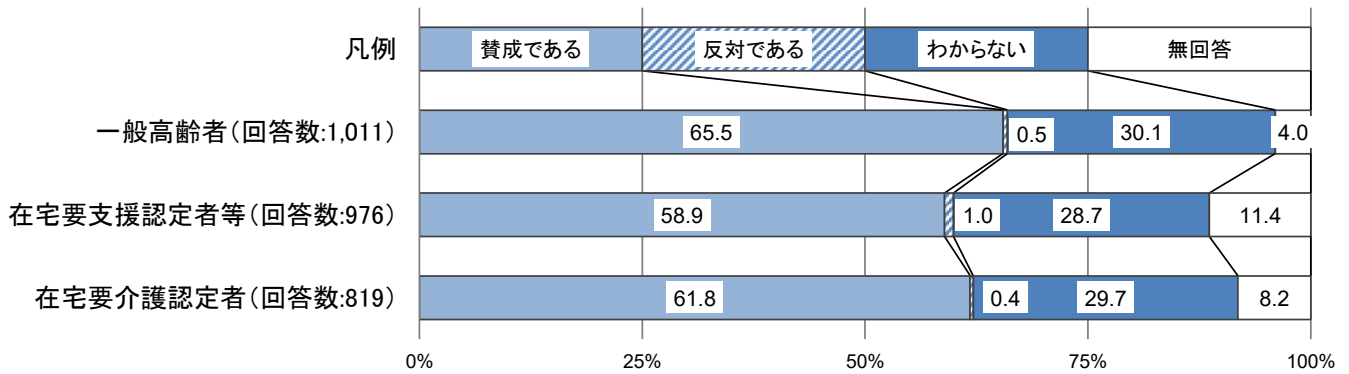
ACPという言葉はどこで知りましたか。



○一般高齢者、在宅要支援認定者等、在宅要介護認定者いずれも「テレビ・新聞・インターネット」が最も多く、それぞれ 62.2%、46.1%、39.6%、次いで一般高齢者では「医師・病院」が 9.5%、在宅要支援認定者等では「高齢者相談センター(地域包括支援センター)」が 11.8%、在宅要介護認定者では「家族・親族・友人・知人」が 16.7% となっている。

(13) 人生の最終段階の医療・療養について家族や医療・ケアチームと話し合うこと(在宅要支援認定者等調査では問 L、在宅要介護認定者調査では問 F)

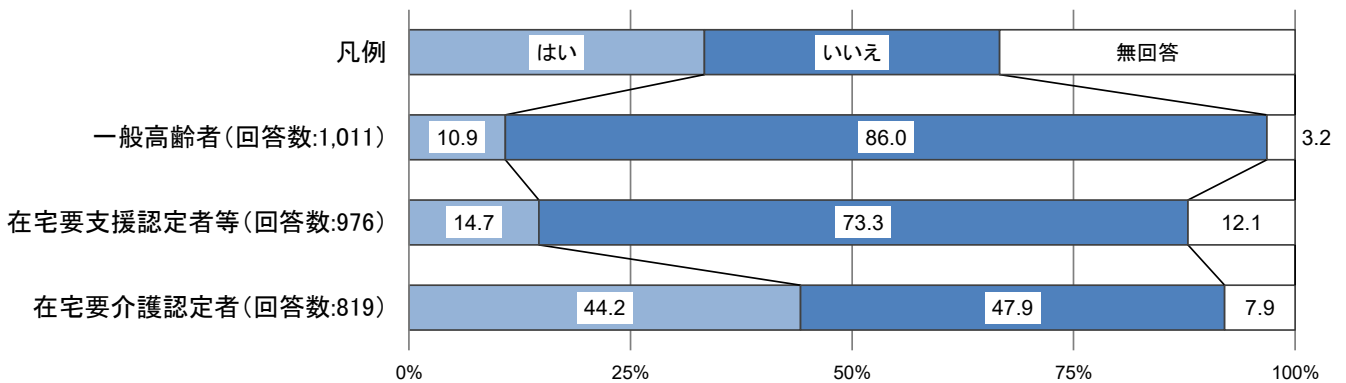
[設問] 人生の最終段階の医療・療養について、あなたの意思に沿った医療・療養を受けるためには、家族等や医療・ケアチームとあらかじめ話し合い、また繰り返し話し合うことが重要と言われています。このような話し合いを進めることについて、あなたはどのように思いますか。



○一般高齢者、在宅要支援認定者等、在宅要介護認定者いずれも「賛成である」がそれぞれ 65.5%、58.9%、61.8%で最も多くなっている。

(14) 自身、又は家族の認知症の症状の有無  
(在宅要支援認定者等では問 L、在宅要介護認定者では問 F)

[設問] 認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいますか。

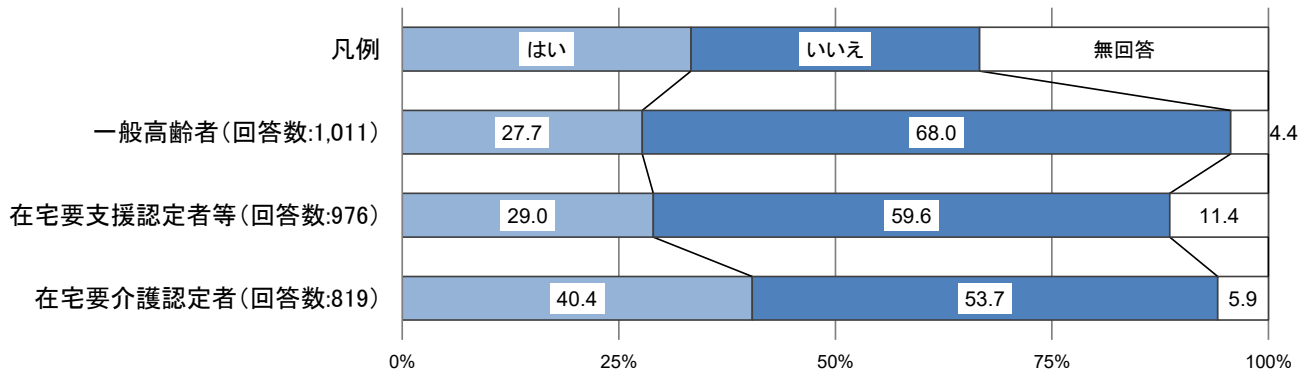


○「はい」が一般高齢者では 10.9%、在宅要支援認定者等では 14.7%であるのに対し、在宅要介護認定者では 44.2%と、大きな差がみられる。

## (15) 認知症に関する相談窓口の認知度

(在宅要支援認定者等では問L、在宅要介護認定者では問F)

[設問] 認知症に関する相談窓口を知っていますか。



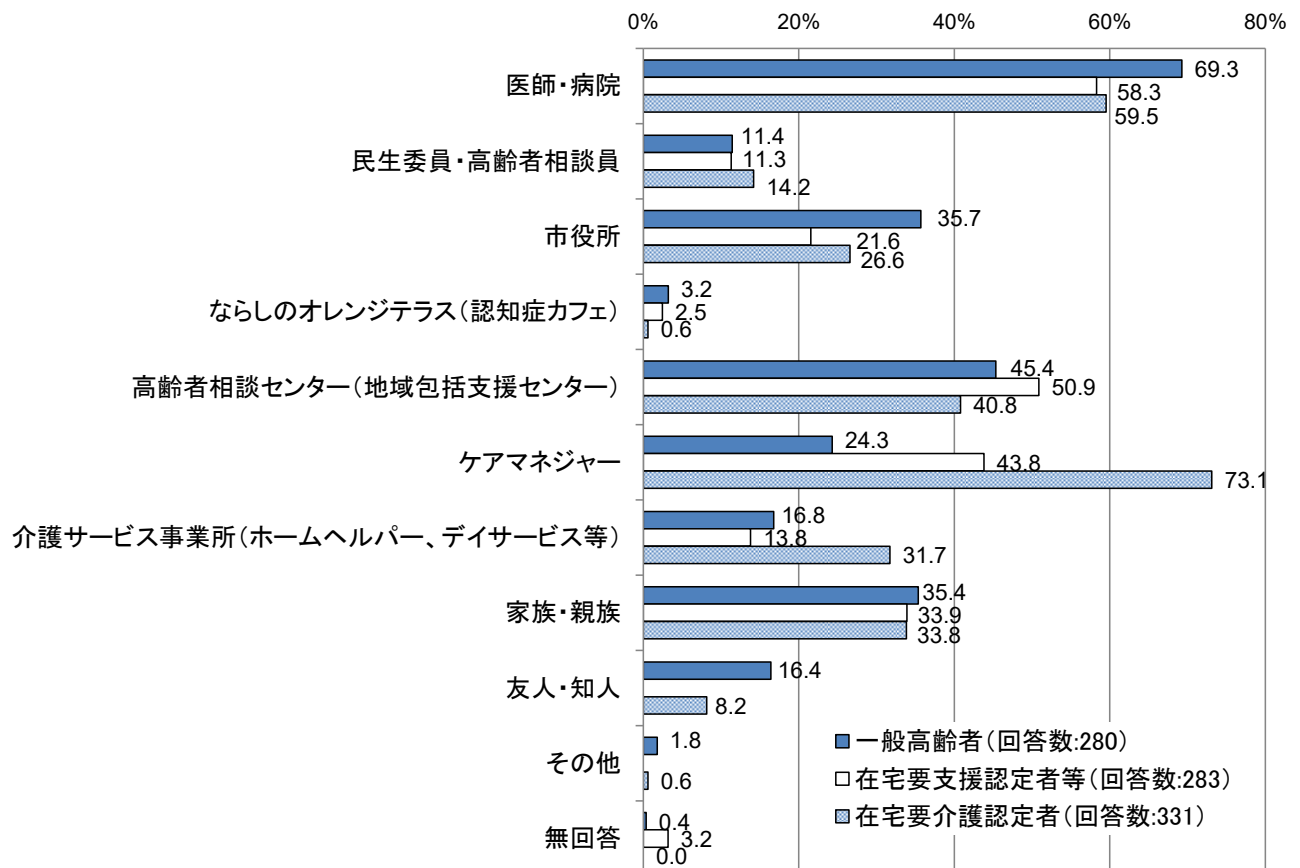
○「はい」が一般高齢者では 27.7%、在宅要支援認定者等では 29.0%に対し、在宅要介護認定者では 40.4%と差がみられる。

## (16) 認知症に関する相談窓口

(在宅要支援認定者等では問L、在宅要介護認定者では問F)

[設問] (相談窓口を知っているかについて「はい」の方のみ)

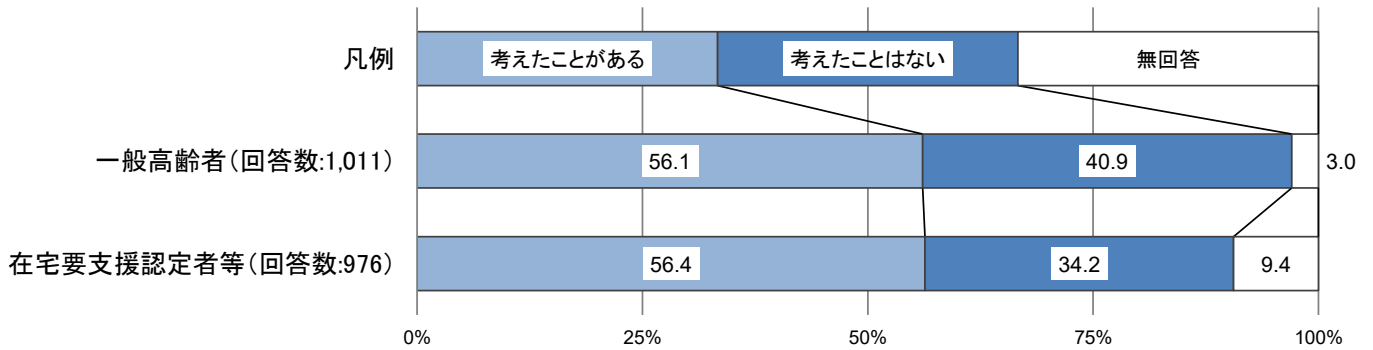
どこに相談すると思いますか、または相談しましたか。(○はいくつでも)



○一般高齢者、在宅要支援認定者等ともに「医師・病院」がそれぞれ 69.3%、58.3%、在宅要介護認定者では「ケアマネジャー」が 73.1%と最も多く、次いで一般高齢者、在宅要支援認定者等では「高齢者相談センター(地域包括支援センター)」がそれぞれ 45.4%、50.9%、在宅要介護認定者では「医師・病院」が 59.5%となっている。

(17) 自身、又は家族が認知症になった場合のことを考えたことの有無  
(在宅要支援認定者等では問L)

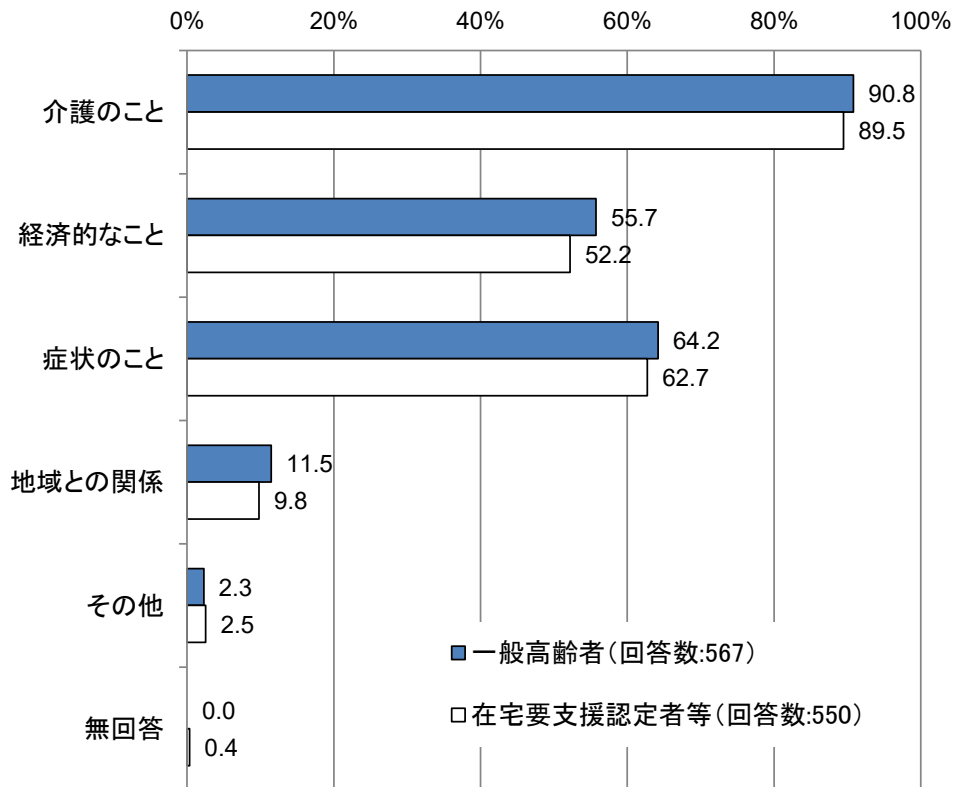
[設問] 今までに、自分自身や家族が認知症になったときどうしたらいいのか、考えたことがありますか。



○一般高齢者、在宅要支援認定者等とも「考えたことがある」が多く、それぞれ 56.1%、56.4%、「考えたことはない」がそれぞれ 40.9%、34.2%となっている。「考えたことがある」割合は、一般高齢者と在宅要支援認定者等でほとんど差異はみられない。

(18) 認知症について考えた内容(在宅要支援認定者等では問L)

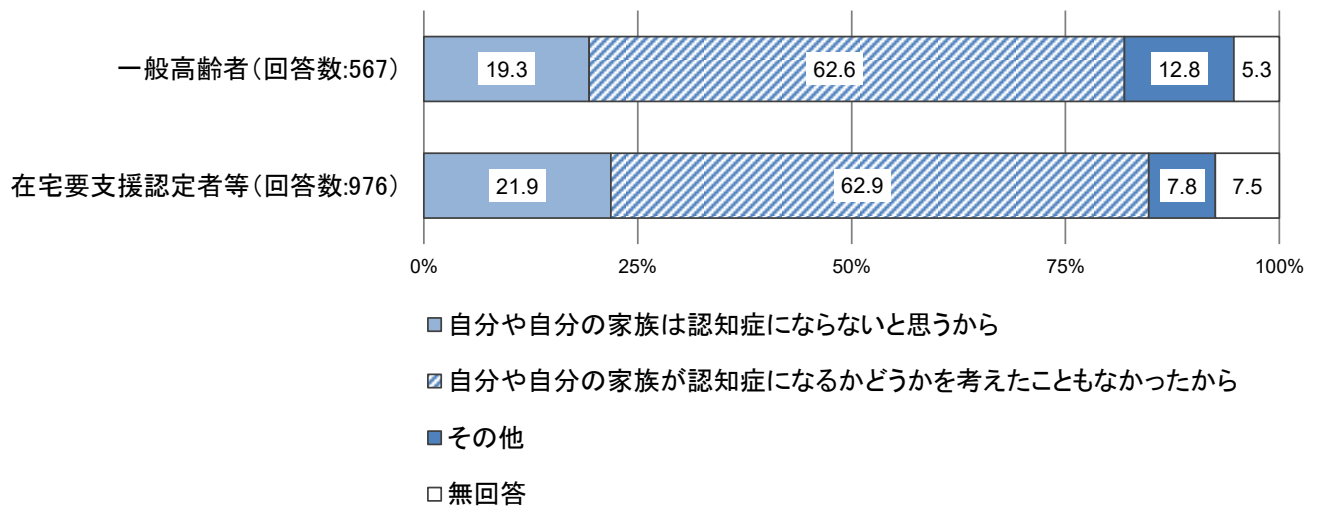
[設問] (自分自身や家族が認知症になった場合のことを「考えたことがある」方のみ)  
どのようなことを考えましたか。(○はいくつでも)



○一般高齢者、在宅要支援認定者等とも、「介護のこと」が順に 90.8%、89.5%と最も多く、次いで「症状のこと」が 64.2%、62.7%、「経済的なこと」が 55.7%、52.2%で、両者にほとんど差異はみられない。

## (19) 認知症について考えたことがなかった理由（在宅要支援認定者等では問L）

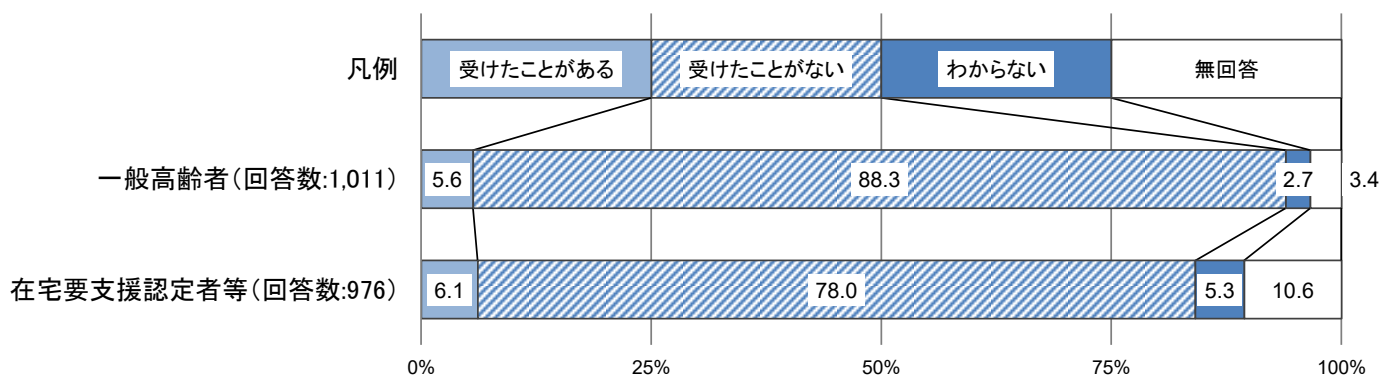
[設問]（自分自身や家族が認知症になった場合のことを「考えたことがない」方のみ）  
 考えたことがなかった理由は何だと思えますか。



○一般高齢者、在宅要支援認定者等ともほとんど差異がなく、「自分や自分の家族は認知症にならないと思うから」がそれぞれ 19.3%、21.9%、「自分や自分の家族が認知症になるかどうかを考えたこともなかったから」は 62.6%、62.9%となっている。

## (20) 認知症サポーター養成講座受講の有無（在宅要支援認定者等では問L）

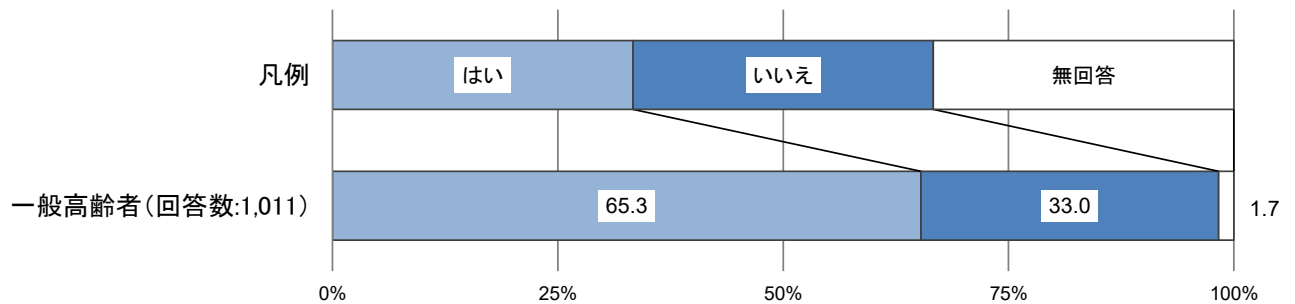
[設問] 認知症サポーター養成講座を受けたことがありますか。



○いずれも「受けたことがない」が大半を占め、一般高齢者の 88.3%、在宅要支援認定者等の 78.0%が「受けたことがない」と回答している。

## (21) 1年以内の健康診査受診の有無

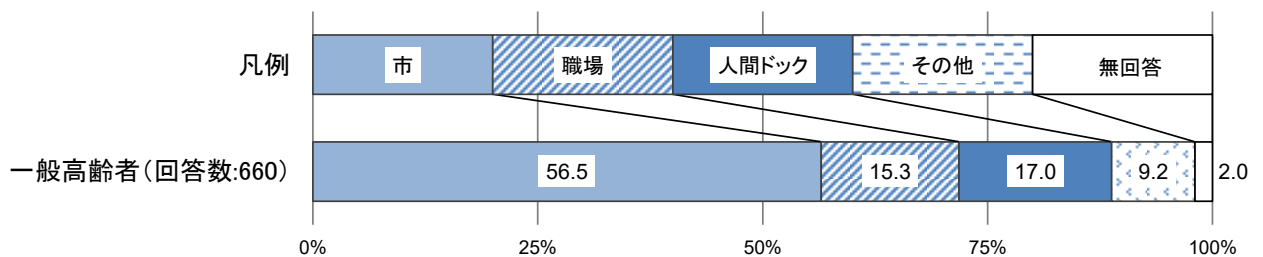
[設問] あなたは、1年以内に健康診査(特定健康診査・後期高齢者健康診査・人間ドック・職場の健診等)を受けましたか。



○65.3%が「はい」、33.0%が「いいえ」と回答している。

## (22) 健康診査を受けた場所・機関

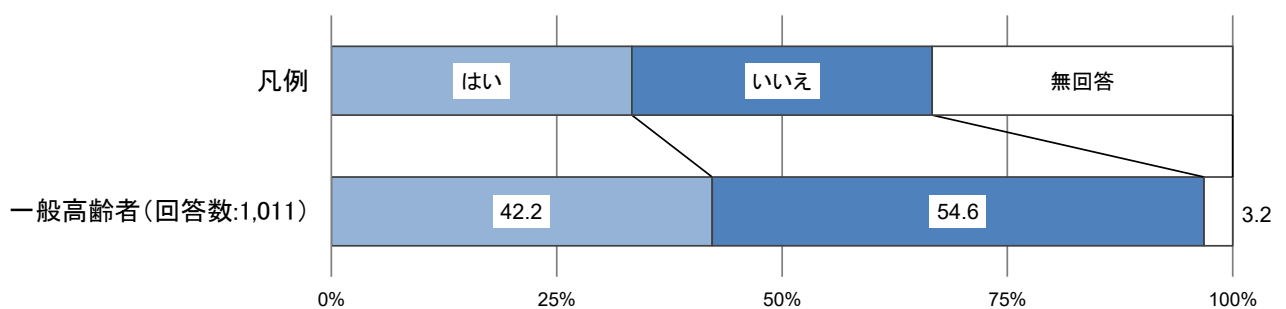
[設問] どちらで健康診査を受けましたか。



○「市」が56.5%で最も多く、次いで「人間ドック」が17.0%、「職場」が15.3%などとなっている。

## (23) 1年以内のがん検診受診の有無

[設問] あなたは、1年以内のがん検診を受けましたか。

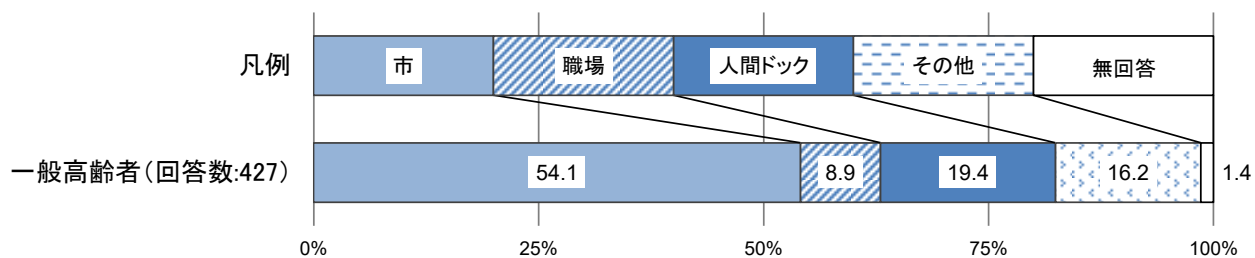


○42.2%が「はい」、54.6%が「いいえ」と回答している。

## (24) がん検診を受けた場所・機関

[設問] (がん検診を受けた方のみ)

どちらでがん検診を受けましたか。



○「市」が54.1%で最も多く、次いで「人間ドック」が19.4%、「その他」が16.2%などとなっている。

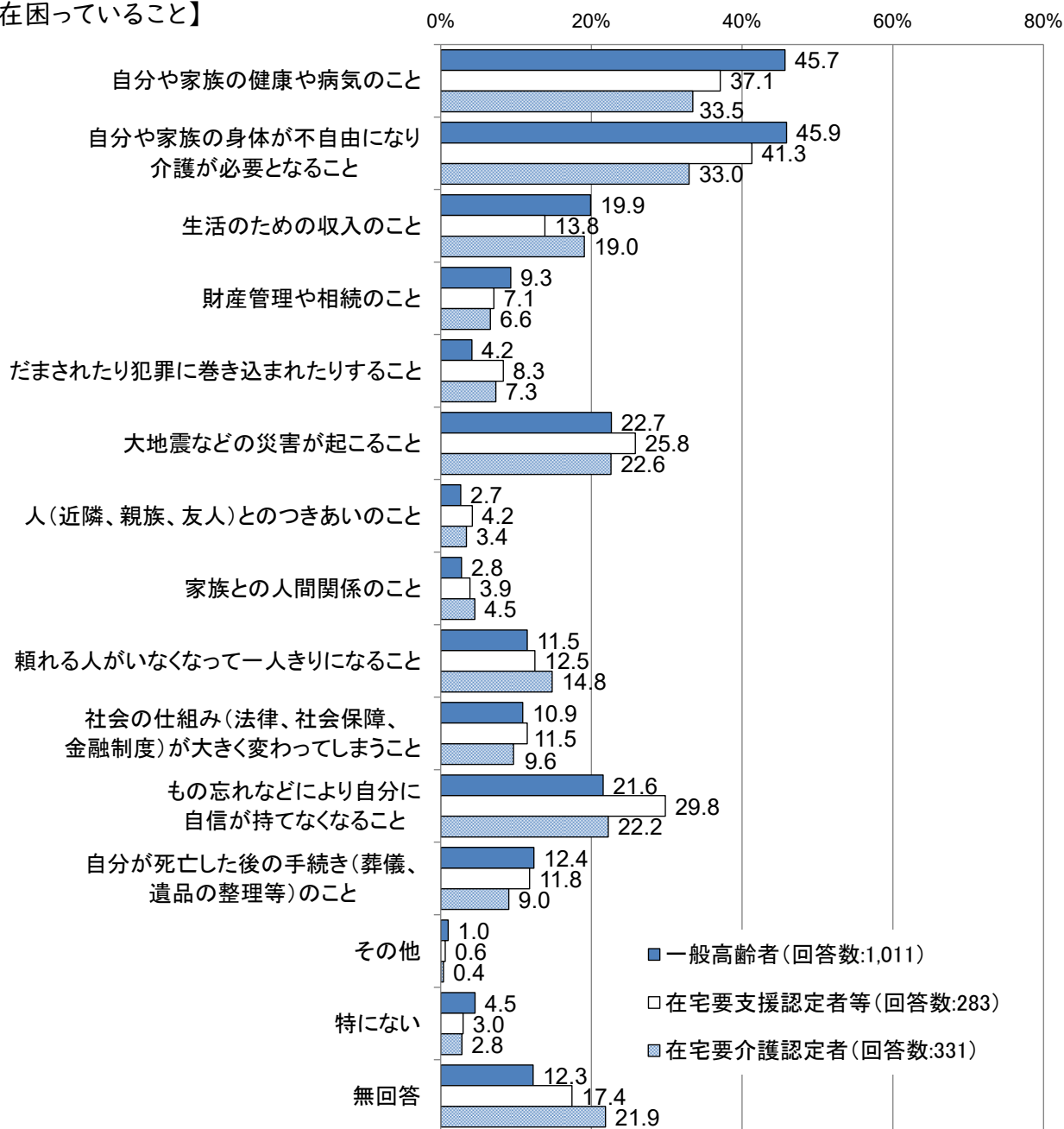


## 8 日常生活で困っていることや将来の不安について(問 H) (在宅要支援認定者等では問 I、在宅要介護認定者では問 C)

### (1) 困っていることや将来の不安

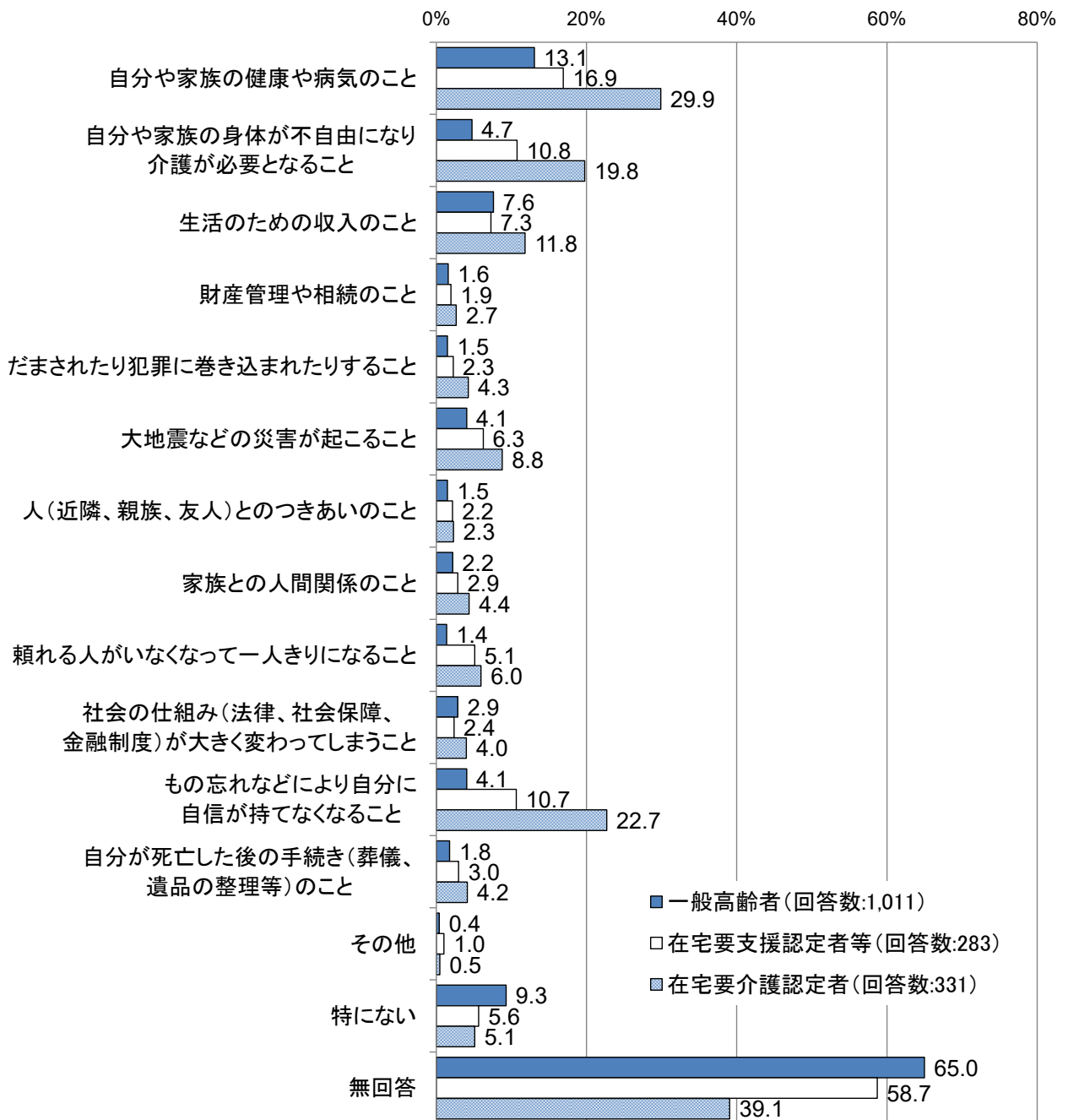
[設問] 現在困っていることと、将来についての不安はありますか。あてはまる欄に○を付けてください。(それぞれ○は3つまで)

#### 【現在困っていること】



○一般高齢者、在宅要支援認定者等では「自分や家族の身体が不自由になり介護が必要になること」が最も多く、それぞれ 45.9%、41.3%、一方、在宅要介護認定者では「自分や家族の健康や病気のこと」が 33.5%で最も多くなっている。次いで、一般高齢者、在宅要支援認定者等では「自分や家族の健康や病気のこと」が 45.7%、37.1%、在宅要介護認定者では「自分や家族の身体が不自由になり介護が必要になること」が 33.0%などとなっている。

【将来についての不安】



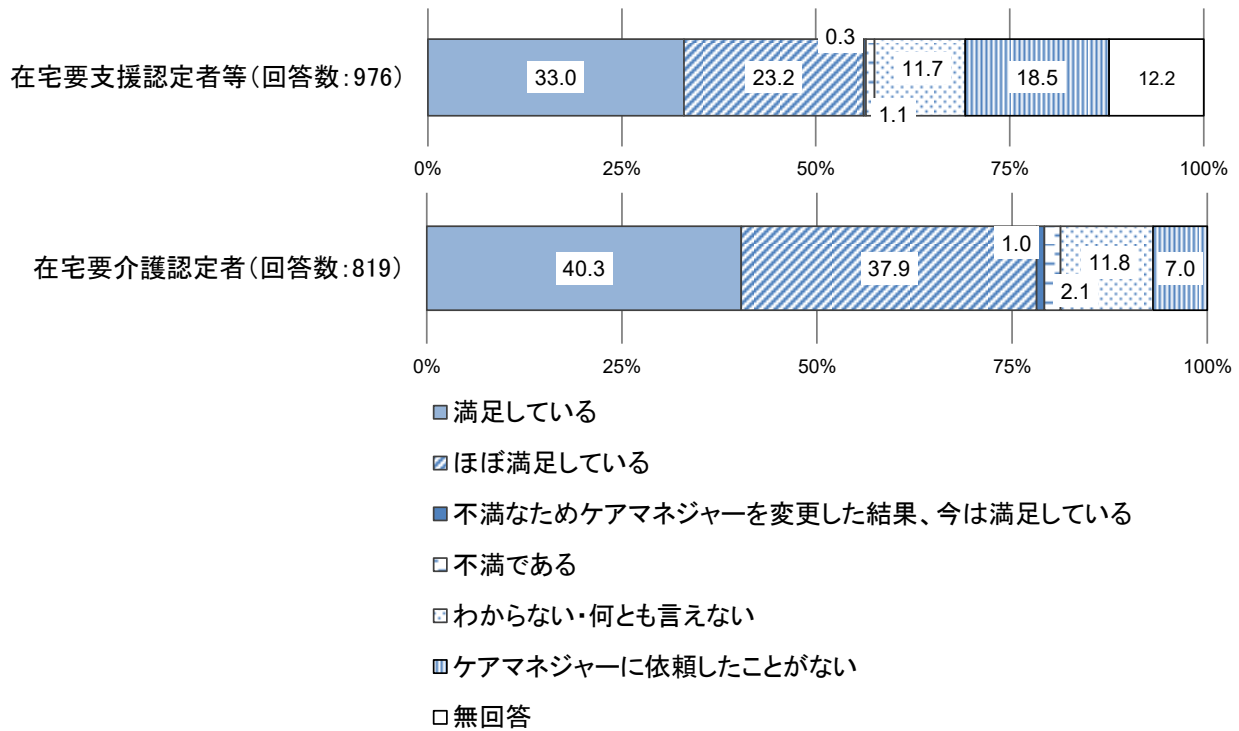
○「無回答」を除き、一般高齢者、在宅要支援認定者等、在宅要介護認定者ともに「自分や家族の身体が不自由になり介護が必要になること」が最も多く、それぞれ 13.1%、16.9%、29.9%、次いで、一般高齢者では「特にない」が 9.3%、在宅要支援認定者等では「自分や家族の身体が不自由になり介護が必要になること」が 10.8%、在宅要介護認定者では「もの忘れなどにより自分に自信が持てなくなること」が 22.7%などとなっている。

## 9 介護保険制度の利用について

(在宅要支援認定者等調査では問J、在宅要介護認定者調査では問D)

### (1) ケアマネジャーの対応の満足度

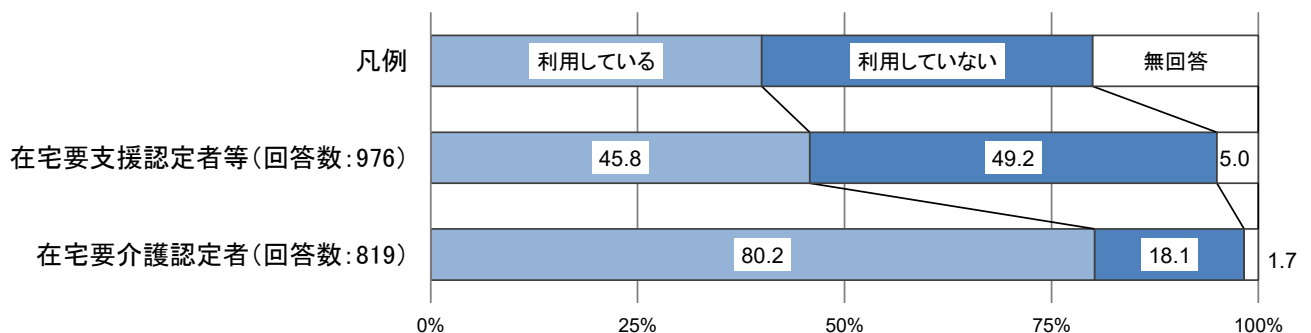
[設問] ケアマネジャーの対応に満足していますか。



○いずれも「満足している」が最も多く、在宅要支援認定者等では33.0%、在宅要介護認定者では40.3%が「満足している」と回答している。「満足している」「ほぼ満足している」を合わせると、在宅要支援認定者等で56.2%、在宅要介護認定者で78.2%が満足していると回答している。一方、在宅要支援認定者等では「ケアマネジャーに依頼したことがない」が18.5%みられる。

### (2) 介護保険サービスの利用状況

[設問] あなたは、この1か月に介護保険のサービスを利用しましたか。

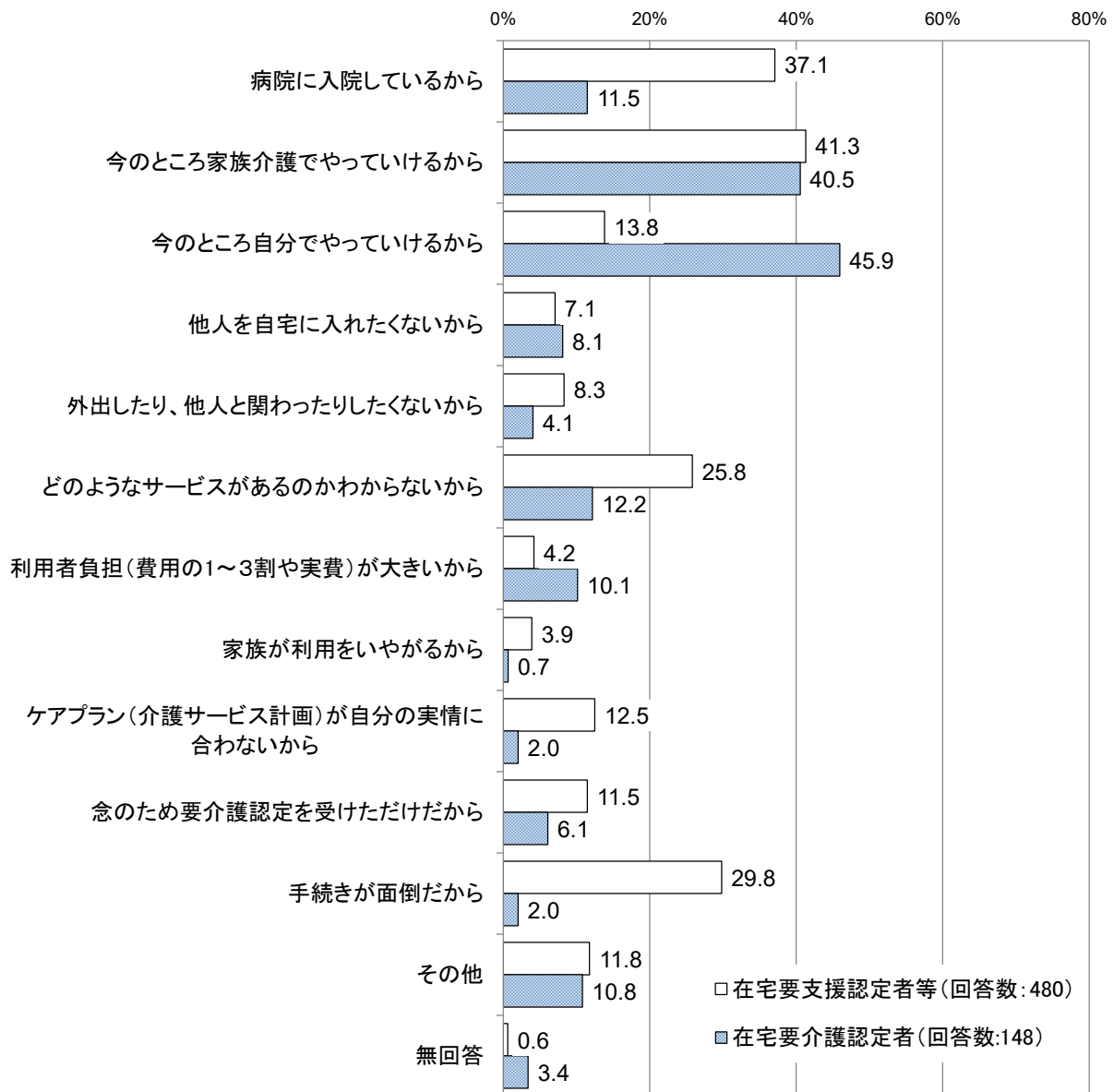


○在宅要支援認定者等では「利用している」が45.8%に対し、在宅要介護認定者では「利用している」が80.2%と大きな差がみられる。

### (3) 利用していない理由

[設問] (介護保険サービスを利用していない方のみ)

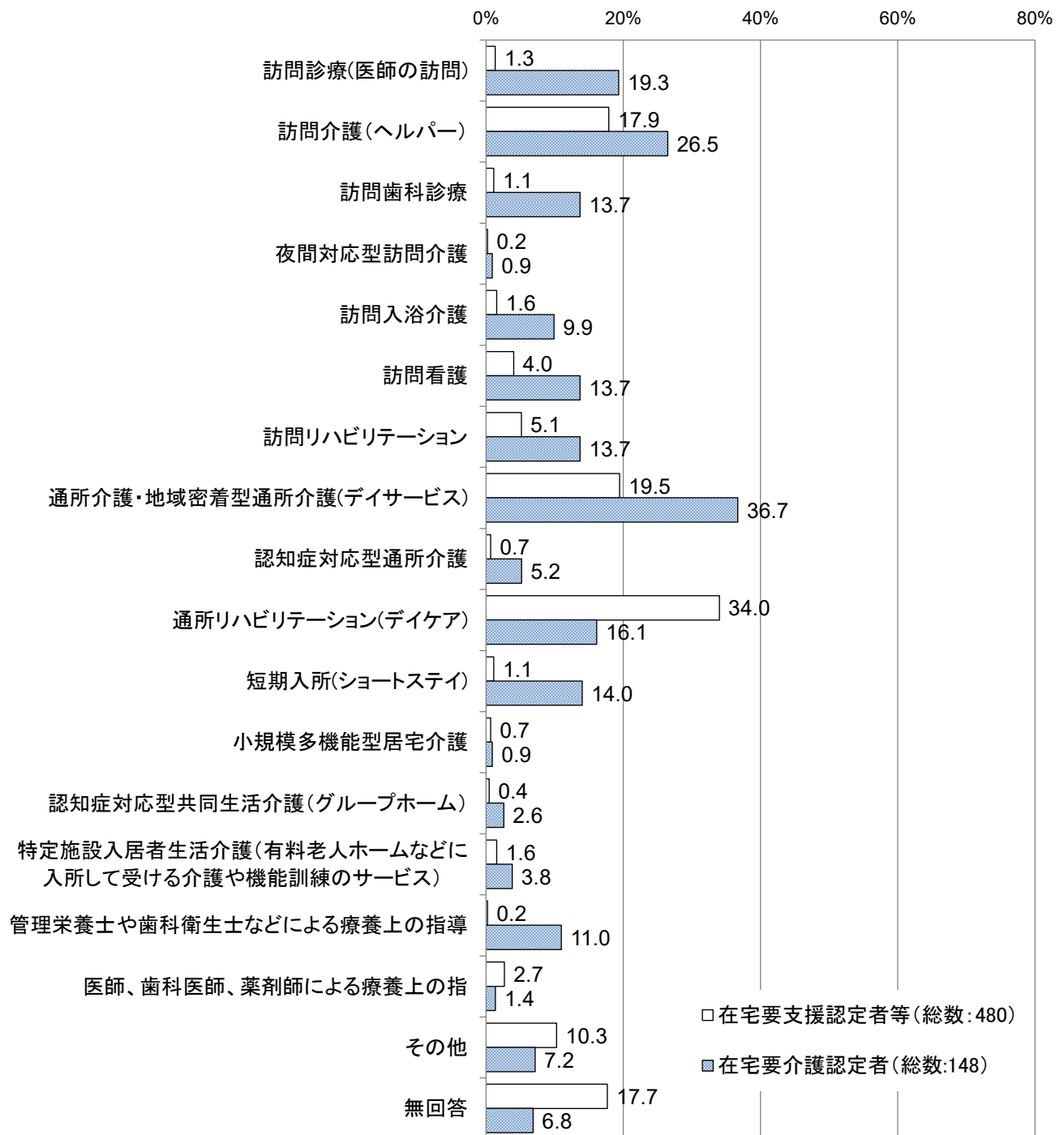
利用していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)



○在宅要支援認定者等では「今のところ家族介護でやっていけるから」が41.3%と最も多く、次いで「病院に入院しているから」が37.1%などとなっている。在宅要介護認定者では「今のところ自分でやっていけるから」が45.9%と最も多く、次いで「今のところ家族介護でやっていけるから」が40.5%、「どのようなサービスがあるのかわからないから」が12.2%などとなっている。

#### (4) 利用しているサービス

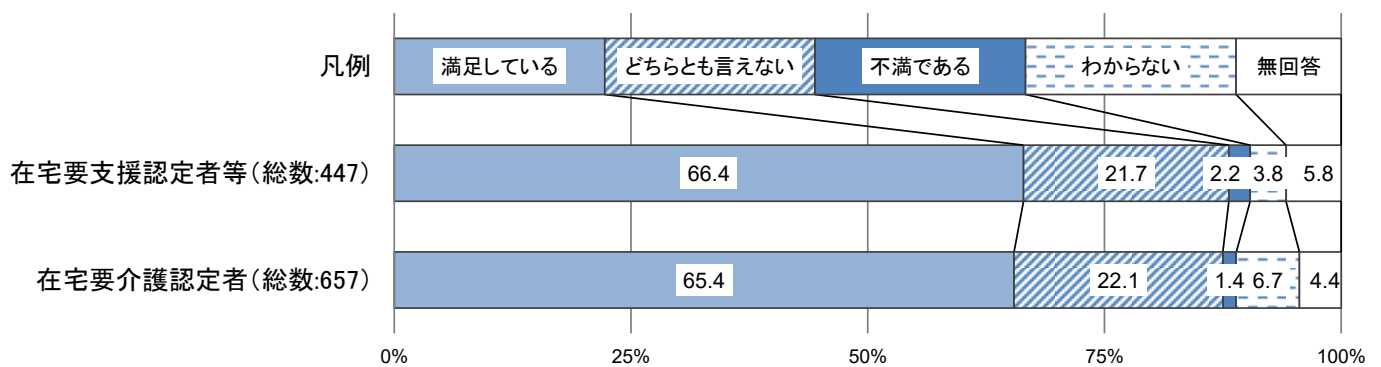
[設問] (介護保険サービスを利用している方のみ)  
以下のサービスを利用していますか。(〇はいくつでも)



○在宅要支援認定者等では「通所リハビリテーション(デイケア)」が 34.0%で最も多く、次いで「通所介護・地域密着型通所介護(デイサービス)」が 19.5%、「訪問介護(ヘルパー)」が 17.9%などとなっている。在宅要介護認定者では「通所介護・地域密着型通所介護(デイサービス)」が 36.7%で最も多く、次いで「訪問介護(ヘルパー)」が 26.5%、「訪問診療(医師の訪問)」が 19.3%などとなっている。

## (5) 利用しているサービスの満足度

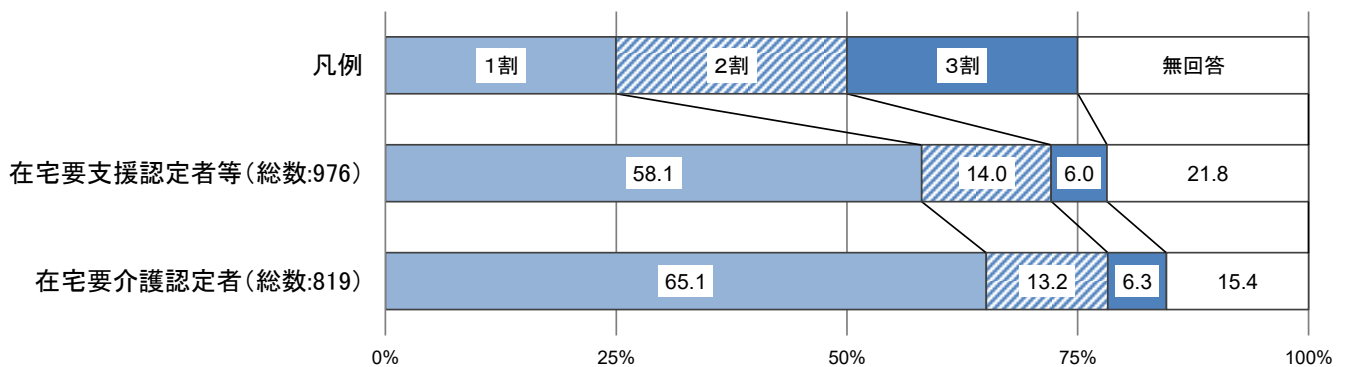
[設問] (介護保険サービスを利用している方のみ)  
現在利用しているサービスに満足していますか。



○在宅要支援認定者等、在宅要介護認定者とも「満足している」が半数以上を占め、それぞれ 66.4%、65.4%となっている。

## (6) サービス利用時の自己負担割合

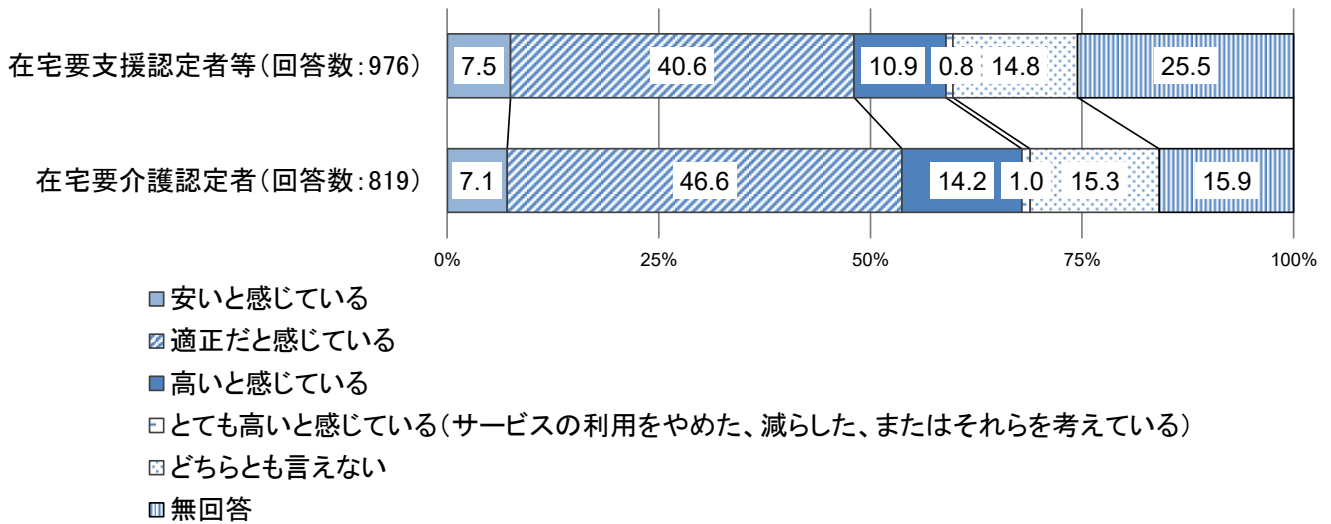
[設問] 介護サービスを受けるためには、所得に応じてサービス利用費用(\*食費・居住費を除く)を自己負担していただく必要があります。1割と2割に加えて、平成30年8月から、特に所得の高い方は費用の3割を負担していただくこととなっています。  
(1) あなたの自己負担割合をお答えください。



○在宅要支援認定者等では「1割」が 58.1%、「2割」が 14.0%、「3割」が 6.0%、在宅要介護認定者では「1割」が 65.1%、「2割」が 13.2%、「3割」が 6.3%となっている。

## (7) 自己負担分についての感覚

[設問] (2) (1) でお答えいただいた費用(自己負担分)について、どのように感じていますか。



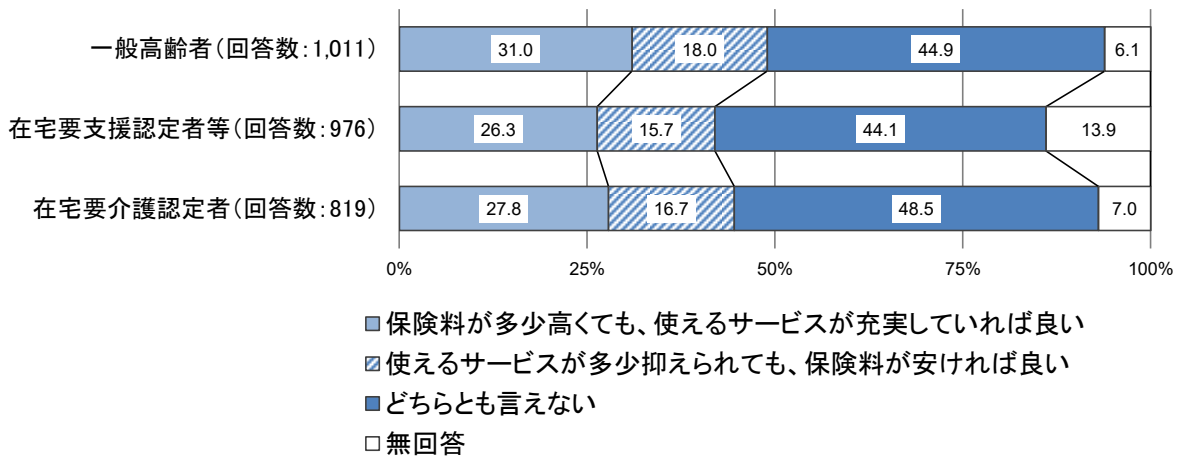
○在宅要支援認定者等、在宅要介護認定者ともに「適正だと感じている」が最も多く、それぞれ 40.6%、46.6%となっている。次いで、「どちらとも言えない」が 14.8%、15.2%、「高いと感じている」が 10.9%、14.2%などとなっている。

## 10 介護保険制度・高齢者施策について(問 I)

(在宅要支援認定者等調査では問K、在宅要介護認定者調査では問 E)

### (1) 介護保険料と介護サービスのあり方について

【設問】介護保険制度は、40 歳以上の方から保険料を徴収して介護が必要な方にサービスを提供する費用にあてていますが、保険料と介護サービスのあり方について、あなたのご意見に近いものはどれですか。



○一般高齢者、在宅要支援認定者等、在宅要介護認定者いずれも「どちらとも言えない」が最も多く、それぞれ 44.9%、44.1%、48.5%、次いで「保険料が多少高くても、使えるサービスが充実していれば良い」がそれぞれ 31.0%、26.3%、27.8%などとなっている。

#### 【経年比較】

〈一般高齢者〉

単位：%

	保険料が多少高くても、使えるサービスが充実していれば良い	使えるサービスが多少抑えられても、保険料が安ければ良い	どちらとも言えない	無回答
令和4年度 (回答数1,011)	31.0	18.0	44.9	6.1
令和元年度 (回答数917)	34.2	16.6	43.9	5.2
平成28年度 (回答数889)	25.5	16.4	52.5	5.5

〈在宅認定者等〉

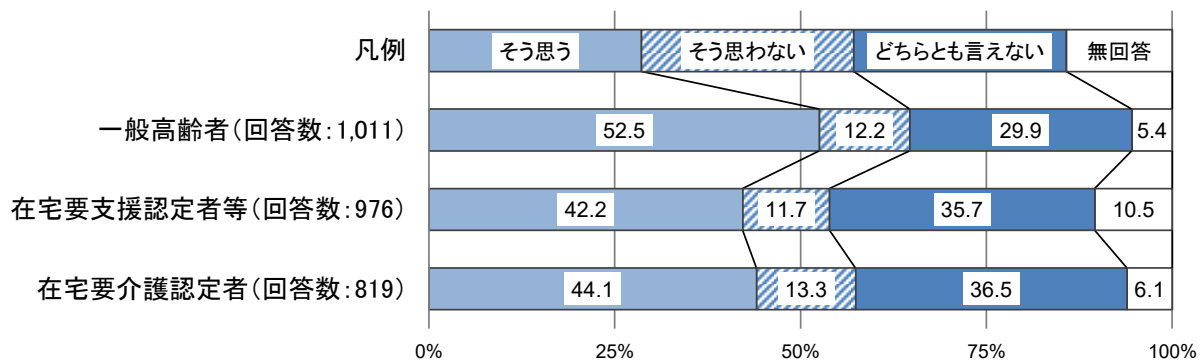
令和4年度 在宅要支援認定者等(回答数 976)	26.3	15.7	44.1	13.9
令和4年度 在宅要介護認定者(回答数 819)	27.8	16.7	48.5	7.0
令和元年度 (回答数762)	26.6	14.4	47.8	5.2
平成28年度 (回答数766)	28.9	13.2	49.1	8.9

○一般高齢者では、「保険料が多少高くても、使えるサービスが充実していれば良い」が平成28年度に比べ 5.5 ポイント増加し、「どちらとも言えない」が 7.6 ポイント減少している。在宅要支援認定者等、在宅要介護認定者では、「使えるサービスが多少抑えられても、保険料が安ければ良い」が微減しているものの、大きな変化はみられない。



## (2) 介護保険料の低所得者への配慮について

【設問】65歳以上の方の保険料に関して「低所得者に配慮するために、高所得者の負担を多少増やすのもやむを得ない」ということについて、あなたはどのようにお考えですか。



○一般高齢者、在宅要支援認定者等、在宅要介護認定者いずれも「そう思う」が最も多く、それぞれ 52.5%、42.2%、44.1%、次いで「どちらとも言えない」がそれぞれ 29.9%、35.7%、36.5%などとなっている。

### 【経年比較】

〈一般高齢者〉

単位：%

	そう思う	そう思わない	どちらとも言えない	無回答
令和4年度 (回答数1,011)	52.5	12.2	29.9	5.4
令和元年度 (回答数917)	52.7	12.2	31.4	3.7
平成28年度 (回答数889)	51.9	9.9	33.9	4.4

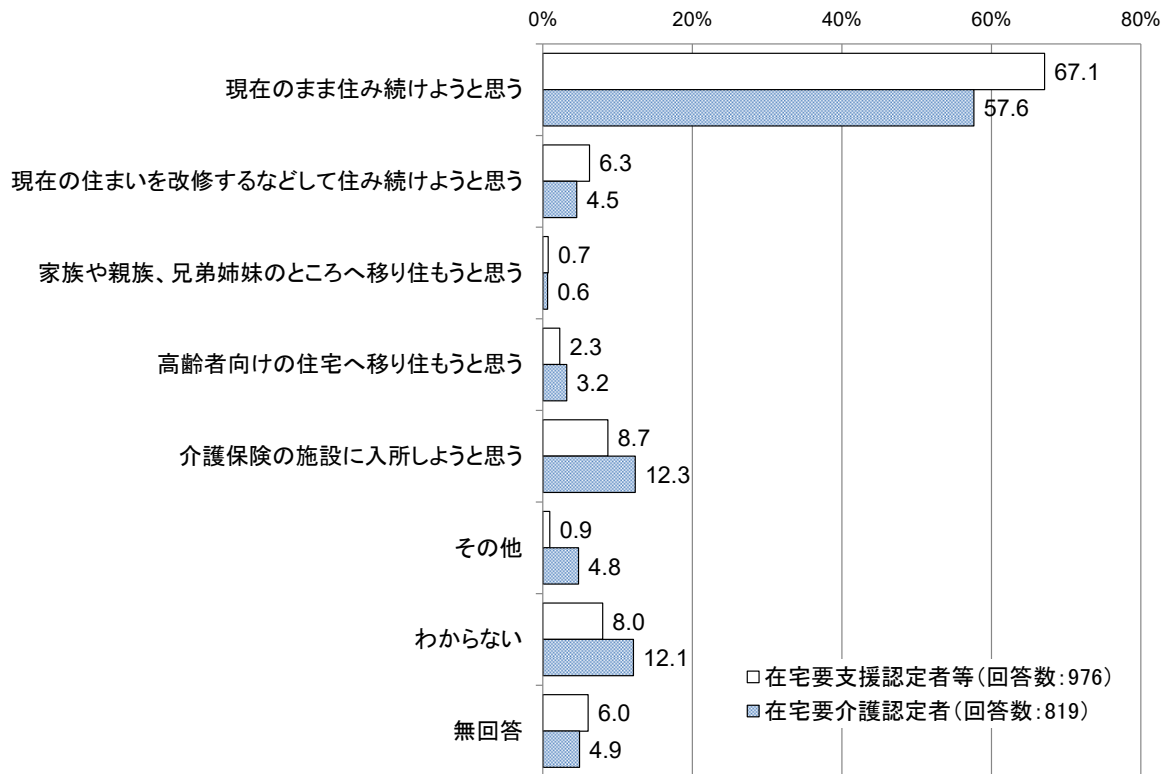
〈在宅認定者等〉

令和4年度 在宅要支援認定者等(回答数 976)	42.2	11.7	35.7	10.5
令和4年度 在宅要介護認定者(回答数 819)	44.1	13.3	36.5	6.1
令和元年度 (回答数762)	47.0	10.1	32.5	10.4
平成28年度 (回答数766)	46.7	12.8	32.9	7.6

○「そう思う」は一般高齢者、在宅要支援認定者等、在宅要介護認定者いずれも微減、全体として大きな変化はみられない。

(3) 今後希望する生活場所（在宅要支援認定者等調査では問K、在宅要介護認定者調査では問E）

[設問] 今後希望する生活場所についてうかがいます。

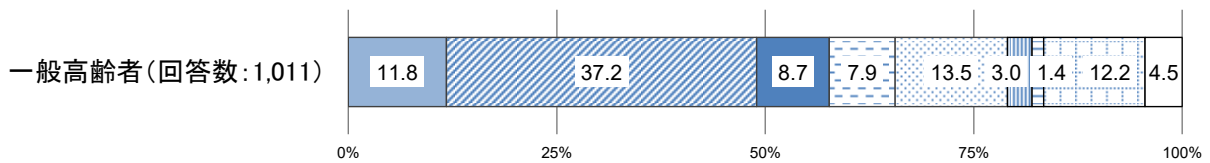


介護保険の施設…介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）、介護老人保健施設等

○在宅要支援認定者等、在宅要介護認定者とも「現在のまま住み続けようと思う」が飛び抜けて多く、それぞれ67.1%、57.6%となっている。

#### (4) 今後、もし自身が介護が必要になったら

[設問] 今後、もしあなたご自身が介護が必要となった場合、どのようにしたいとお考えですか。(○は1つ)

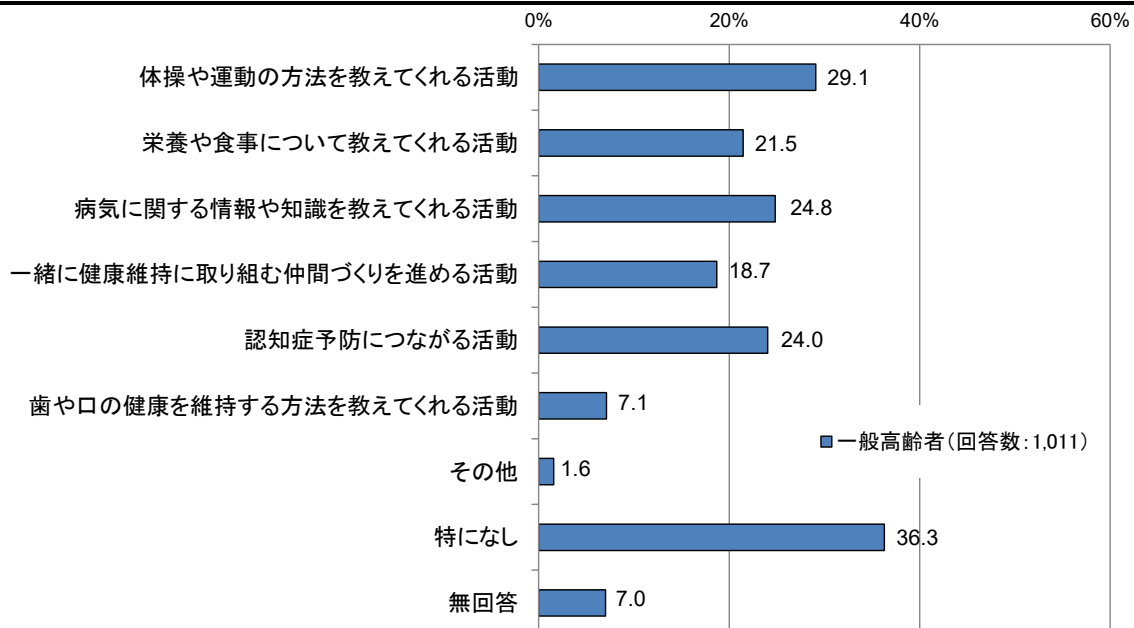


- 家族などを中心にできる限り自宅で介護を受けたい
- 介護保険制度のサービスや保健福祉サービスを活用しながらできる限り自宅で介護を受けたい
- 高齢者向けの住宅に移り、介護を受けたい
- 軽費老人ホーム(ケアハウス)のような低所得者に配慮した住宅に移り、介護を受けたい
- 介護保険制度のサービス対象となる特別養護老人ホーム、老人保健施設などに入所したい
- 介護は受けたいが、利用料等の負担を考え、介護保険制度のサービスの利用は控える
- その他
- わからない
- 無回答

○「介護保険制度のサービスや保健福祉サービスを活用しながらできる限り自宅で介護を受けたい」が 37.2%で最も多く、次いで「介護保険制度のサービス対象となる特別養護老人ホーム、老人保健施設などに入所したい」が 13.5%、「わからない」が 12.2%などとなっている。

#### (5) 介護予防のために参加したい活動

[設問] 介護予防のために参加したい活動はありますか。(○はいくつでも)

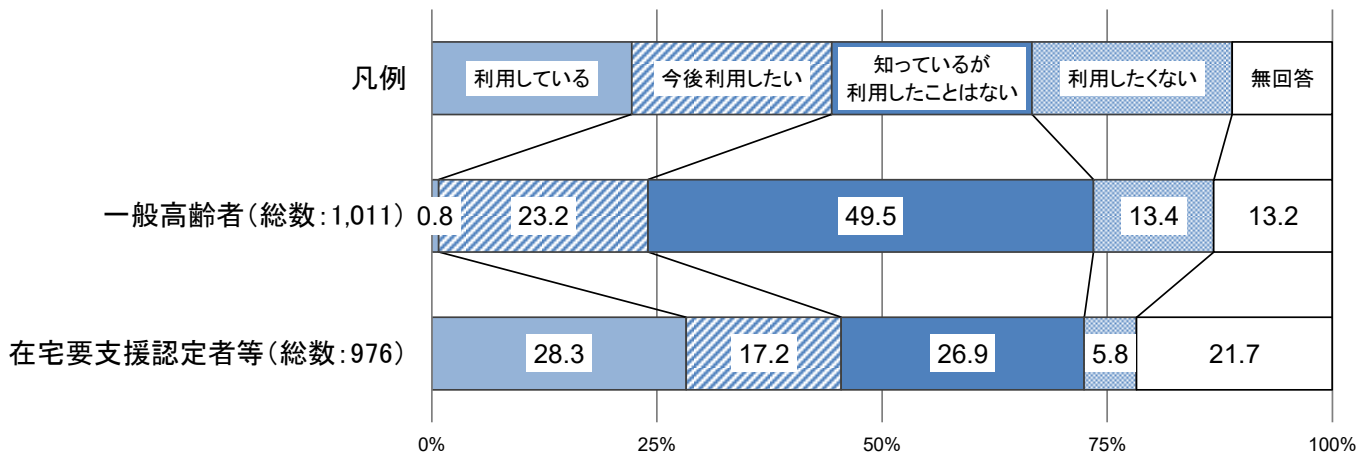


○「特になし」が 36.3%、「体操や運動の方法を教えてくれる活動」が 29.1%、「病気に関する情報や知識を教えてくれる活動」が 24.8%、「認知症予防につながる活動」が 24.0%などが上位となっている。

## (6) 介護予防・日常生活支援総合事業の利用状況など

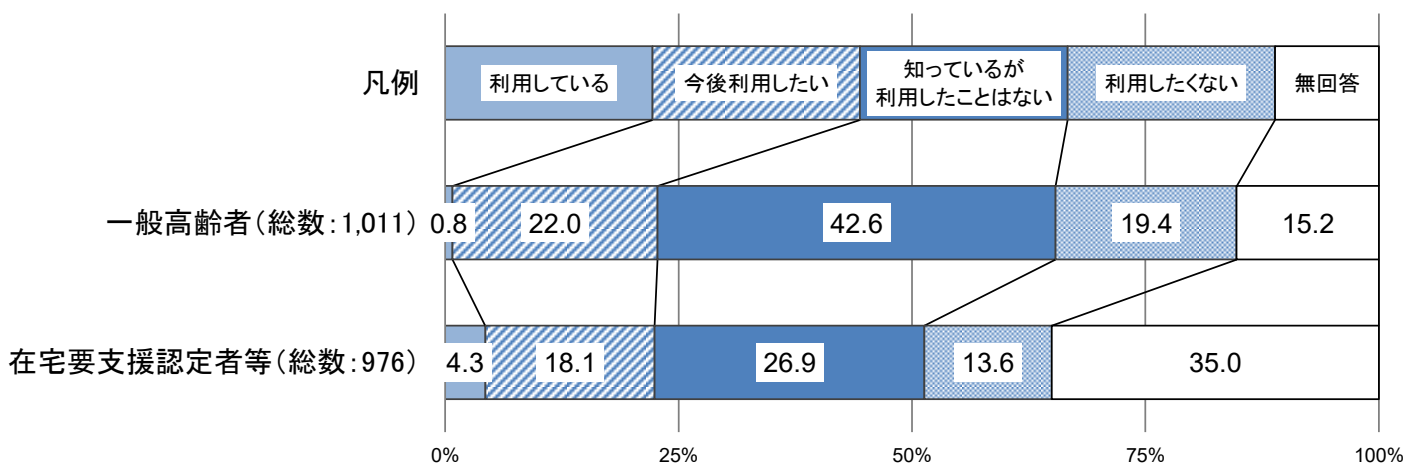
【設問】介護予防・日常生活支援総合事業は、65歳以上のすべての方の日常生活の支援を目的とした事業です。本事業の利用状況や新たなサービスの実施に向けた意向について、おたずねします。（それぞれ〇は1つ）

【生活支援や見守り・介護予防のための訪問や通所の支援（要介護認定にかかわらず利用可能な場合あり）】



○一般高齢者では「知っているが利用したことはない」が49.5%で最も多く、次いで「今後利用したい」が23.2%、「利用したくない」が13.4%、在宅要支援認定者等では「利用している」が28.3%で最も多く、次いで「知っているが利用したことはない」が26.9%、「今後利用したい」が17.2%などとなっている。

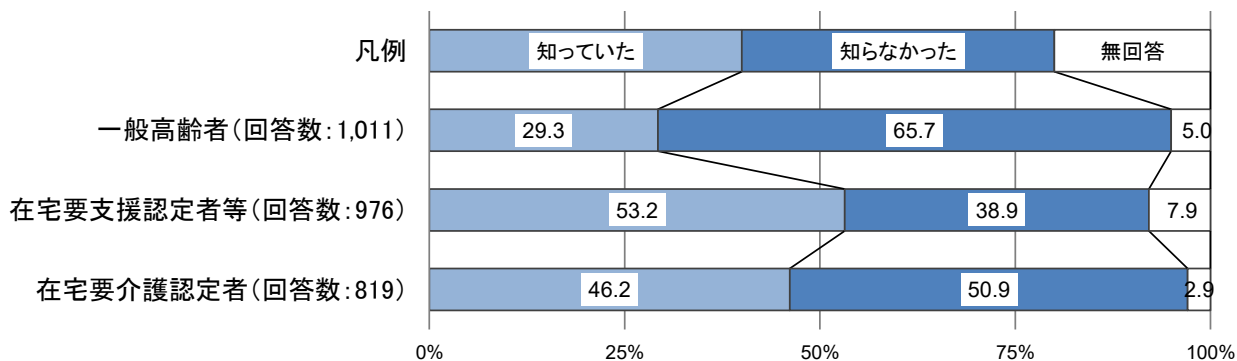
【住民組織やNPOが主体となった集いの場やサービスの提供（要介護認定にかかわらず利用可能な場合あり）】



○「無回答」を除き、一般高齢者、在宅要支援認定者等ともに、「知っているが利用したことはない」が最も多く、それぞれ42.6%、28.9%となっている。次いで「今後利用したい」がそれぞれ22.0%、18.1%などとなっている。

## (7) 高齢者外出支援事業の認知度

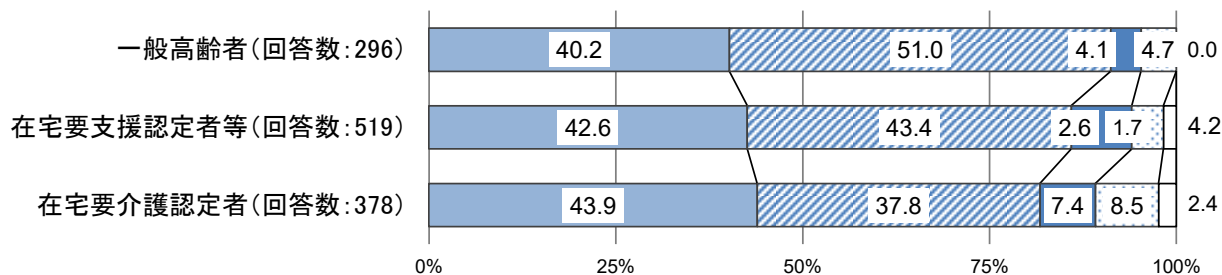
[設問] 高齢者外出支援事業についてうかがいます。市では、高齢者が自宅に引きこもらず気軽に外出し、健康で自分らしい生活を送っていただくこと、また、経済的負担の軽減を目的として在宅で生活する75歳以上の非課税世帯に対して、高齢者外出支援事業として、1枚500円のタクシー券を月3枚(年間最大36枚)、交付していますがご存じでしたか。



○「知っていた」が一般高齢者の29.3%に対し、在宅要支援認定者等、在宅要介護認定者では53.2%、46.2%と、それぞれ23.9ポイント、16.9ポイント上回っている。

## (8) 高齢者外出支援事業についての情報の入手先

[設問] (高齢者外出支援事業を「知っていた」方のみ)  
本事業を何で知りましたか。

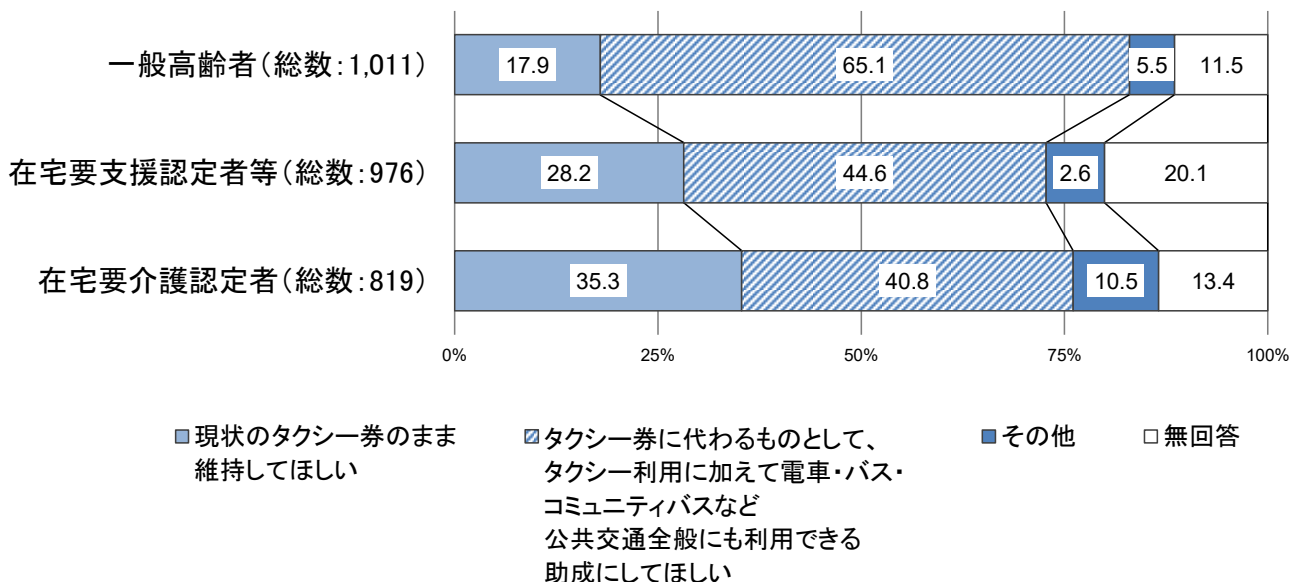


- 市役所(広報習志野・ホームページ・市からのお知らせ)
- ▨ 親族・友人・知人からの情報
- 高齢者相談センター(地域包括支援センター)
- その他
- 無回答

○一般高齢者、在宅要支援認定者等では「親族・友人・知人からの情報」がそれぞれ51.0%、43.4%、在宅要介護認定者では「市役所(広報習志野・ホームページ・市からのお知らせ)」が43.9%で最も多くなっている。

## (9) 今後の高齢者外出支援事業の見直しについて

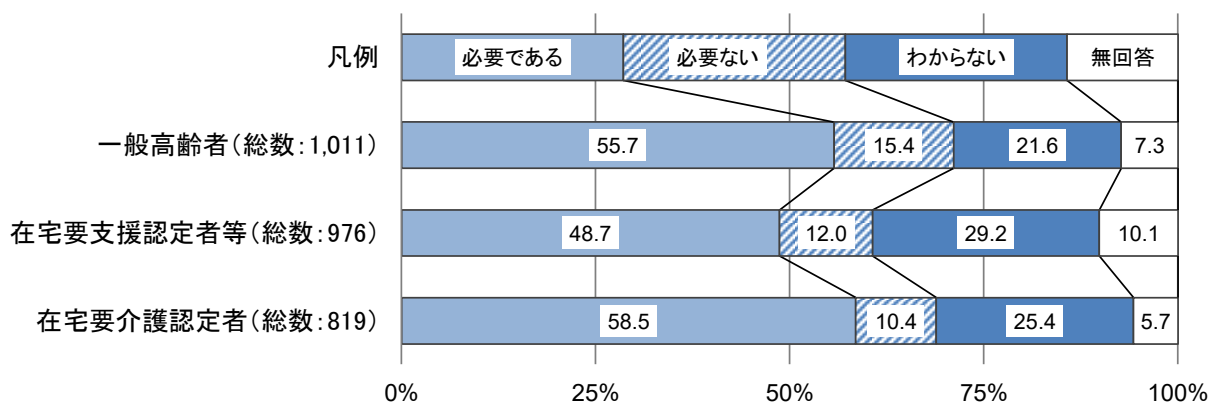
[設問] 本事業では、1枚500円のタクシー券を月3枚(年間最大36枚)支給しておりますが、今後、高齢化の進展により予算が増大することが見込まれており、このままの状況を維持することは非常に困難です。今後の事業の見直しについてどう思いますか。



○一般高齢者、在宅要支援認定者等、自宅介護認定者いずれも「タクシー券に代わるものとして、タクシー利用に加えて電車・バス・コミュニティバスなど公共交通全般にも利用できる助成にしてほしい」がそれぞれ65.1%、44.6%、40.8%で最も多く、次いで「現状のタクシー券のまま維持してほしい」がそれぞれ17.9%、28.2%、35.3%などとなっている。

## (10) 高齢者ドライバーの運転免許証自主返納について

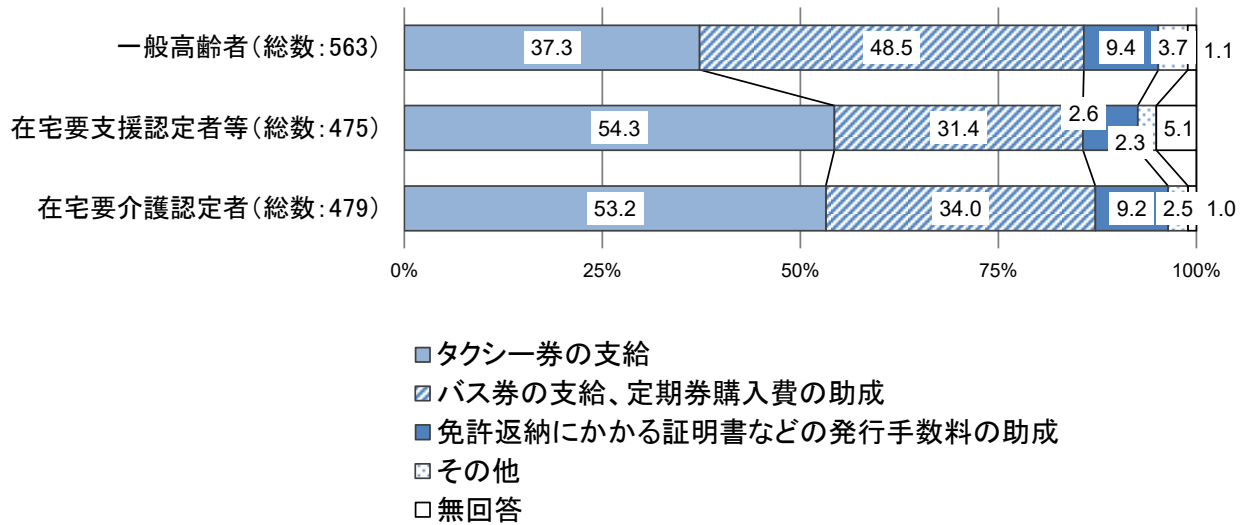
[設問] 近年、高齢者ドライバーが当事者となる痛ましい事故が多発し、運転免許証の自主返納に大きな関心が集まっています。本市の公共交通は比較的充実していることから、現時点でタクシー券等の支給は行っていないが、今後、運転免許証を自主返納した方に対する税金を使った支援は必要であると思いますか。



○一般高齢者、在宅要支援認定者等、在宅要介護認定者いずれも、「必要である」が最も多く、それぞれ55.7%、48.7%、58.5%、次いで「わからない」が21.6%、29.2%、25.4%などとなっている。

## (11) 運転免許証を自主返納した方に必要な支援

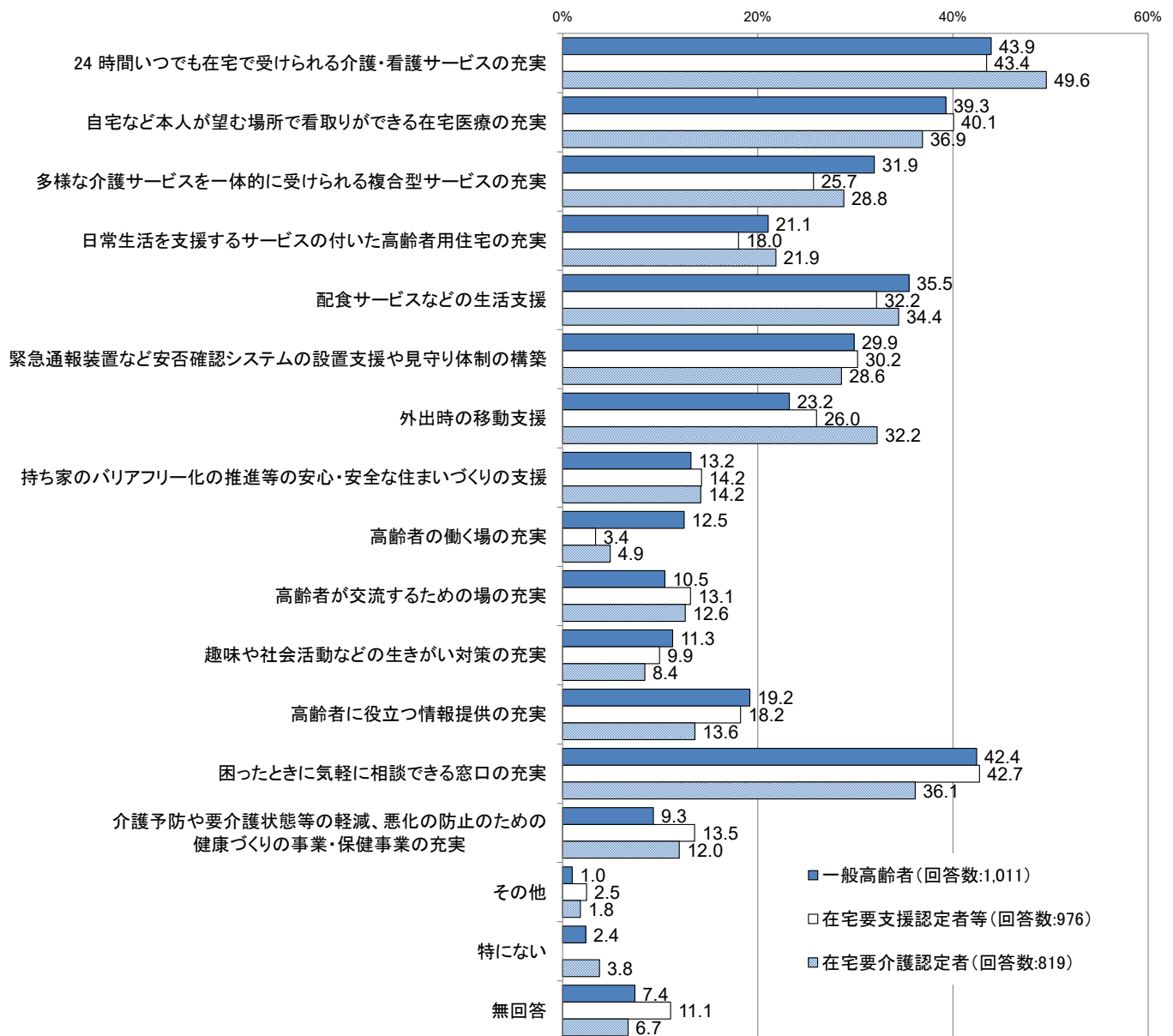
[設問] (運転免許証を自主返納した方に対し支援が「必要である」と思う方のみ)  
 どのような支援が必要であると思いますか。



○一般高齢者では「バス券の支給、定期券購入費の助成」が 48.5%で最も多く、次いで「タクシー券の支給」が 37.3%、在宅要支援認定者等、在宅要介護認定者では「タクシー券の支給」がそれぞれ 54.3%、53.2%で最も多く、次いで「バス券の支給、定期券購入費の助成」が 31.4%、34.0%などとなっている。

## (12) 高齢者が地域で在宅生活を続けるために必要な施策

[設問] あなたは、高齢者が住み慣れた地域で在宅生活を続けていくために、主としてどのような市の施策が必要であると考えますか。(〇は5つまで)



○一般高齢者、在宅要支援認定者等、在宅要介護認定者いずれも「24時間いつでも在宅で受けられる介護・看護サービスの充実」がそれぞれ 43.9%、43.4%、49.6%で最も多く、次いで一般高齢者、在宅要支援認定者等では「困ったときに気軽に相談できる窓口の充実」が 42.4%、42.7%、在宅要介護認定者では「自宅など本人が望む場所で看取りができる在宅医療の充実」が 36.9%などとなっている。

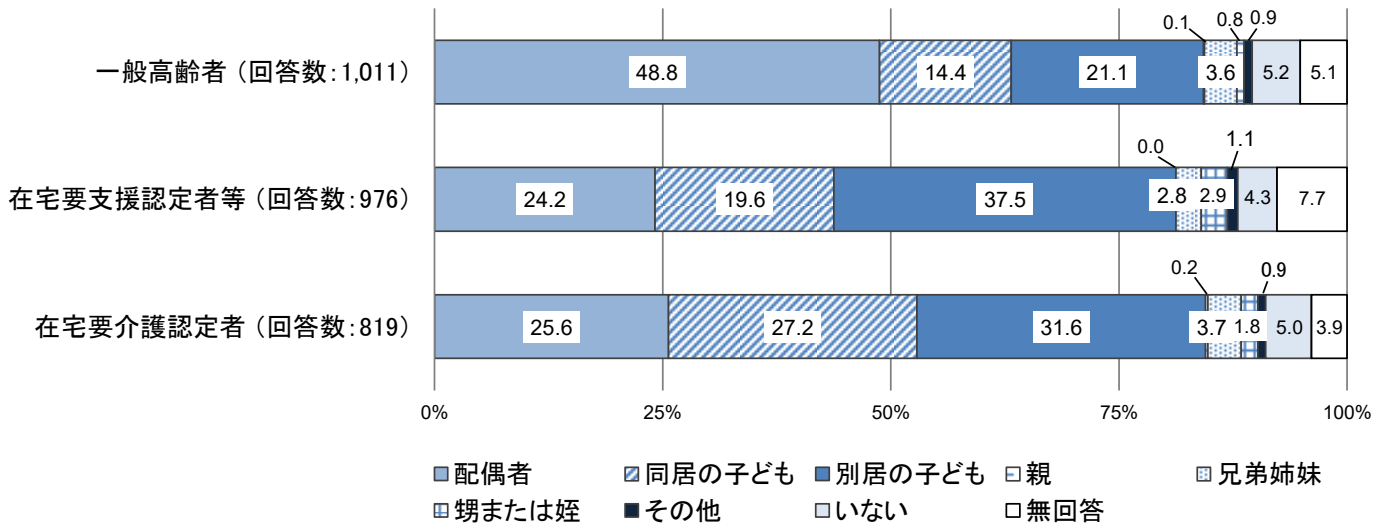


## 11 将来への備えについて(問J)

(在宅要支援認定者等調査では問L、在宅要介護認定者調査では問F)

### (1) 緊急時に必要な手続き・金銭管理をしてくれる身内の有無

[設問] あなたの身に緊急事態が起きた時(事故等による介護を要する状態、認知症など)に、必要な手続きや金銭管理をしてくれる身内の方はいますか。いる場合は、主にどなたですか。(〇は1つ)

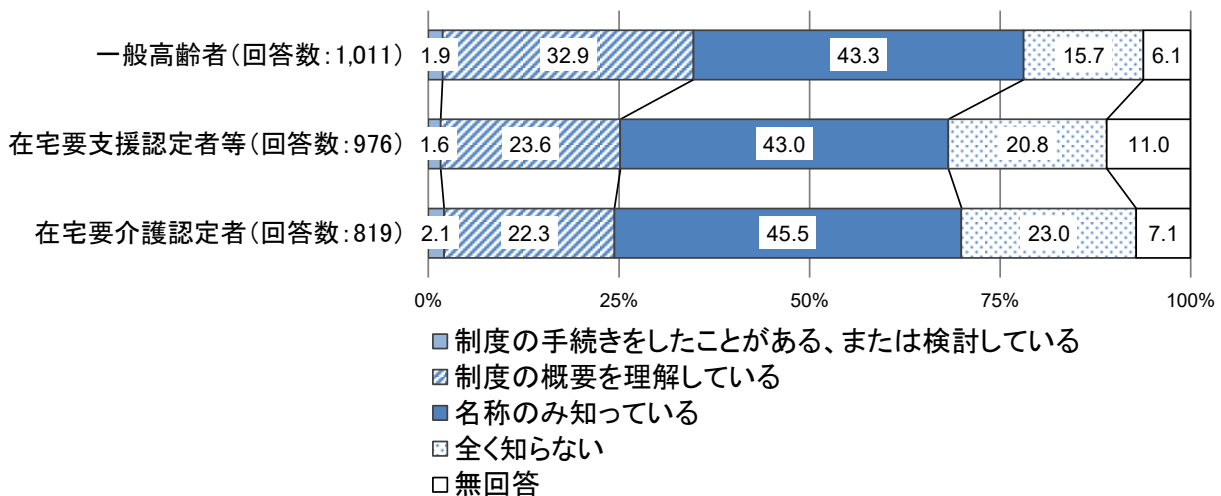


○一般高齢者では「配偶者」が48.8%で最も多く、次いで「別居の子ども」が21.1%、「同居の子ども」が14.4%などとなっている。在宅要支援認定者等と在宅要介護認定者では「別居の子ども」が最も多く、それぞれ37.5%、31.6%、次いで在宅要支援認定者等では「配偶者」が24.2%、在宅要介護認定者では「同居の子ども」が27.2%などとなっている。

### (2) 成年後見制度の認知度

[設問] あなたは「成年後見制度」について、どの程度ご存知ですか。(〇は1つ)

(「成年後見制度」とは、認知症や障がいなどにより、判断能力が十分でない方が不利益を被らないように家庭裁判所へ申立てをして、その方の権利を守る援助者を選び、法律的に支援する制度です。)



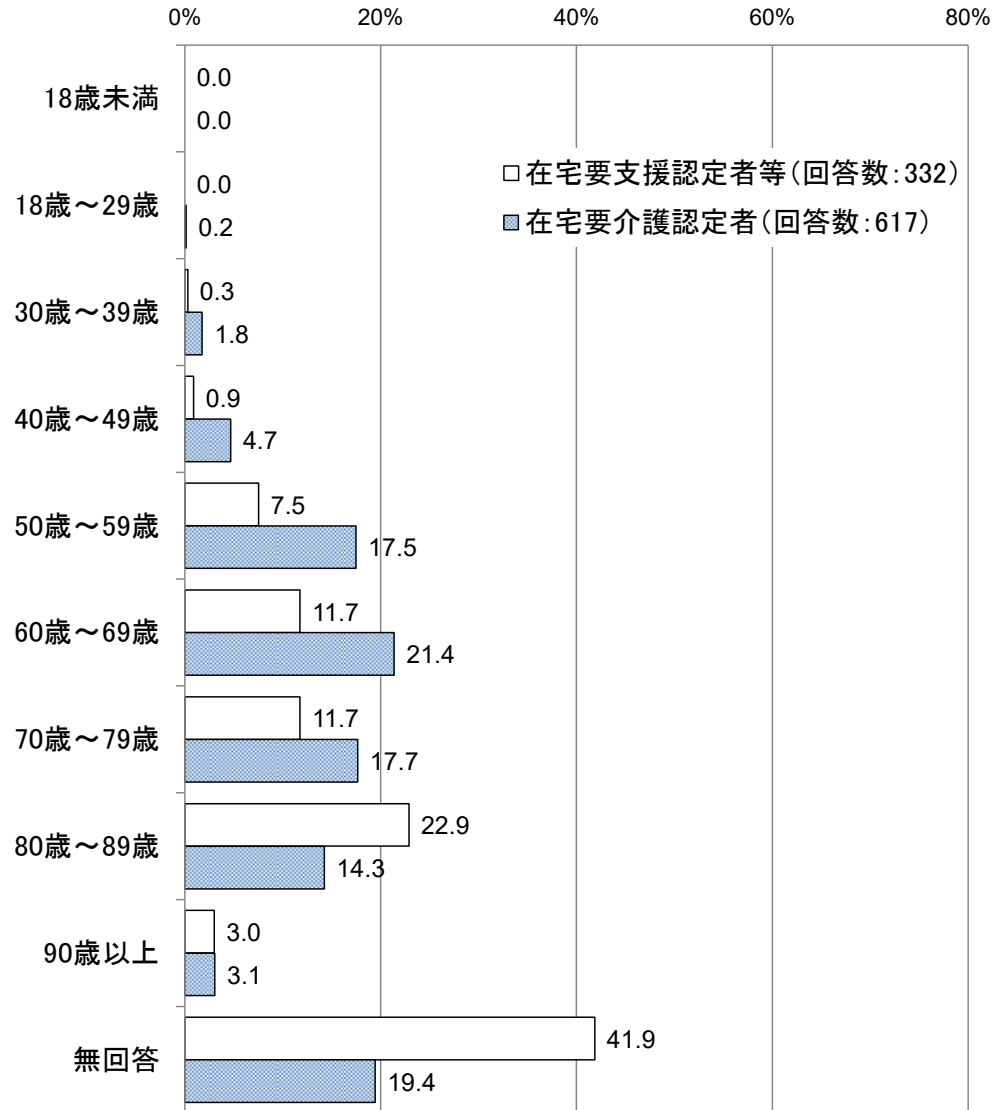
○一般高齢者、在宅要支援認定者等、在宅要介護認定者とも、「名称のみ知っている」が最も多く、それぞれ43.3%、43.0%、45.5%、次いで一般高齢者、在宅要支援認定者等では「制度の概要を理解している」が32.9%、23.6%、在宅要介護認定者では「全く知らない」が23.0%などとなっている。

## 12 主な介護者の方への質問

(在宅要支援認定者等調査では問M、在宅要介護認定者調査では問G)

### (1) 介護者の年齢

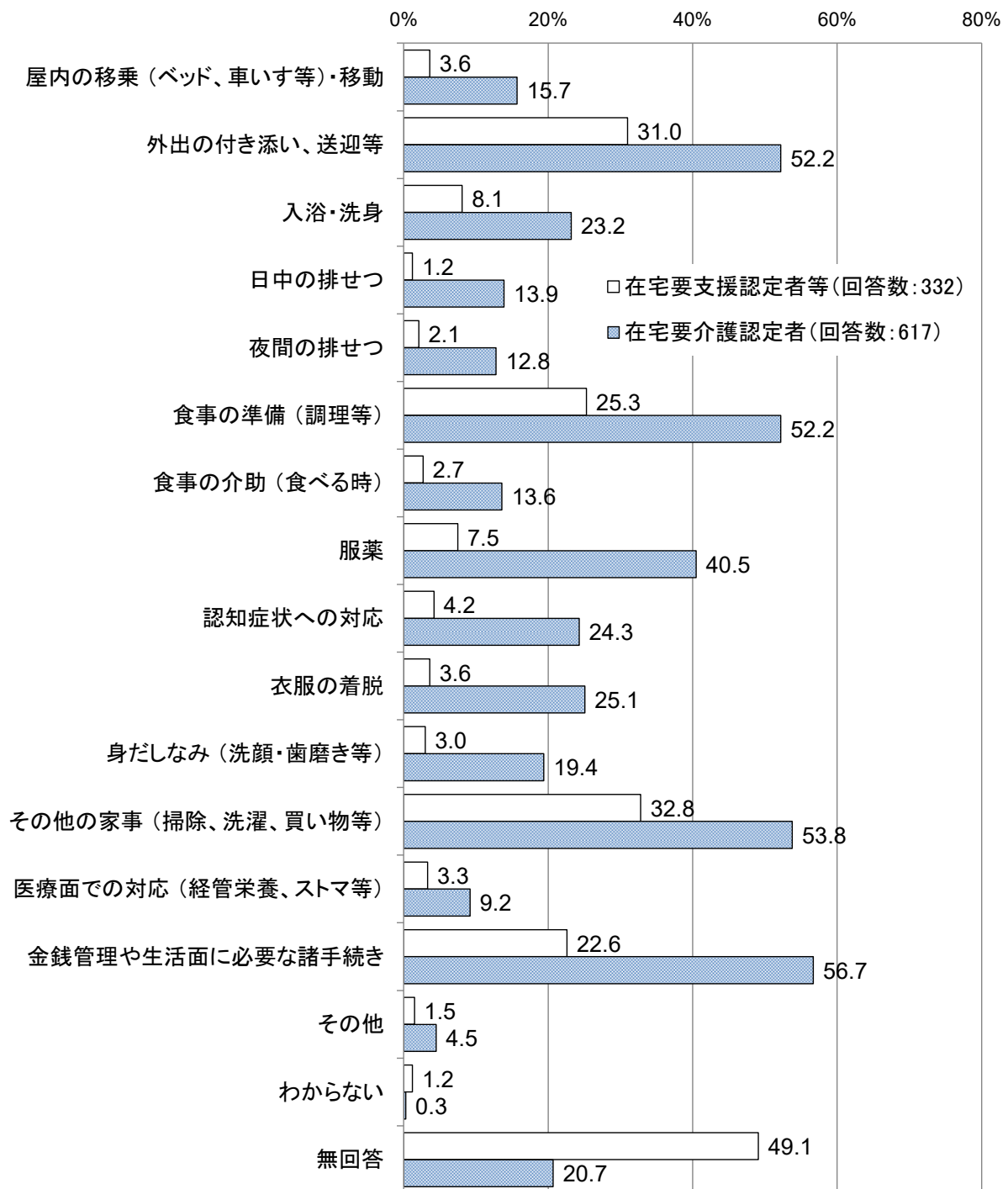
[設問] ①あなたの年齢をお答えください。



○無回答を除き、在宅要支援認定者等では「80～89歳」が22.9%で最も多く、次いで「60～69歳」と「70～79歳」がともに11.7%などとなっている。在宅要介護認定者では「60～69歳」が21.4%で最も多く、次いで「70～79歳」が17.7%などとなっている。

## (2) 主な介護者が行っている介護等

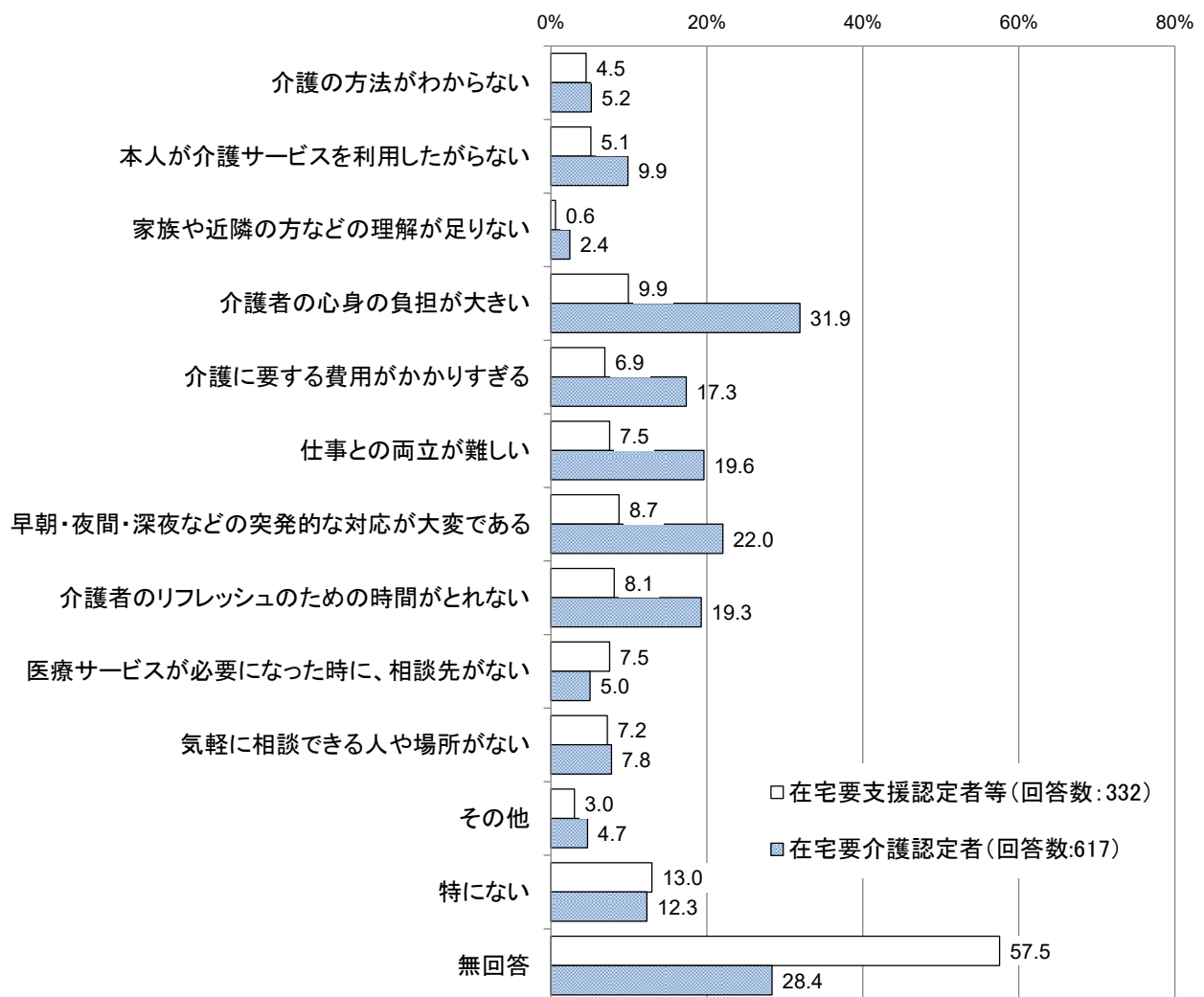
[設問] 現在、主な介護者の方が行っている介護等は、次のどれですか。(〇はいくつでも)



○無回答を除き、在宅要支援認定者等では「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」が 32.8%で最も多く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が 31.0%、「食事の準備(調理等)」が 25.3%などとなっている。在宅要介護認定者では「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 56.7%で最も多く、次いで「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」が 53.8%、「外出の付き添い、送迎等」と「食事の準備(調理等)」が 52.2%などとなっている。また、在宅要介護認定者では「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」「服薬」がそれぞれ56.7%、40.5%で在宅要支援認定者等の22.6%、7.5%と大きな差がある。

### (3) 介護を行う上で困っていること

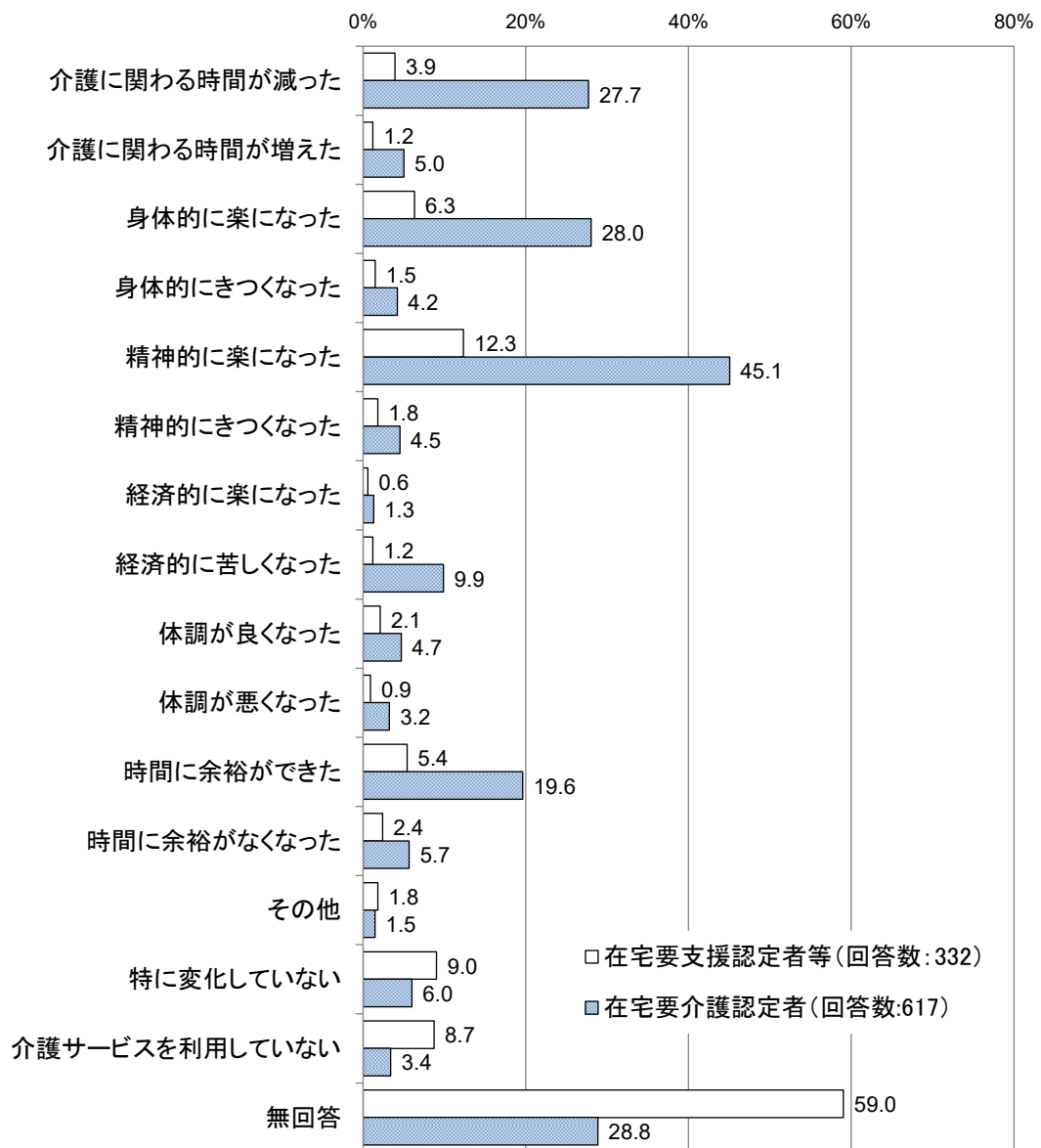
[設問] 介護を行う上で困っていることは何ですか。(〇はいくつでも)



○「無回答」を除き、在宅要支援認定者等では「特にない」が13.0%で最も多く、次いで「介護者の心身の負担が大きい」が9.9%、「早朝・夜間・深夜などの突発的な対応が大変である」が8.7%などとなっている。在宅要介護認定者では「介護者の心身の負担が大きい」が31.9%で最も多く、次いで「早朝・夜間・深夜などの突発的な対応が大変である」が22.0%、「仕事との両立が難しい」が19.6%などとなっている。

#### (4) 介護サービス利用による介護者の変化

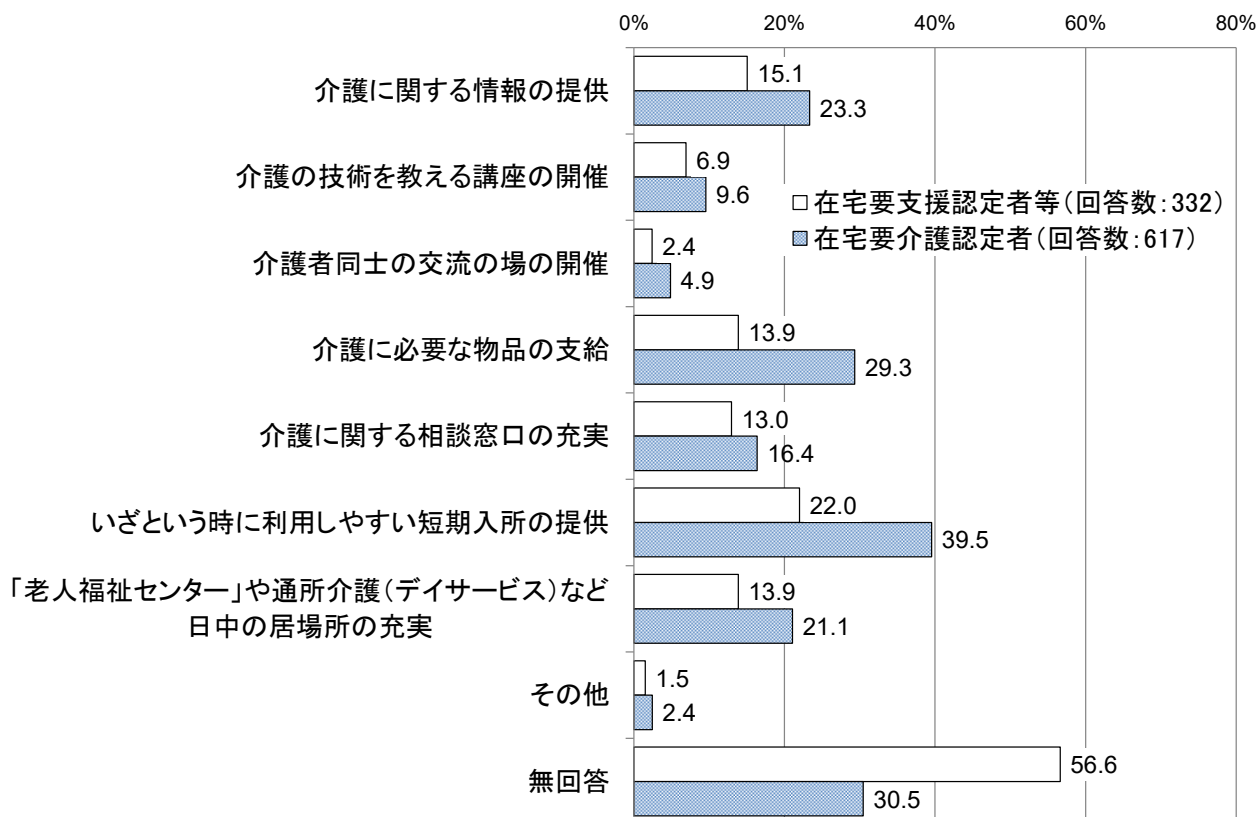
[設問] 介護サービスを利用することによって、介護している方はどのように変化しましたか。(〇はいつでも)



○無回答を除き、在宅要支援認定者等、在宅要介護認定者ともに「精神的に楽になった」がそれぞれ 12.3%、45.1%で最も多く、次いで在宅要支援認定者等では「特に変化していない」が 9.0%、在宅要介護認定者では「身体的に楽になった」が 28.0%などとなっている。

## (5) 介護者としてあったらいいと思う支援

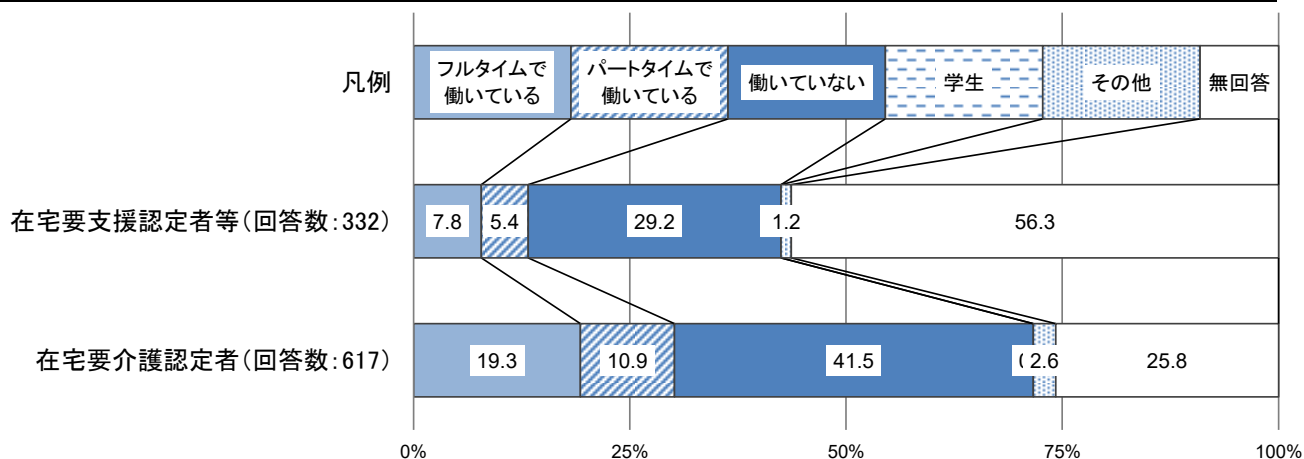
[設問] 介護者として、介護に関してどのような支援があったらいいと思いますか。



○「無回答」を除き、在宅要支援認定者等、在宅要介護認定者ともに「いざという時に利用しやすい短期入所の提供」がそれぞれ 22.0%、39.5%で最も多く、次いで在宅要支援認定者等では「介護に関する情報」が 15.1%、在宅要介護認定者では「介護に必要な物品の支給」が 29.3%などとなっている。

## (6) 介護者の現在の勤務形態等

[設問] あなたの現在の勤務形態等についてお答えください。

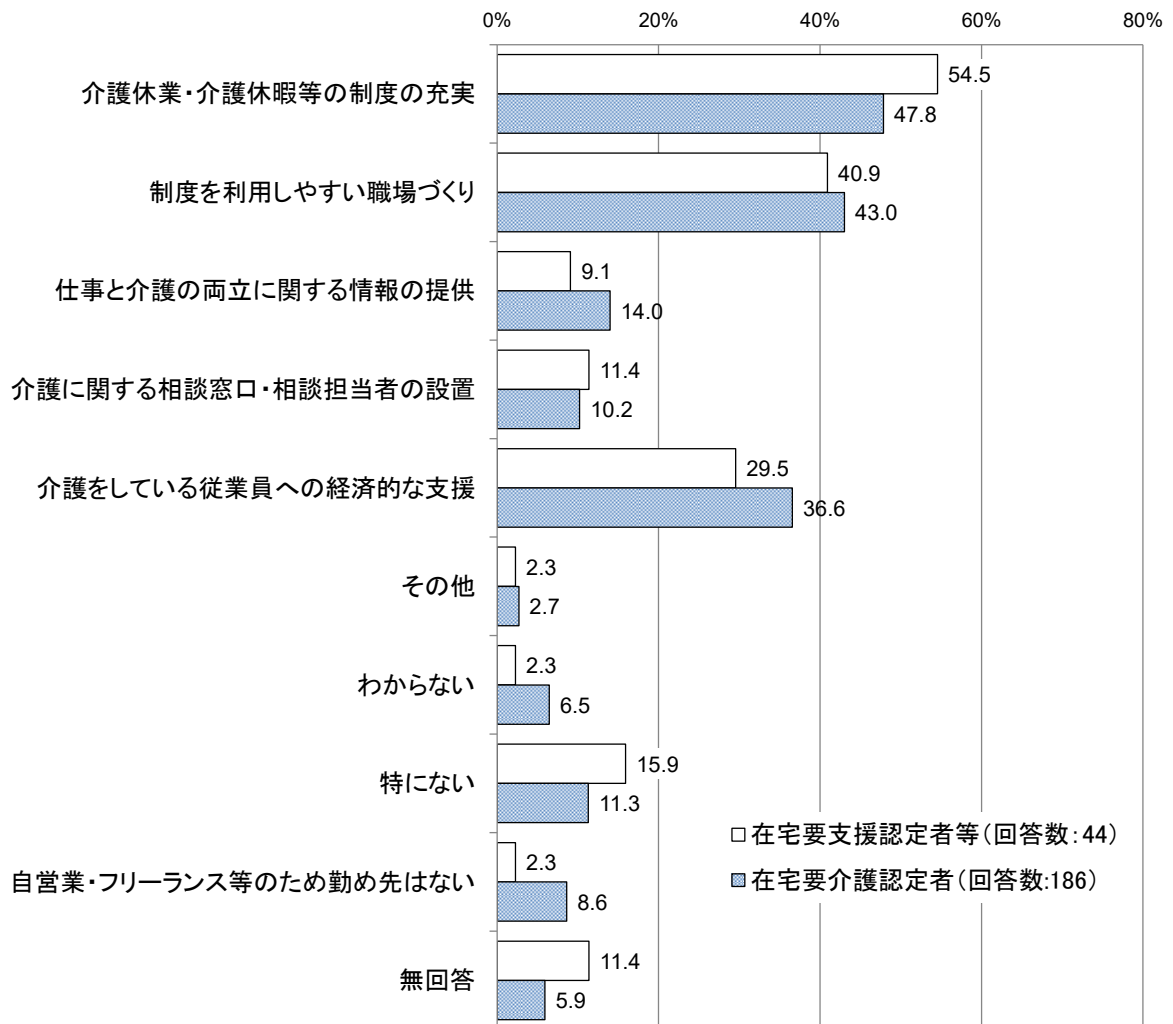


○「無回答」を除き、在宅要支援認定者等、在宅要介護認定者とも、「働いていない」が最も多く、それぞれ 29.2%、41.5%となっている。次いで「フルタイムで働いている」が 7.8%、19.3%、「パートタイムで働いている」が 5.4%、10.9%となっている。

## (7) 勤め先からの支援について

[設問] (フルタイム/パートタイムで働いている方のみ)

あなたは、勤め先からどのような支援があれば仕事と介護の両立に効果があると思いますか。(〇は3つまで)



○在宅要支援認定者等と在宅要介護認定者ともに「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が最も多く、それぞれ54.5%、47.8%、次いで「制度を利用しやすい職場づくり」が40.9%、43.0%、第3位は「介護をしている従業員への経済的な支援」が29.5%、36.6%などとなっている。

## (8) 自由意見等

◎最後に、市の高齢者保健福祉施策についてご意見、ご要望等がありましたら、自由にご記入ください。

【記述内容(主なもの)】(属性:回答者/年齢/居住地域/性別)

### <一般高齢者>

- 寝たきり状態になり、介護人もなく(身内に)経済的にも余裕が無くなった場合どうすれば良いか、今不安である。独居老人になった場合の生活の仕方はどうすれば良いか。 あて名のご本人/75歳~79歳/花咲、屋敷、泉町、大久保、本大久保/男性
- 公民館などのサークル活動も多々ありますが、メンバーが長くいる人たちで固まっているように思えて新規に参入しにくい感じです。気候が良い時に公園などで気軽にできる運動の場があると良いです。広報などを見ていると谷津での活動、催しが他の地域に比べて少ない様に思います。 あて名のご本人/70歳~74歳/谷津、谷津町、奏の杜/女性
- 年金(遺族年金含む)が月5万ほどで、その中から国民健康保険、介護保険、家賃、光熱費を支払うとほとんど残りません。頑張っているのですが、年々転倒する回数が増え、この先の生活が危なくなってきました。その場合どこに相談すればよいのか?いつまで働けるのか?不安はつきません。 70歳~74歳/実籾、実籾本郷、新栄、東習志野
- 高齢者が安心して住める市や町であってほしい(例えばバリアフリー等)。 あて名のご本人/75歳~79歳/津田沼、鷺沼、鷺沼台、藤崎/女性
- イベント、施設のシルバー割引があると今までより外出の回数が増えると思います。 あて名のご本人/70歳~74歳/谷津、谷津町、奏の杜/女性
- 現在、社会福祉協議会のボランティアをして、地域の福祉活動をしています。以前には民生委員として活動したことがありました。今でも思うのですが、市からの地域の方々の情報が少なく、見守り等をしたくても、どこに誰が住んでいらっしゃるのか全く分からないのが現状です。民生委員の時はその地区の事を良く知っている方々に聞きまわり、1軒1軒訪ねて回りました。その頃は喜寿や米寿等の祝い金を配っていましたので、その時に訪問出来てお会いできたのですが、現在はその制度もなくなりました。市の方ではせめて75才後期高齢者になった年に、75歳の方全員に、民生委員の方に訪問してもらうということではできないのでしょうか。(一部抜粋) あて名のご本人/70歳~74歳/秋津、茜浜、香澄、芝園、袖ヶ浦/女性
- 私は藤崎に住んでいますが、習志野市の公民館へは交通の便が悪くて利用していません。もっぱら船橋市の公民館へ参加させてもらっています。藤崎図書館があった頃は時々通っていましたが、今はそれも遠くなりほとんど行きません。どの地区の人も利用しやすい交通手段があれば助かるのですが…。ご検討下されば幸いです。 あて名のご本人/75歳~79歳/津田沼、鷺沼、鷺沼台、藤崎/女性
- 免許、自主返納した場合、タクシー券、バス券等選択制にしてほしい。 あて名のご本人/85歳~89歳/谷津、谷津町、奏の杜/男性
- 高齢者外出支援事業のタクシー券をいただいておりますが、重い荷物のある時、具合が悪くて病院へ行く時など大変助かっています。故夫が闘病していた時、地域包括センターの存在はとてもありがたかったです。すぐに対応してもらえたことは市への信頼につながりました。 あて名のご本人/75歳~79歳/花咲、屋敷、泉町、大久保、本大久保/女性
- このアンケートを記入していったら、マンション住まいで、近隣付き合いやボランティア参加もないため、年をとったら…の不安が過ぎりました。健康福祉部、高齢者支援課、頼りです。年令的に健康面では不安もないのですが、75才以後はどんな不便が及ぶのか、今後の福祉など考えて行かなくては…と考えさせられました。予備知識や施設にお世話になることなど自分事として計画していこうと思いました。(一部抜粋) あて名のご本人/70歳~74歳/津田沼、鷺沼、鷺沼台、藤崎/女性



## <在宅要支援認定者等>

- 交流するための場の充実があるいいと特に思いました。よろしく願います。あて名のご本人／85歳～89歳／谷津、谷津町、奏の杜／女性
- 介護サービスの内容をもう少し具体的に充実したものにしてほしいです。あて名のご本人／85歳～89歳／谷津、谷津町、奏の杜／男性
- 毎年タクシー券をいただいておりますが、なるべく使用しないように心掛けています。いざ使いたい時にタクシー券が無くて使えない事があり病院に行く際に困ったことがありました。あて名のご本人／85歳～89歳／花咲、屋敷、泉町、大久保、本大久保／女性
- 長く続いているコロナ禍、こうして細かく考えてくださる市役所の皆様に心より感謝申し上げます。お陰様で現在夫婦二人で何とか歩いて近くまでは交互に買い物にも行けております。それはというもの、一緒に住んでくれている58歳の娘が一生懸命勤めに出ています。私共も親として少しでも応援してやりたいと思って頑張っております。これからも多くの若者達が元気に働ける世の中であってもらいたく頑張っております。ありがとうございます。ご苦労様です。あて名のご本人／85歳～89歳／谷津、谷津町、奏の杜／女性
- タクシー券について、毎年タクシー券をありがとうございます。病院、ショッピング等に使用させて頂いております。すぐになくなってしまいますので、もう少し多くしていただけたら幸せに存じます。どうぞよろしく願います。健康について、要支援者のみの健康体操、または学習会の実施をお願いします。あて名のご本人／80歳～84歳／花咲、屋敷、泉町、大久保、本大久保／女性
- 施策の検討の前に、年金だけでは生活していけない現状。家族がお金を支援してやりくりしているが、父は介護施設で母はひとり暮らし、生活保護のハドルは高いし2人分の生活を支えるのは限界に近い。月の収入をなんとかしないとサービス以前の問題なので話にならない。あて名の方の親族／80歳～84歳／実籾、実籾本郷、新栄、東習志野／女性
- 現在歩行者を使用して外出していますが、バスに乗る時段差に苦労しています。段差のない道路や町にしてほしいです。あて名のご本人／75歳～79歳／秋津、茜浜、香澄、芝園、袖ヶ浦／女性
- ヘルパーさんに部屋やお風呂場の掃除をしていただいておりますのでわかりません。現在は満足しています。あて名のご本人／80歳～84歳／花咲、屋敷、泉町、大久保、本大久保／女性
- 可能な限り自立した生活をするを基準といたしますが、行政の援助も必要に応じて受けたいと思います。介護過多による弊害も指摘されておりますので自立生活を最期まで出来ればと夢見しております。この調査票の内容がお蔵入りすることなく現実の市政に活かされることを希望します。あて名のご本人／70歳～74歳／花咲、屋敷、泉町、大久保、本大久保／男性
- 楽しく穏やかに日々過ごしておりますので特に要望はございませんが、今後とも高齢者の心に寄り添った内容を充実させていただきたく願っております。年に1度でも高齢者の生の声を聞ける会を開催されるのもいいと思います。あて名のご本人／85歳～89歳／実籾、実籾本郷、新栄、東習志野／女性
- 私は友人・知人に生活上で困ったことが生じたら市役所に相談すること、必要な窓口には必ず繋いでくれると話しています。私に必要になった時に自分で出来ない時は周囲のどなたかにやっていただくよう伝えたいと思っています。よろしく願います。市役所が頼りです。あて名のご本人／75歳～79歳／花咲、屋敷、泉町、大久保、本大久保／女性
- アンケートの回数が多い。アンケートの回答が負担になります。あて名の方の子ども／80歳～84歳／津田沼、鷺沼、鷺沼台、藤崎／男性
- 少ない年金生活でサービスを利用させて頂いておりますのでもう少し利用負担額がおさえられると幸いです。85歳～89歳／谷津、谷津町、奏の杜／女性
- これから高齢者はしばらく増えることとなると思います。高齢者が自立して生活出来ることが大切なことではないでしょうか。その為に少しでも早くからケアすることは良い対策と共に必要かと思っております。年令に応じて進めて行くことも大事なプロセスかと感じています。あて名の方の配偶者(夫・妻)／80歳～84歳／津田沼、鷺沼、鷺沼台、藤崎／男性

## <在宅要介護認定者>

- 色々な施策を実施していることを、母が認知症となり介護をする事になってはじめて知りました。ありがたいなと思える施策がいくつも用意されていましたが、もっと積極的に訴求すべきと思います。当事者となってから色々調べて知るより、健常の間から意識付けをする事が重要だと思います。そのためには今は福祉施策が必要でない層へ向けても広く認知してもらう方法を考え実施して下さい。 あて名の方の子ども／85歳～89歳／実朶、実朶本郷、新栄、東習志野／女性
- 今の所デイサービス訪問介護、訪問診療を受けておりますが、すべて満足しております。しばらく今のままで続けられたらと思っております。職員の皆様のお気遣いに感謝致しております。 あて名の方の子ども／100歳以上／谷津、谷津町、奏の杜／女性
- 10月度に要介護を適用されましたが、この2ヶ月で体力筋力がおとろえて困っています。今年88才で日々体調が変化しています。特養施設の申込みが今の段階では出来ないと言われました。入居出来る出来ないにかかわらず介護者としては早めに入居対応していただくと安心します。 あて名の方の子ども／85歳～89歳／実朶、実朶本郷、新栄、東習志野／女性
- コロナ、長寿社会、人手不足、仕方ないことと思いますが、老人施設など時々事故が起きないように調査して頂けると良いです。特養、有料老人ホームも介護士さんが少ないです。大変な仕事です。長続きされず退職者も多いようです。好きなことを書かせて頂きましたが市役所で働いていらっしゃる方達もお忙しい事でしょう。薬に薬を使用せず健康に気をつけるべき食事と運動を心がけているつもりです。ありがとうございます。これからもよろしく願いいたします。 あて名の方の子ども／65歳～69歳／花咲、屋敷、泉町、大久保、本大久保／女性
- 実質的に入れる老人ホームの管理と作成。 あて名のご本人／90歳～94歳／秋津、茜浜、香澄、芝園、袖ヶ浦／男性
- 先がみえない介護は精神的にも肉体的にもとても疲れます。介護者にももっと気楽に相談できる窓口があれば、気分も多少楽になるのかとも思います。施設入居前にはケアマネジャーによくしていただいたのでわかりやすく援助受けさせていただけに感謝していました。あて名の方の子ども／90歳～94歳／谷津、谷津町、奏の杜／男性
- 今は施設入所しているがそれまではいろいろあった。その都度ケアマネやデイサービスの方達が良くして下さいありがたかったです。介護の現場ではいろいろ問題があるようですが、介護する全ての人が追いこまれないようなシステムを構築していただくとありがたいです。 あて名の方の子ども／85歳～89歳／谷津、谷津町、奏の杜／女性